令和 5 年度 高崎健康福祉大学大学院 健康福祉学研究科

講義概要

(修士課程・博士前期課程)



本学の授業と SDGs との関連

シラバス内で授業内容と「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」との関連を示しています。 関連する目標は番号で示されておりますので、履修の参考にしてください。

SUSTAINABLE GOALS





































17 の持続可能な開発目標

- 目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標 2. 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する
- 目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う
- 目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディ目標 8. ーセント・ワーク)を促進する
- 目標 9. 強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標 10. 各国内および各国間の不平等を是正する
- 目標 11. 包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する
- 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化 目標 15. の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベ 目標 16. ルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- 目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

~シラバス内の表記について~

例として、授業内容が「目標 1」、「目標 3」、「目標 10」、「目標 16」と関連がある場合は下記のように表記します。 特に関連のある目標を示しています。空欄であるからといって、いずれの目標にも全く関連しない、ということではありません。

SDGs との関連









令和5年度 健康福祉学研究科 修士課程・博士前期課程 シラバス目次

医療情報学特論	4	Healthcare Informatics Research	46
Medical Informatics	4	質的/量的研究総論	47
病院経営特論	6	Qualitative research and Quantitative research	h47
Theory of Hospital Management	6	社会福祉研究方法論	50
生体画像情報学特論		Research Methods of Social Welfare	50
Biological Imaging and Information Science	8	保健福祉調査特論	52
データ分析特論	10	Basic Research Methods in Health and W	Velfare
Advanced Data Analysis	10	Sciences	52
医科学特論	13	精神神経医学特論	54
Fundamentals of Medical Sciences	13	Neuropsychiatry research	54
臨床医学特論	15	家族社会学特論	57
Fundamental Clinical Medicine	15	Research of Family Sociology	57
医療産業特論	17	子育て支援特論 [
Healthcare Industry	17	Child Care Support (Mastered I)	59
医療情報学特論演習	20	子育て支援特論Ⅱ	
Medical Informatics Practice	20	Child Care Support (Mastered II)	61
質的/量的研究特論	22	コミュニティメンタルケア特論	
Qualitative research and Quantitative research		Community mental care	63
社会福祉研究方法論	24	食とメンタルヘルス特論	65
Research Methods of Social Welfare	24	Mental health and eating attitudes	65
医療倫理特論	26	地域福祉特論	
Medical Ethics	26	Community Care System	67
医療経済学特論	28	高齢者保健福祉特論	69
Health Economics	28	Health and Welfare for older adults	69
健康情報学特論演習	30	発達障害の脳科学と支援特論	
Healthcare Informatics	30	Neuroscience of developmental disorders to	wards
生体信号処理特論演習	32	improvements of their support	71
Biosignal Processing	32	福祉人材育成特論	73
生活援助工学特論	34	Human Resource Development for a Person En	ıgaged
Life Support Engineering	34	in Social Welfare Service	73
医療情報システム構築特論演習	36	司法精神保健ソーシャルワーク特論	75
Construction of Medical Information Systems	36	Legal mental health social work	75
情報セキュリティ管理運用特論	38	貧困問題特論	77
Security Management in Cyber Domain	38	Poverty issue	77
情報セキュリティ実装特論	40	健康運動科学特論	79
Cyber Security Implementation in Practice	40	Health and Exercise Sciences	79
情報セキュリティ監査特論	42	社会福祉発達史特論	81
Auditing and Testing in Cyber Security	42	Social Welfare Development History	81
情報セキュリティ特論演習	44	高齡者権利擁護特論	83
Cyber Security Exercise	44	Advocate for the rights of the elderly	83
医療福祉情報学特別研究	46	保健福祉学特別研究	85

令和5年度 健康福祉学研究科 修士課程・博士前期課程 シラバス

Seminar for Master's Thesis on Health and Welfare	食品栄養学総合演習 I127
Sciences85	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食品栄養学特論86	Science I127
Advanced Food and Nutrition Science86	食品栄養学総合演習 I129
食品学特論90	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
Advanced Food Chemistry90	Science I129
応用食品学特論92	食品栄養学総合演習 I131
Applied food science 92	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食品安全学特論94	Science I131
Advanced Food Safety94	食品栄養学総合演習 I133
調理機能学特論96	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
Advanced Course on Functional Cookery Science96	Science I133
栄養 学 特論98	食品栄養学総合演習 I136
Advanced Nutrition	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
応用栄養学特論100	Science I136
Applied Nutrition	食品栄養学総合演習Ⅱ138
分子生物学特論103	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
Special Seminar for Molecular biology103	Science II138
栄養生化学特論105	食品栄養学総合演習Ⅱ140
Advanced Nutrition Biochemistry105	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
栄養生理 学 特論107	Science II140
Advanced Course on Nutritional Physiology107	食品栄養学総合演習Ⅱ142
臨床栄養学特論109	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
Clinical Nutrition	Science II142
臨床栄養管理特論111	食品栄養学総合演習Ⅱ144
Advanced Clinical Nutrition	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食育と精神保健特論113	Science II144
Mental health and education of eating attitudes 113	食品栄養学総合演習Ⅱ14億
栄養教育学特論115	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
Nutrition Education	Science II146
保健情報学特論117	食品栄養学総合演習Ⅱ148
Health Informatics117	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食品栄養学総合演習 I119	Science II148
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition	食品栄養学総合演習Ⅱ150
Science I119	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食品栄養 学 総合演習 I121	Science II150
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition	食品栄養学総合演習Ⅱ152
Science I121	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食品栄養学総合演習 I123	Science II
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition	食品栄養学総合演習Ⅱ155
Science I	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition
食品栄養学総合演習 I125	Science II155
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition	食育特論157
Science I125	Advanced Shokuiku157

令和5年度 健康福祉学研究科	修士課程·博士前期課	程 シラバス	
食品栄 養学 特別研究	159	Sciences	159
Seminar for Master's Thesis on	Food and Nutrition		

	目 名	医療情報学特論							
英二	文 名	Medi	Medical Informatics						
担当	当教員	長澤							
時期	・単位	医療福	晶祉情報学専攻修士課程 1年 前期 必修 2単位						
講義	:目標	現在、電子カルテの導入、遠隔医療など医療環境は大きく変化している。さまざまな検査技術を習得するも大切であるが、それらの技術から提供される医療情報の活用や管理がより一層重要になってきているのため、医療の特質をふまえて、最適な情報処理技術にもとづき、医療情報を安全かつ有効に活用、提付ることができる知識、技術および資質を有する医療関係者の育成が急務となっている。特論では、医療学において対象とする医療情報を定量的に解析する際に必要となる多変量解析を講義から理論を理解し							
到達	目標	療情報活用の基礎学力を養成することを目的とする。講義とディスカッションで理解を深める。 1. 医療情報の特性を理解し、説明できる。 2. 医療情報の有効活用するために必要なデータ解析手法を身につけている。 3. クレンジング処理の手法や外れ値処理の方法が説明できる。 4. 重回帰分析、正準判別分析、主成分分析など多変量解析手法の理論を理解し簡潔に説明できる。 5. 目的に応じた多変量解析手法が選択できる。							
	✓ 健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に践的能力を身につけている。 ✓ 健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適り表する能力を身につけている。 ✓ 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。								
SDG 関連	ks との	•	4						
評価	i方法	講義にる。	は理論的な解説と対話、発表形式となるため、対話や発表内容(50%)、提出された課題(50%	5)で評価す					
課題に	こ対する	提出認	課題に関しては、添削して返却、内容により再提出の指示がある。						
フィー	ドバック	特に定	E期試験は課さない。予習を十分に行い講義への参加と課題提出が重要である。						
使 用	教材	参考図	図書は紹介する。レクチャーに使用する資料は随時配布する。						
	講義「		前期講義計画、統計学の予備知識						
1		5到達目標	予習 線形代数学、統計学の基礎について予習する。	1 時間					
	2	.	復習 課題を仕上げる。 	1.5 時間					
2	講義「	7 容 	統計的仮説検定と多変量解析の基礎 ^予 習 行列演算について予習する。	1 時間					
4	該国 9 名 2	が出た日信	です 17列海昇についてア百9 る。 復習 課題を仕上げる。	1.5 時間					
	講義「	内 容	「	1.0 時間					
3	該当する	3到達目標	→ 習 統計で使われる分布、グラフ、散布図について予習する。	1 時間					
	1,2,3		復習 課題を仕上げる。	1.5 時間					
	講義「		分割表分析(感度・特異度、オッズ比・相対危険度、カイ2乗検定など)						
4	該当する	3到達目標 3回達目標	予習 分割表分析について予習する。	1 時間					
	1,2,3		復習 課題を仕上げる。	1.5 時間					
_	講義「	内 容	重回帰分析の理論(標準化、多重共線性と交絡因子)						
5	該当する	到達目標	予習 単回帰分析について予習する。	1 時間					

<u> 79 1</u>	四分十段 区域	景価位情報子専攻 ンプハス	
	1,2,3,4	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	主成分分析の理論(固有値と因子負荷量)	
6	該当する到達目標	予習 行列の固有値演算を予習する。	1 時間
	1,2,4	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	因子分析の理論(因子モデルと共分散構造解析)	·
7	該当する到達目標	予習 主成分分析と因子分析のモデルの違いを予習する。	1 時間
	1,2,4	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	クラスター分析の理論(距離の定義と類似性の視覚化)	
8	該当する到達目標	予習 種々の距離の概念を予習する。	1 時間
	1,2,4	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	正準判別分析の理論(変量群の関係を探る)	·
9	該当する到達目標	予習 判別分析を予習する。	1 時間
	1,2,4	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	分散分析(平均値の差と多重比較の利用、実験計画法への展開)	
10	該当する到達目標	予 習 平均値の差、分散分析の理論を予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	生存率曲線(曲線の作成と曲線間の検定とモデルへの発展)	
11	該当する到達目標	予習 生存率の計算について予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	時系列データ解析(モデリングと予測)	
12	該当する到達目標	予習 時系列解析の目的方法について予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	林の数量化理論 I ~IV(質的な多変量データの解析)	
13	該当する到達目標	予習 数量化理論について予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	多次元尺度構成法(心理学、行動学分野への応用)	
14	該当する到達目標	予習 多次元尺度構成を予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習 課題を仕上げる。	1.5 時間
	講義内容	統計解析ソフト R と SPSS	
15	該当する到達目標	予習 他の統計解析ソフトについて調査する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習 まとめ課題を仕上げる。	1.5 時間
	最終的に単位	z修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。	
備	オフィスアワー	-:月曜日の 1 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付ける。	
滑	メールアドレス	ス「nagasawa#takasaki-u.ac.jp(#→@)」	
75	研究室:1 号館	官 6 階 608	
	VOD:出席と	:成績は課題提出で評価する。	

科	目 名	病院経営特論							
英 :	文 名	Theor	Theory of Hospital Management						
担:	当教員	木村	木村 憲洋						
時期	・単位	医療福	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 必修 2単位						
		病院経営は、医療政策や地域の医療ニーズ、医療従事者の動向に左右される。医療政策は、国民医療費							
		の増大に対応するため効率的な医療費の配分の方向へと向かっている。地域の医療ニーズは、公衆衛生方							
譯 盖	目標	ータや公開された DPC のデータから予測され、自院のポジションを知ることから病院経営へ生かすことがで							
讲 我	日保	きる。ま	きる。また、医療従事者の地域における需給状況は経営にとって大きな影響を与えることとなる。						
		本講座では、診療情報管理の重要性に基づき、地域の医療ニーズと自院の地域における医療提供体制を							
		理解し	先進的な病院総	B営戦略を構築するための方策を検討する。					
到達	目標	1. 病	経営に関する	最新のツールと知識に関する理解と応用を考えることができる。					
2, 2		2. 最	所の病院経営手	法やツールの病院へ導入することでどのような効果があるか考察できる。					
		1	康•医療•保健	福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけて	ている。				
				技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	ための実				
学位控	受与方針	j	的能力を身に	1 22	_				
との対	応			福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りま	まとめて発				
			まする能力を身に						
			康・医療・保健	福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。					
	is との		3 4	8 9					
関連		=# ** ! -	ハナフディコナ・・	> -> +==/III+7 (1000/)					
	i 方 法 ニ対する	神我に	っけるナイ人ルツ	ションを評価する。(100%)					
	-×リタ の ドバック	ディスプ	ッションを中心に	に講義を行う。					
- 1	11.32	病院の	 /み(日本実業						
使用	教 材		病院経営のしくみ(日本医療企画)						
			-)病院経営(碩学	· ····					
	講義		病院経営						
1	該当する	5到達目標	I	営に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間				
	1,2		復習 病院経済	営に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間				
	講義	内 容	医療の質						
2	該当する	5到達目標	予習医療の	質に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間				
	1,2		復習医療の	質に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間				
	講義	内 容	経営基盤						
3	該当する	5到達目標	予習 経営基	盤に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間				
	1,2		復習 経営基	盤に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間				
	講義	内 容	病院における終	充計のグラフ化					
4	該当する	5到達目標	予習 病院経済	営に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間				
	1,2		復習 病院経済	営に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間				
	講義	内 容	選択と集中						
5	該当する	5到達目標	選択と	集中に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備え	1時間				
J	1,2		する。		표 뉴스테티				
			復習 選択と負	集中に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間				

13.4		<u> </u>	日本 マグング・グ	
	講義内容	機能分	分化と連携	
6	該当する到達目標 1,2	予習	機能分化と連携に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
		復習	機能分化と連携に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	医療と	- -マーケティング	
7	該当する到達目標 1,2	予習	医療とマーケティングに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
		復習	医療とマーケティングに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	チーム	ム医療	
8	該当する到達目標 1,2	予習	チーム医療に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	チーム医療に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	組織変	变革	
9	該当する到達目標	予習	組織変革に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
	1,2	復習	組織変革に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	人材流	舌用	
10	該当する到達目標	予習	人材活用に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
	1,2	復習	人材活用に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	教育研	·····································	
11	該当する到達目標	予習	教育研修に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
	1,2	復習	教育研修に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	診断郡	#分類と分析	
12	該当する到達目標 1,2	予習	診断群分類と分析に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに 備える。	1 時間
		復習	診断群分類と分析に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	BSC		
13	該当する到達目標	予習	BSCに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
	1,2	復習	BSCに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	TQM	/TPS	
14	該当する到達目標 1,2	予習	TQM/TPS に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1 時間
		復習	TQM/TPS に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
	講義内容	イノベ		
15	該当する到達目標 1,2	予習	医療イノベーションに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッション に備える。	1時間
		復習	医療イノベーションに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2 時間
进	授業は、課題	提供を	行いディスカッションしながら理解を深めていく。	
備	教員への連絡	方法は	、 初回授業時に提示する。	
考	オフィスアワー	-月曜日	31時限	

科	目 名	生体间	生体画像情報学特論				
英 :	文 名	Biological Imaging and Information Science					
担:	当教員	光山	光山 訓				
時期	・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 必修 2単位					
講義	近年、画像診断装置の高性能化、高機能化が進展し、診断・治療における重要性が高まっている。特に画像のディジタル化は、計算機の高性能化、画像処理技術の発達と相まって三次元表示や画像診断支援などの新たな機能を実現し、診断の精度や効率を飛躍的に高めることが期待されている。本講義では様々な医用画像の撮像原理、特徴、管理方法、解析方法について学習する。また、ワークショップ形式で医用画像に適用される画像処理手法に関する演習や議論を行う。						
到達	目標	2. 連	像診断	画像診断装置の撮像原理を理解する。 分野における IT 活用の動向、IT が実現する機能を理解する。 に使用される基本的な画像処理手法を理解し、医用画像処理に関して議論できるよ	うになる。		
		1	健康∙医	療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につ	oけている。		
学位接	受与方針	. 1	践的能力	青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用す 力を身につけている。 「療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り			
		•	表する前	能力を身につけている。			
		1	健康∙医	療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDG 関連	ks との		•	3 4			
評価	i 方 法	ワーク	ショップ	(50%)及び演習課題の結果(50%)を総合的に評価する。総合評価 60%以上を合	格とする。		
	に対する ドバック	課題に	ついて	は講義内、あるいはメール等でコメントを付して返却する。			
使用	教材	講義に	必要な	資料・文献は適宜配布する。			
	講義	内 容	医用画	画像の基礎	1		
1	該当する	5到達目標	予習	医用画像(画像診断装置)の種類について調べておく。	1 時間		
	1			配布資料で医用画像の種類や画像のディジタル化について復習する。	2 時間		
	講義		X 線画		1.00		
2		5到達目標	予習	X線および医療におけるX線の利用にについて調べておく。	1時間		
	1		復習	配布資料でX線の性質、X線による撮影原理について復習する。	2 時間		
0	講義			なX線撮影装置	4 0+88		
3		5到達目標	予習	X 線撮影装置について調べておく。	1時間		
	1	+ #	復習	配布資料でX線撮影装置の原理、種類、画像の特徴について復習する。	2 時間		
1	講義	A 谷 S到達目標	X線(X 線 CT について調べておく。	1 時間		
4	1	り判定日保	復習	配布資料でX線CTの原理、種類、画像の特徴について復習する。	2 時間		
	講義	力 容	MRI	日に中央行く 八 柳 〇1 ツルホ土、住地、凹原ツガサ以に フし・し返日 9 句。	스 바퀴티		
5		ろ。在 	予習	MRI について調べておく。	1 時間		
0	1	ンンパエロリホ	復習	配布資料でMRIの原理、種類、画像の特徴について復習する。	2時間		
	講義	为 容		世間後	2 바이타		
6		3 日 3 到達目標	予習	超音波診断装置について調べておく。	1 時間		
3	1		復習	配布資料で超音波診断装置の原理、種類、画像の特徴について復習する。	2 時間		
			Š		T HILLY		

	講義内容		学診断装置				
7	該当する到達目標	予習	核医学診断装置について調べておく。	1 時間			
	1	復習	配布資料で核医学診断装置の原理、種類、画像の特徴について復習する。	2 時間			
	講義内容	内視錄		3, 2			
	該当する到達目標		内視鏡、眼底検査の仕組み、撮影される画像の特徴、画像を使用した生体認証				
8	1	予習	について調べておく。	2 時間			
			配布資料で内視鏡、眼底検査、画像を使用した生体認証の種類・原理について	4 0+88			
		復 習	復習する。	1 時間			
	講義内容	検体					
9	該当する到達目標	予習	画像を用いた検体検査について調べておく。	2 時間			
	1	復習	配布資料で画像を用いた検体検査の種類、画像の特徴について復習する。	1 時間			
	講義内容	医用画	画像処理の実例				
10	該当する到達目標	予習	医用画像処理の実例を調べておく。	2 時間			
	2	復習	配布資料で、医用画像処理における注意点を復習する。	1 時間			
	講義内容	画像診断のシステム化・画像診断支援					
11	該当する到達目標	予習	画像診断を支援する情報システム、情報処理技術について調べておく。	2 時間			
11	2	復 習	配布資料で、画像診断で用いられている画像診断支援システムの種類、用いら	1 時間			
		1久日	れている情報処理技術について復習する。	1 中山田			
	講義内容	ワーク	アショップ及び演習(1)				
12	該当する到達目標	予習	医用画像に用いられる画像処理手法に関して調べておく。	2 時間			
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1 時間			
	講義内容	ワーク	7ショップ及び演習(2)				
13	該当する到達目標	予習	医用画像に用いられる画像処理手法に関して調べておく。	2 時間			
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1 時間			
	講義内容	ワーク	アショップ及び演習 (3)				
14	該当する到達目標	予習	医用画像に用いられる画像処理手法に関して調べておく。	2 時間			
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1 時間			
	講義内容	ワーク	アショップ及び演習(4)				
15	該当する到達目標	予習	演習課題を仕上げておく。	2 時間			
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1 時間			
備	 オフィスアワー:水曜 3 時限、木曜 3 時限 / メールアドレス: mitsuyama#takasaki-u.ac.jp(#→@)						
考	929/1/	.八下正	THE OF THE OF THE TOTAL TOTAL TOTAL THE OF THE TOTAL THE OF THE TOTAL THE TOTAL THE				

科!	目 名		タ分析や	情論						
英 2	文 名	Adva	Advanced Data Analysis							
担当	当教員	石川	石川 雅弘							
時期	・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 必修 2単位								
講義	:目標	らを利用するための様々なアプリケーションソフトやプログラミングツールが登場・晋及しており、その利 キルを身につけることも重要である。 本科目では、表計算ソフトによるデータ分析、データベース管理システムの利用、機械学習による可能								
到達	 分析を、実際にコンピューターを操作するワークショップ形式で学ぶ。 1. データの収集から分析までの流れを理解する。 2. Excel による基本的なデータ処理ができる。 3. 関係データベースの基本を理解し、SQLによる基本操作ができる。 4. 教師あり学習の概要を理解し、基本的な手法を実行できる。 5. 教師なし学習の概要を理解し、基本的な手法を実行できる。 									
		1	健康•医	療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	ている。					
学位持	受与方針	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための 践的能力を身につけている。								
との対	応	/		建康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発						
			表する能力を身につけている。✓ 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。							
ana	s との	✓	健康•医	療・保健保征分野の専門職としての使命感と倫理観をもつている。						
関連				9						
評価	方法	演習•	課題の遺	転状況(50%)+議論参加(50%)で評価する。						
	に対する ドバック	適宜=	コメントを	付して評する。						
使 用	教 材	講義	こ必要な	資料等は適時配布する。						
	講義「	内 容	ガイタ	シス						
1	該当する 1	5到達目標	予習	資料に目を通し、データの収集から分析への流れと各種技術の位置づけを理解 する。	1 時間					
			復習	データ収集から分析の各段階で用いられる技術の概要を理解する。	1.5 時間					
	講義「	内 容	Excel	によるデータ処理(1)						
2		5到達目標	予習	資料に目を通し、Excelによる基礎的な統計処理の概要を理解する。	1 時間					
	2	± 🖶	復習	例題を振り返り、Excel で基礎的な統計処理を行えるように練習する。	1.5 時間					
n	講義「	7 容 3到達目標		によるデータ処理(2) 資料に目を通し、Excel による統計学的検定の概要を理解する。	1時間					
3	該当9名 2	地坦廷日標	予習 復習	例題を振り返り、Excel で簡単な統計学的検定を実行する。	1.5 時間					
	講義「	内 容		によるデータ処理(3)	T-0 E-11H1					
4				資料に目を通し、Excel によるデータベース処理の概要を理解する。	1 時間					
	1,2		復習	例題を振り返り、Excel で基礎的なデータベース処理を行えるように練習する。	1.5 時間					
	講義「	内 容	関係	データベースと SQL(1)						
5	該当する	5到達目標	予習	資料に目を通し、様々なデータベース形式の概要を理解する。	1 時間					

			月牧子等以 ンプハス				
	1,2,3	復習	RDBMSとSQL、NoSQL、XMLなどの目的と意義について理解する。	1.5 時間			
	講義内容		データベースと SQL(2)				
6	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、SQL の概要を理解する。	1 時間			
	3	復習	例題を振り返り、SQL の基本を理解し、簡単な SQL 命令を組み立て実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師は	あり学習(1)				
7	該当する到達目標 4	予習	資料に目を通し、教師あり学習、クラス分類、回帰分析の基本的考えを理解する。	1 時間			
		復習	各種技法の目的と意義を確認する。	1.5 時間			
	講義内容	教師は	らり学習(2)				
,	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、k-最近傍法の概要を理解する。	1 時間			
8	4	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で k-NN 分類、k-NN 回帰の例題を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師は	あり学習(3)				
_	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、線形回帰、リッジ回帰、Lasso 回帰の概要を理解する。	1 時間			
9	4	復 習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で線形回帰、リッジ回帰、Lasso 回帰の例題 を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師は	あり学習(4)				
10	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、決定木、決定木のアンサンブル法の概要を理解する。	1 時間			
10	4	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で決定木、ランダムフォレストの例題を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師あり学習(5)					
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、サポートベクターマシンの概要を理解する。	1 時間			
11	5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook でサポートベクターマシンの例題を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師な					
12		予習	資料に目を通し、事前処理やスケール変換について概要を理解する。	1時間			
	5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook でデータの事前処理の例題を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師な	はし学習(2)				
13	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、主成分分析、非負値行列因子分解、t-SNEによる次元削減と可 視化の概要を理解する。	1時間			
		復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で様々な可視化手法の例題を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	教師な					
14	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、k-means 法、階層型、DBSCAN などのクラスタリング手法の概要を理解する。	1 時間			
		復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で様々なクラスタリング手法の例題を実行する。	1.5 時間			
	講義内容	学習終	 結果の評価				
15	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、交差検証、グリッドサーチなどの概要を理解する。	1 時間			
			資料を振り返り、Jupyter Notebook で基本的な検証手法の例題を実行する。	1.5 時間			
	1,2,3,4,5	復 習					
			必要な時間との差異は、各自で補完すること。				
備							
	最終的に単位	修得に					

にアクセスしながら進める。

オフィスアワー:月曜4限

メールアドレス: ishikawa#takasaki-u.ac.jp(#→@)

	目 名	医科学特論						
英 :	文 名	Fund	Fundamentals of Medical Sciences					
担:	当教員	小澤	小澤 瀞司					
時期	・単位	医療福	祉情報'	学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位				
		ICD-1	0,-11(国	関際疾病分類第 10, 11 版)による疾病の分類法に基づき、主要疾患の特徴・病因・½	定状・診断・			
講義	章 目標 治療・予後について、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。また、それらに関連する最新							
		識を自	力で深め	かるために医学情報データベースや参考書の活用法を身に付ける。				
	1. 主要疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後の概要を説明できる。							
到達	目標	2. 日	進月歩(の診断・治療法の変化について自力で調べることができる。				
				関連の英語文献を読みこなすことができる。				
				療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	_			
				青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する ・・・・・・	るための実			
	受与方針			力を身につけている。				
との対	応			療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り た。	まとめて発			
				と力を身につけている。 では、保持を持くない。				
GD G		✓	健康•医	療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。				
SDG 関連	ks との		•	9				
		討論形	式の講	- 義における積極性と対話内容の質(50%)、および提出されたレポートの完成度(50)%)により			
評価	i方法	総合的	に評価	する。				
	こ対する ドバック	レポー	トは講評					
		参考書	: 病気	がみえるシリーズ 医療情報科学研究所編集、メディックメディア発行				
使用	教 材	Websi	te: <u>http</u>	s://medlineplus.gov/ を利用する。				
	講義「	内 容	英語	医学情報データベース Medlineplus の紹介				
1	該当する	5到達目標	予習	ホームページを閲覧して Medlineplus の構成を調べておく。	2 時間			
	3		復習	Medlineplus の概要を理解する。	1.5 時間			
	講義「	为 容	Medli	ineplus の利用法(1)英語医学用語の体系的習得法(討論形式で実施)				
2	該当する	5到達目標	予習	Medlineplus の医学用語チュートリアルを通読する。	2 時間			
	3		復習	英語医学用語の造語の基本を理解する。	1.5 時間			
	講義「	内 容	Medli	ineplus の利用法(2)人体解剖・生理・病態生理関連ビデオの閲覧(討論形式で実施)			
3	該当する	5到達目標	予習	ホームページの関連部位を予め閲覧しておく。	2 時間			
	3		復習	人体解剖・生理・病態生理を英語で理解する。	1.5 時間			
	講義「	内 容	Medli	ineplus の利用法(3)主要疾患の診断・治療関連情報の取得法(討論形式で実施)				
4		5到達目標	予習	ホームページの関連部位を予め閲覧しておく。	2 時間			
	3		復習	講義で取り上げられた疾患の診断・治療法を英語で理解する。	1.5 時間			
	講義「			ineplus の利用の実際に関するワークショップ、医学用語に関する知識の修得度の				
5		5到達目標	予習	4回目までの講義の要点を復習する。	2 時間			
	3		復習	主要な医学用語を英語で表現できるようにする。	1.5 時間			
	講義「			10,11 に基づく疾病の分類	2.5+86			
6		5到達目標	予習	配布資料を精読する。	2 時間			
	1,3		復習	国際標準での疾病の分類法を理解する。	1.5 時間			

講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容	予 智 習 習 呼吸 器 消化 器 消化 器 習	器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。 代表的な循環器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。 代表的な呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後	2 時間 1.5 時間 2 時間 1.5 時間 2 時間			
1,2 講 義 内 容 該当する到達目標 1,2 講 義 内 容 該当する到達目標 1,2	復 呼吸	代表的な循環器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。 代表的な呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間 1.5 時間			
講 義 内 容 該当する到達目標 1,2 講 義 内 容 該当する到達目標 1,2	呼吸器 予習 復習 消化器 予習	器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。 代表的な呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間 1.5 時間			
該当する到達目標 1,2 講 義 内 容 該当する到達目標 1,2	予習 復習 消化器 予習 復習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。 代表的な呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。	1.5 時間			
1,2 講 義 内 容 該当する到達目標 1,2	復習 消化器 予習 復習	代表的な呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。	1.5 時間			
講 義 内 容 該当する到達目標 1,2	消化器 予習 復習	器疾患の病態生理、診断、治療、予後 予め指示された参考書の関連部位を精読する。				
該当する到達目標 1,2	予習復習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間			
1,2	復習		2 時間			
,		ルキがお光の中の一部とは 50㎡ 20年 マダナ 11870 ナフ				
講義内容		代表的な消化器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間			
	内分泌	必・代謝疾患の病態生理、診断、治療、予後				
該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間			
1,2	復習	代表的な内分泌・代謝疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間			
講義内容	神経症	実患の病態生理、診断、治療、予後				
該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間			
1,2	復習	代表的な神経疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間			
講義内容	精神疾患の病態生理、診断、治療、予後					
該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間			
1,2	復習	代表的な精神疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間			
講義内容	重粒	子線がん治療に関する講義と治療施設の見学	·			
該当する到達目標	予習	配布資料を精読する。	2 時間			
1,2	復習	重粒子線がん治療の有効性について理解を深める。	1.5 時間			
講義内容	県内基幹病院における最先端病院情報システムの解説と実地見学					
該当する到達目標	予習	配布資料を精読する。	2 時間			
1,2	復習	病院運営における情報システムの重要性について理解を深める。	1.5 時間			
講義内容	まとめ	・)、展望についての討論、レポート課題の提示	·			
該当する到達目標	予習	講義で使用した資料に目を通す。	2 時間			
1,2	復習	本講義で学んだこと、および今後学ぶべきことを整理する。	1.5 時間			
各授業の終了	時に、	次回の講義内容に関連する重要事項を提示し、必要に応じて資料提供、および	事前に読むべ			
き論文を指示	するの [.]	で、それらに従って十分な準備をして授業に臨むこと。				
オフィスアワー	-:水曜	日の3時限と4時限				
メールアドレス	ζΓ _{soza}	wa#takasaki-u.ac.jp(#を@に変える)」				
研究室:1号館	16階	506				
	講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 講義内容 該当する到達目標 1,2 大型で表面である。 大型で表面である。 大型で表面である。 大型でなる。 大型である。 大型でななる。 、 大型でなる。 大型でな 大型でな 、 大型でな 、 大型でな 、 大型でな 、 大型でな 、 大型で	講義内容神経療該当する到達目標予習1,2復習講義内容精神療該当する到達目標予習1,2復習講義内容更粒子該当する到達目標予習1,2復習講義内容県内書該当する到達目標予習1,2復習講義内容事習友当する到達目標予習1,2復習表刊文を指示するの終了時に、き論文を指示するのオフィスアワー:水曜メールアドレス「soza	講義内容 神経疾患の病態生理、診断、治療、予後 予習 予め指示された参考書の関連部位を精読する。 1,2 復習 代表的な神経疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 講義内容 精神疾患の病態生理、診断、治療、予後 予習 予め指示された参考書の関連部位を精読する。 1,2 復習 代表的な精神疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 1,2 復習 代表的な精神疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。 重粒子線がん治療に関する講義と治療施設の見学 下習 配布資料を精読する。 1,2 復習 重粒子線がん治療の有効性について理解を深める。 講義内容 県内基幹病院における最先端病院情報システムの解説と実地見学 下習 配布資料を精読する。 1,2 復習 和音解を精読する。 1,2 復習 和音解を精読する。 1,2 復習 和音解を精読する。 1,2 表記の表にはよれる情報を表によれる情報を表によれて理解を深める。 まとめ、展望についての討論、レポート課題の提示 下習 講義で使用した資料に目を通す。			

	目名	臨床医学特論							
英 :	文 名	Fundamental Clinical Medicine							
担:	当教員	正宗賢							
時期	・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 2年 前期 選択 2単位							
		医療関]連の必修専門科目である基礎医学を元に、本講義では臨床医学とは何かを学ぶ。具体的に						
		での事	『例を挙げながら、患者とのインタフェースに視点を置き臨床医学のあるべき姿について討	議する。ま					
講義	目標	た、受	講者自身の研究論文をベースに、情報ツールの活用方法および臨床医学との関連の理解	を深め、医					
		療情報	Bの専門家としてのスキルアップを図る。全体を通じて受講生による発表・討論を行い、また、	施設見学					
		を行う	ことで臨床医学研究の理解を深める。						
到達	目標	1. 修	紫士論文の指導による、完成までのマイルストーン・方向性の確認できる						
27 22	<u>п</u>	2. 医	療機器の研究開発の現状と手法の理解できる						
		✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけて	ている。					
		1	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	ための実					
学位持	受与方針	•	践的能力を身につけている。						
との対	応	./	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り	まとめて発					
			表する能力を身につけている。						
		✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。						
SDG	ls との		3						
関連									
	方法		-トを課し、その内容を評価し成績をつける。	18 8 1 1					
	こ対する	_	-トについては、授業中に課題内容(修士論文)を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィー	トバックす					
	ドバック	る。 =##T#							
使用	教材		F成の ppt ファイルおよびプリントが中心となる。						
	講義「	内容 医学概論コンピュータ外科(1)							
1	=****	 5到達目標	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理と次週の課題の確認	1 吐明					
		D到连日保	予習 Free mind map を PC にインストールして、使用方法に、習熟する。 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間 1 時間					
	2 講義 [中家	復習 講義内容に関連する情報や知識を目王的に調べる	1 四月日					
	神我 1	7) 谷	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理と次週の課題の確認						
2	該当する	5到達目標	予習 Free mind map を PC にインストールして、使用方法に、習熟する。	1 時間					
	$\frac{1}{2}$	가뜨니까	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間					
	講義「	力 容	医学概論コンピュータ外科(3)	T H/J[H]					
	ur7 320 1		Free mind map を使用し、修士論文の概要整理と次週の課題の確認						
3	該当する	 5到達目標	予習 Free mind map を PC にインストールして、使用方法に、習熟する。	 1 時間					
	$\frac{1}{2}$		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間					
	講義「	 为 容	医学概論医療機器開発と薬事法(1)						
			Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確	記					
4	該当する		₹習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間					
	1,2		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間					
	講義「	内 容	医学概論医療機器開発と薬事法(2)	<u></u>					
			Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確						
5			Tiee mind map と使用し、修工論人の似文正理、前週よくの進沙能能と入過の赤砲の推	:DIL)					

TJ 1	NIO 牛皮 区的	景倫仙情報子専攻 ンフハス					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義内容	医学概論医療機器開発と薬事法(3)					
6		Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の研	在認				
O	該当する到達目標	予 習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	医学概論レギュラトリーサイエンスとリスク管理(1)					
_		Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の研	在認				
7	該当する到達目標	予 習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	医学概論レギュラトリーサイエンスとリスク管理(2)					
0		Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の研	准認				
8	該当する到達目標	予 習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	医学概論レギュラトリーサイエンスとリスク管理(3)					
_		Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の研	雀認				
9	該当する到達目標	予 習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義内容	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理とマイルストーンの確認(1)					
10	該当する到達目標	予 習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	1,2	復習 修士論文の内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義内容	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理とマイルストーンの確認(2)	<u>'</u>				
11	該当する到達目標	き習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	1,2	復習 修士論文の内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義内容	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理とマイルストーンの確認(3)	•				
12	該当する到達目標	予習 修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	1,2	復習 修士論文の内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	課外学習(TWIns) 施設見学と医療機器の研究開発についての理解と討論(1)	<u>'</u>				
13	該当する到達目標	🎅 これまでの講義内容と修士論文を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1 時間				
	1,2	復習 討論した事項をまとめ、修士論文にかかわる課題を考察する	1 時間				
	講義内容	課外学習(TWIns) 施設見学と医療機器の研究開発についての理解と討論(2)					
14	該当する到達目標	予 習 これまでの講義内容と修士論文を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1 時間				
	1,2	復習 討論した事項をまとめ、修士論文にかかわる課題を考察する	1 時間				
	講義内容	課外学習(TWIns) 施設見学と医療機器の研究開発についての理解と討論(3)					
15	該当する到達目標	▼ 『 これまでの講義内容と修士論文を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1 時間				
	1,2	復習 討論した事項をまとめ、修士論文にかかわる課題を考察する	1 時間				
	配布した資料		を毎回持参				
備	すること。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。						
考	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了時間後に応じる。						
	教員への連絡	各方法は、初回授業時に提示する。					

	目 名	医療産業特論							
英 :	文 名	Healt	Healthcare Industry						
担:	当教員	木村	憲洋						
時期	・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位							
		医療	産業にお	らけるメインプレイヤーは、医療機関であることは間違いないが、医療機関だけでは	良質な医				
		療提供	きするこ	ことができない。医療産業においては、医療機関が医療サービスを提供するために、	医療機関				
講義	目標	を支援	する企業	など周辺の企業やサービスなどが多数存在する。					
		本講	本講座では、医療産業に関わる医療機関から医療を支援する企業について理解することにより、新たなビ						
		ジネス	モデルに	こついて創造することを目標とする。					
				-周辺企業におけるそのビジネスモデルを理解できる。					
到達	目標			と業のビジネスモデルのブラッシュアップをすることができる。					
				こおける新たなビジネスモデルを構築することができる。					
				療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけて	_				
				情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する ・・・・・・・・・	ための実				
学位控	受与方針			」を身につけている。 					
との対	协			療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りま ・・・・・・・・・・・	Fとめて発				
				がある中につけている。					
	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。								
SDG 関連	is との		6	8 9 1					
	· 方法	講義に	おけるっ						
課題に	こ対する								
フィー	ドバック	ティス	カッション	を中心に講義を行う。					
		病院のしくみ(日本実業出版社)							
使用	教材	病院紹	営のしく	み(日本医療企画)					
		1からの病院経営(碩学社)							
	講義	内 容	医療政						
1	該当する	5到達目標	予習	医療政策に関する最新の情報を調べ理解し講義時にプレゼンテーションする。	1 時間				
	1,2		復習	医療政策に関する講義の内容を再度考察する。	2 時間				
	講義	内 容	診療報	酬点数と医療サービス 					
2		5到達目標	予習	診療報酬点数に関する最新の知識を調べ理解する。	1 時間				
	1,2		復習	診療報酬点数と医療サービスの関連について講義の内容を再度調べ理解する。	2 時間				
	講義	为 容 ————	診療所	行と病院、保険薬局					
3		5到達目標	予習	診療所と病院、保険薬局の経営に関する最新の知識を調べ、講義時にプレゼン	1 時間				
	1,2			テーションする資料を作る。					
			復習	診療所と病院、保険薬局の経営に関する講義の内容を深く理解する。	2 時間				
	講義		居宅糸	らせービス、施設系サービス、居宅介護支援 					
4		5到達目標	予習	居宅系サービス、施設系サービス、居宅介護支援の経営に関する最新の知識を	1 時間				
4	1,2			調べ、講義時にプレゼンテーションする資料を作る。					
			復習	居宅系サービス、施設系サービス、居宅介護支援の経営に関する講義の内容を 深く理解する。	2 時間				
5	講義	内 容	医薬品	と製薬企業					
9	, 324	-							

13.1	F > 1 \(\sigma \sigma \)	Х ІШ ІШ І	月秋ナサ久 ノグ・ハ	
	該当する到達目標	予習	医薬品と製薬企業に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーション	1時間
	1,2		に備える。	
		復習	医薬品と製薬企業に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2 時間
	講義内容	医療	[©] 機器と医療機械メーカー	
	該当する到達目標	<u> </u>	医療機器と医療機械メーカーに関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼン	
6	1,2	予習	テーションに備える。	1 時間
		復習	医療機器と医療機械メーカーに関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2 時間
	講義内容	医薬品		
	 該当する到達目標		医薬品流通と医療機器・材料流通、病院物流支援に関するビジネスモデルを調	
7	1,2	予習	べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1 時間
		復習	医薬品流通と医療機器・材料流通、病院物流支援に関するビジネスモデルに関する する講義の内容を深く理解する。	2 時間
	講義内容	医療		
0	該当する到達目標	予習	医療事務代行と院内清掃、病院給食代行に関するビジネスモデルを調べ講義時	1時間
8	1,2		のプレゼンテーションに備える。	
		復習	医療事務代行と院内清掃、病院給食代行に関するビジネスモデルに関する講義 の内容を深く理解する。	2 時間
	講義内容	臨床		
	該当する到達目標	予習	臨床検査代行と画像診断支援代行に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレ	
9	1,2		ゼンテーションに備える。	1 時間
		復習	臨床検査代行と画像診断支援代行に関するビジネスモデルに関する講義の内容 を深く理解する。	2 時間
	講義内容	医薬品		
10	該当する到達目標 1,2	予習	医薬品開発支援に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに 備える。	1 時間
	1,2	復習		2 時間
	* * + •			
	講義内容		経営支援 「厉衆奴尚士巫⋌厉疾奴尚」、┴▗▗▗、▎░▗▊士▗▗░░▗▗▗▗▗░▗▗▗▗░░▗	
11	該当する到達目標 1,2	予習	医業経営支援(医療経営コンサルタント)に関するビジネスモデルを調べ講義時 のプレゼンテーションに備える。	1 時間
	, —		医業経営支援(医療経営コンサルタント)に関するビジネスモデルに関する講義	
		復習	の内容を深く理解する。	2 時間
	講義内容	人材約		
	該当する到達目標	ייה עם	人材紹介業(医師紹介業など)に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼン	1 n+00
12	1,2	予習	テーションに備える。	1 時間
		復習	人材紹介業(医師紹介業など)に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2 時間
	講義内容	医療!	関連 ICT	
13	該当する到達目標	予習	医療関連 ICT に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備	1時間
	1,2		える。	
		復習	医療関連 ICT に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2 時間
14	講義内容	ビジオ	ペスモデル構築演習 1	

	該当する到達目標	予習	医療産業に関するビジネスモデルを構築する。	5 時間			
	3	復習	ビジネスモデルに関するディスカッションを踏まえ直す。	5 時間			
	講義内容	ビジネ	スモデル構築演習 2				
15	該当する到達目標	予習	医療産業に関するビジネスモデルを構築する。	1 時間			
	3	復習	ビジネスモデル構築の復習をする。	1 時間			
備	授業は、様々な医療業界の事業者のビジネスモデルについて説明し、最終的に新たなビジネスモデルを構築する。						
	教員への連絡	教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。					
考	オフィスアワー	オフィスアワー月曜日 1 時限					

	目 名	医療性	医療情報学特論演習						
英:	文 名	Medical Informatics Practice							
担:	当教員	長澤	· 亨						
時期	・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位							
講義	き目標	医療情報学特論演習では、前期の特論の学習内容を定着するために、実際の医療データに対して多変量解析を適用し、解析手順、オプションの設定、解析結果の読み方、意味づけなどワークショップ形式で演習を行い、医療データの有効活用のための基礎力を涵養することを目的とする。演習とディスカッションで理解を深め、知識の定着を図る。							
到達目標		1. 前期に履修した医療情報の特性や多変量解析の理論を説明できる 2. 実際の医療データの解析を行い、適用した方法、解析手順、パラメータの設定、解析結果を説明できる。 3. データによる適切なクレンジング処理、グラフ化、正規化、データ変換などの処理ができること。 4. 目的に応じて適切な多変量解析方法を選択できること。 5. 解析結果に対して適切に解釈できること。							
		1	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	けている。					
	受与方針		高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用す 践的能力を身につけている。						
との対	対応		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り 表する能力を身につけている。	ほとめて発					
		1	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。						
SDGs との 関連			4						
評価	i 方 法		ワークショップではデータ解析とその解釈など、プレゼンテーション形式で行うため、発表内容を重視する (50%)、および課題レポート(50%)で評価する。						
課題に	こ対する		演習は、実際の医療データを多変量解析ソフトで処理を行うワークショップ形式である。適切な処理、出力結						
フィー	ドバック	果の説	果の説明、解析の理解度など(50%)、および提出課題(50%)で総合的に評価する。						
使用	教 材	参考区	書は紹介する。レクチャーに使用する資料は随時配布する。						
	講義「	内 容	後期講義計画と多変量解析の演習の準備						
1	該当する	5到達目標	予習 前期の講義内容を復習する。	1 時間					
	1,2,3	,4,5	復習 課題を仕上げる	1.5 時間					
	講義「	内 容	データのクレンジング処理の方法とその重要性の把握						
2	該当する	5到達目標	▼ 習 データクレンジング、グラフ、はずれ値処理、正規化など予習する。	1 時間					
	1,2,3	,4,5	復習 課題を仕上げる	1.5 時間					
	講義「	内 容	分散分析の読み方と多重比較方法の選択						
3	該当する	5到達目標	予習 分散分析について予習する。	1 時間					
	1,2,3	,4,5	復習 課題を仕上げる	1.5 時間					
	講義「	内 容	クラスタ分析によりデータの類似性を定量的・視覚的に把握する						
4	該当する	5到達目標	予習 クラスタ分析について予習する。	1 時間					
	1,2,3	,4,5	復習 課題を仕上げる	1.5 時間					
	講義「	内 容	分割表分析の活用と問題解決						
5	該当する	5到達目標	予習 分割表分析について予習する。	1 時間					
	1,2,3	,4,5	復習 課題を仕上げる	1.5 時間					
6	講義「	内 容	重回帰分析における多重共線性と交絡因子の把握						

では3年度 医療価値情報子等攻 グラバス							
	該当する到達目標	予習	重回帰分析について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	内容 ロジスティック回帰分析					
7	該当する到達目標	予習	2 項、多項、順序ロジスティック回帰分析について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	主成分	分分析による類似項目の把握と因子負荷料、寄与率などについて理解する	•			
8	該当する到達目標	予習	主成分分析について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	因子统	分析による潜在因子の把握、主成分分析との違いを理解する。	•			
9	該当する到達目標	予習	因子分析について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	多次是	元尺度構成法による項目間距離による類似項目の把握	•			
10	該当する到達目標	予習	多次元尺度構成法について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	信頼	- 度分析の活用と有効な項目の選択、クロンバックαの理解	•			
11	該当する到達目標	予習	信頼度分析について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	i 義 内 容 時系列解析によるトレンド分析、時間平均の活用について理解する。					
12	該当する到達目標	予習	時系列分析について予習する。	1時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	生存率	- 率曲線の検定と比例ハザードモデル、				
13	該当する到達目標	予習	生存率曲線について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	数量值	 比分析の要点とアンケート処理	<u>.</u>			
14	該当する到達目標	予習	数量化分析について予習する。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間			
	講義内容	総合征	复習とまとめ				
15	該当する到達目標	予習	本演習全体に対して十分に理解しているか。	1 時間			
	1,2,3,4,5	復習	まとめ課題を仕上げる。	1.5 時間			
	最終的に単位	修得に	必要な時間との差異は、各自で補完すること。				
備	オフィスアワー	-:月曜	日の 1 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付ける。				
備考	メールアドレス	ζΓ _{naga}	asawa#takasaki-u.ac.jp(#→@) J				
75	研究室:1 号館	官6階(608				
	VOD:出席と	:成績は	は課題提出で評価する。				

13 1		<u>~~~~</u>	ж іш іш і	月似て守久 とりいへ				
科	目 名	質的/量的研究特論						
英二	文 名	Qualitative research and Quantitative research						
担当	当教員	上原 往	上原 徹、安達 正嗣					
時期	・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位						
講義	:目標	究は、 容分析 数の多	福祉学における調査研究の主たる二つの方法である質的研究と量的研究について講義を行う。質的研 、比較的に数の少ないデータについて「何故、どうして」という意味内容を把握するために行われる。内 所、グラウンデッドセオリー、エスノグラフィーなどの方法で記述データを扱うことが多い。量的研究は、 多いデータを標準化された測定法や尺度で数量化し、定式化された統計手法で仮説を科学的に検証す 記である。学生が、研究の基礎になる二つの方法論について十分に理解すること、以上を目標とする。					
		1. 研	究の基準	本事項を説明できる	<u> </u>			
		2. 研	・ 究デザ [・]	インの重要性を認識できる				
到達	目標	3. 研	究手法の	の種類と解析方法を解説できる				
		4. 自	身の研	究方法について、適応を検討できる				
		5. 実	現可能	な研究方法を一人で計画できる				
		1	健康・医	療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	ている。			
		i	高度なり	青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	るための実			
学位接	受与方針	į	践的能力	力を身につけている。				
との対	応	1	健康∙医	療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り	まとめて発			
		-	表する前	と力を身につけている。				
		1	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。					
SDG 関連	ks との	0			16			
/		「講義への出席3分の2以上」、授業への参加態度40%、プレゼンテーションやディスカッションの内容60%						
評価	i方法	等を総	等を総合して判断する。					
課題に	こ対する	ı . +°	L1-01	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
フィー	ドバック	レハー	トーンし	· Cは、争削に床題内谷を古知し、記載方法や正題息図、基準をフィートバック 9 る。				
使 用	教 材	第1回	の時に	学生と相談の上、研究テーマに応じて決める				
	講義「	内 容	調査研	研究の基礎(質的)				
1	該当する	到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,4		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義「	内 容	仮説と	生実証(質的)				
2	該当する	到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,4		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義「	内 容	研究	デザインの基礎(質的)				
3	該当する	3到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間			
	講義「	内 容	質的研	开究概説				
4	該当する	3到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間			
	1,4		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義「	内 容	質的研	开究例と方法論				
5	該当する	3到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	19	1,2		講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			

令和5年度 医療福祉情報学専攻 シラバス

	講義内容	研究論文のまとめ方(質的)					
6	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	調査研究の基礎(量的)					
7	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	仮説と実証(量的)					
8	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究デザインの基礎(量的)					
9	該当する到達目標	▼ あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	量的研究概説					
10	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	量的研究と方法論					
11	該当する到達目標	▼ あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究論文のまとめ方(量的)					
12	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	統計処理の基本					
13	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,3	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究倫理審査について					
14	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4,5	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合討論、まとめ					
15	該当する到達目標	▼ る これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間				
	1,4,5	復習 討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間				
	最終的に単位	☑修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。					
	講義前には、	担当に該当する教科書の内容を読んでおくこと。講義の後に「関連文献」や「関連書籍	」を伝えるので、				
備	それを読み関心を高めること。なお、質的研究を安達、量的研究を上原が主に担当する予定。						
考	教員への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。						
	オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜5限、金曜5限とする。						

オフィスアワー(安達):前後期ともに、火曜5限と水曜3限とする。

	目名		社会福祉研究方法論					
英 :	文 名	Research Methods of Social Welfare						
担:	当教員	安達 正嗣						
時期	・単位	医療福	祉情報:					
		社会	福祉学	よらびにその関連の学問分野(老年学、社会学など)における参考文献、既存の学術	論文•報告			
		書なと	書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自で社会福祉研究法を理解し身につけ					
=# **		ること	ることが目標である。					
講 義	目標	講義	全体を通	配じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書	の各章(担			
		当者の)指定す	る教科書の場合もある)・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受講	生と質疑応			
		答∙議	論をする	lo				
		1. 社	会福祉	研究の方法論の基本事項を説明できる。				
		2. 社	会福祉	研究のデザインの重要性を認識できる。				
到達	目標			研究の手法の種類と分析方法を解説できる。				
		_		身の研究方法について、社会福祉研究の方法を適用できる。				
				は研究方法を一人で計画できる。				
		✓		療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	-			
				青報処理技術を習得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	るための実			
	受与方針			かを身につけている。	-14-2			
との対	列心			:療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り ************************************	まどめて発し			
		1		能力を身につけている。 - 療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。				
SDC	ls との	✓	健康 医	原・床庭伸忙力到の寺 風吹としての使叩ぶと開連就をもっている。				
関連				3 4 5 8 9 0 1 12	(b)			
証 征	5 方法	講義に	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディス					
ит пи	. 77 72	カッシ	カッションの内容 30%を総合して判断する。					
課題に	こ対する	レポー	トにつし	では、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。				
-	ドバック							
使用	教材		_	学生と相談の上、研究テーマに応じて決める 				
	講義「			ンテーション				
1		5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義「			Dー分野としての社会福祉研究	4 0+88			
2		S到達目標 4 ►	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
0	講義「			り視点と研究の視点 - キこかじかだ字! た会会書か姿料の部分をきま	1 吐用			
3		3到達目標 1	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる ビューの方法と作成	1 時間			
1		ス 谷 	予習	ンピューの方法と1fi成 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
4	1,2,3		復習	あらかしめ指定した参考者や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる				
	1,2,3 講義 [·		講義内谷に関連する情報や知識を日土的に調べる D倫理	1 時間			
5		4 谷 5到達目標	予習	^カ	1 時間			
	M=19 €	シェルモロ信	J' E	めつか、しょうなたしに参加官で見合いの方で記む	〒 1441日1			

13.1	F 0 1/2 E"	水 田 土	自和子等な フグバス					
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究詞	果題の設定とその手順	·				
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	仮説(仮説の構築と検証の手続き					
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究資	資料の収集と分析					
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	量的記	関査データの分析					
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	面接記		•				
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	ミクロレベルの評価分析						
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	メゾレ	· ベルの評価分析	•				
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究詞	計画の作成					
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	問題を	・ と政策に結びつける調査研究	·				
14	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合詞	- 対論、まとめ	·				
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間				
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間				
/ #	最終的に単位	修得に	必要な時間との差異は、各自で補完すること。	·				
備	オフィスアワ-	ーは、前	「後期共に、火曜日 5 限·6 限である。					
考	教員への連絡	格方法は	は、初回授業時に提示する。					

科	目 名	医療倫理特論							
英:	文 名	Medical Ethics							
担:	当教員	大石 桂子							
時期	・単位								
		近年では先端医療技術の飛躍的な発展によって、人間が生まれる、生きる、死を迎えるという各段階それ							
		ぞれに	、新たな倫理的課題	題が生じている。					
講義	ま目 標	本講	義では倫理学の基	礎理論を踏まえつつ、「移植医療」、「遺伝子診断」、「エンハン	スメント」などのテー				
		マを取	り上げる。資料の詞	講読、事例研究、ディスカッションを通して、生命を取り巻く現代	代の状況、生命の尊				
		重、病気や障害をどのように受けとめるかについて自ら考察することを目的とする。							
		1. 医	療倫理の四原則、	ジュネーブ宣言やリスボン宣言など、医療倫理の規範を概説で	きる。				
		2. 生命の尊厳、自己決定の尊重など、医療倫理の基礎となる思想について概説できる。							
到達	目 標	3. 遺	伝子診断、移植医療	寮、エンハンスメントなど、医療技術の進歩にともなう課題につい	って概説できる。				
		-		相互関係について、事例をもとに理解できる。					
				考を深め、みずからの問題意識をもって意見を述べることができ					
				祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を					
				術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決! 	こ適用するための実				
	受与方針		践的能力を身につけている。						
との対	讨応		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発						
			表する能力を身につけている。						
		✔ 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。							
SDG 関連	is との		3 4 1						
	方法	レポー	 ト課題(50%)、ディ						
課題に	こ対する								
フィー	・ドバック	課題はコメントを添えて返却する。							
使用	教 材	講義中	にプリントを配布す	⁻ నం.					
	講義「	内容	ガイダンス						
1	該当する	る到達目標	予習 シラバス	こ目を通し、講義目標や内容を確認する。	1 時間				
			復習 講義内容	、評価方法などについて理解する。	1 時間				
	講義「	内容	なぜ自己決定が	重視されるのか――医療倫理と社会的・思想的背景					
2	該当する	る到達目標	予習 医療倫理	の四原則について調べる。	1 時間				
	1,2		復習自己決定	権が重視される思想基盤、医療事情を理解する。	1.5 時間				
	講義「	内容	なぜ人命は尊重	されるのか――パーソン論とカント					
3	該当する	る到達目標	予習 配布プリン	ノトに目を通す。	1 時間				
	2,5		復習 人命尊重	の二つの根拠の相違点を理解し、課題を完成させる。	2 時間				
	講義「	内容	善悪の基準(1):	幸福のための道徳――目的論					
4	該当する	る到達目標	予習 配布プリン	ノトに目を通す。	1 時間				
	2		復習 功利主義	の思想と医療倫理への影響を理解する。	1.5 時間				
	講義「	内容	善悪の基準(2):	公正のための道徳――義務論					
5	該当する	5到達目標		.l <i>l</i> - ロナ	₁ n+88				
9			予習 配布プリン	/パ〜日を迪9。	1 時間				
3	2		<u> </u>	アドニロを通り。 義務論の思想と医療倫理への影響を理解する。	1.5 時間				

11 1			開報子等久 フグバス					
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1.5 時間				
	3	復習	エンハンスメントの実例、病気の定義の流動性について理解する。	1.5 時間				
	講義内容 エンハンスメント(2):弱さの価値							
7	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1.5 時間				
	3,5	復習	エンハンスメントが社会的連帯にもたらす影響について、課題を完成させる。	3 時間				
	講義内容	は内容 遺伝子診断:出生前診断、遺伝子による就労差別						
8	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間				
	3	復習	出生前診断の現状、知らされない権利について理解する。	1.5 時間				
	講義内容	真実領	告知					
9	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間				
	3,5	復習	VTR の内容をふまえ、子どもへの真実告知のあり方について課題を作成する。	3 時間				
	講義内容	代理》	央定					
10	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1.5 時間				
	3	復習	終末期医療やアシュリー・ケースに見る代理決定の範囲について理解する。	2 時間				
	講義内容	移植医療(1):臓器移植法						
11	該当する到達目標	予習	改正臓器移植法について調べる。	2 時間				
	3	復習	臓器移植法の課題について理解する。	1.5 時間				
	講義内容	移植医療(2):脳死問題と死の定義、移植医療の意義						
12	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	2 時間				
	3,5	復習	資料をもとに移植医療について課題を完成させる。	3 時間				
	講義内容	技術と社会						
13	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間				
	4	復習	社会環境が自己決定に与える影響について理解する。	1.5 時間				
	講義内容	病気(の受けとめと「生きがい」					
14	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間				
	2,3,4	復習	死の五段階などについて理解する。	1.5 時間				
	講義内容	総括						
15	該当する到達目標	予習	第1回~第14回までのノートに目を通す。	1.5 時間				
	1,2,3,4,5	復習	各テーマについて自分の見解を再確認する。	2 時間				
	本講義は配布	゙゙゙゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	トを中心に行い、テーマごとに課題・ディスカッションをします。					
	知識の修得だ	知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。						
備	*オンライン授	業とな	った場合は、C-Leaning 上で講義資料を閲覧・課題を提出する形式になります。					
考	オフィスアワー	-:水曜	日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。					
メールアドレス「oishi#takasaki-u.ac.jp(#→@)」 研究室: 1 号館 6 階 601								

	目 名	医療経済学特論							
英 :	文 名	Health Economics							
担	当教員	町田	修三						
時期	時期·単位 医療福祉情報学専攻修士課程 1 年 後期 選択 2 単位								
		将来国	E療関連の仕事や研究に従事する学生にとって必要な、医療経済に関する諸問題を検証す	る講座であ					
		る。まずは医療経済に関する最新の情報を確認し受講者と議論するとともに、最先端の研究を紹介する。ま							
=# *		た、医療は多くの国で未解決の課題を残しているという現状をふまえ、日本の抱える問題点の理解とそれら							
語 我	目標	の解決方策について、特に海外との比較研究を実施することで議論を深めていきたい。可能であるならば、							
		本学が実施している海外研修(ドイツ、フィンランド、ベトナム、インドネシア、台湾など)に同道して、現地の医							
		療を調査しリサーチの質を担保したい。							
		1.	療需要の特徴を説明できる。						
		2.	民医療費とその財源について、現状と課題を確実に理解している。						
到達	目標	3. E	l本の医療供給体制の現状と課題を確実に理解している。						
			本の医療政策の課題と対応策について説明できる。						
			外諸国の医療制度や医療政策について、特に日本とのちがいについて、その特徴を説明で	だ る。					
		6. 5	れからの日本の医療のありかたについて、自分の考えを発表できる。						
		✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	-					
			高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実						
学位持	受与方針	践的能力を身につけている。							
との対	协応		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発						
		表する能力を身につけている。							
SDG 関連	ls との		3 4 8	16					
評価	i 方 法	ワーク	プショップ、プレゼンテーション等の授業参加度 70%、レポート 30%により、評価する。						
課題は	こ対する	1 1 1 ° -	レポートや提出物については、コメントをつけて返却する。						
フィー	ドバック	V.							
使 用	教材	特に打	記定はしないが、推薦図書を何冊か紹介する。講義に使用する資料は前もって配布する。 -						
	講義「	内 容	イントロダクション―授業の進め方、到達目標、評価方法の確認	1					
1	該当する	5到達目標	^予 習 シラバスをよく読み、講義の概略を理解しておく。	1 時間					
			◎ ▼ 与えられた資料を熟読し、興味のある分野のリサーチを開始する。	1 時間					
	講義「	内 容	医療の経済分析―医療需要						
2	該当する	5到達目標	予習 あらかじめ配布された資料に目を通しておく	1 時間					
	1		◎ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1 時間					
	講義「	内 容	ワークショップ 医療の経済分析―医療需要と国民医療費の計量分析						
_									
3		5到達目標	き習 あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間					
3	該当する 1,2	S到達目標	復習 講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間					
3			復習 講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 医療供給のミクロ分析	1.5 時間					
4	1,2 講義 [該当する		復習 講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 医療供給のミクロ分析 予習 あらかじめ配布された資料に目を通しておく	1.5 時間					
	1,2	为 容	 復習 講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 医療供給のミクロ分析 予習 あらかじめ配布された資料に目を通しておく 復習 講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 	1.5 時間					
	1,2 講義 [該当する	为容 5到達目標	復習 講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 医療供給のミクロ分析 予習 あらかじめ配布された資料に目を通しておく	1.5 時間					

<u> </u>	四り十段 区が	以田川	育牧子等攻 シブハス					
	3	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	日本の	の医療政策と医療制度改革					
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通しておく	1.5 時間				
	4	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップ 日本の医療政策と医療制度改革					
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	4	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップ 医療の国際比較① 先進国の医療政策					
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップ 医療の国際比較② 経済開発と途上国の医療政策					
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップ 医療の国際比較③ 先進国の医療改革					
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	内 容 ワークショップ 医療の国際比較④ 経済開発と途上国の医療改革						
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップ 医療の国際比較⑤ 現地調査(ベトナム、ドイツ、フィンランドのいずれか))				
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップ 医療技術と医療評価					
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間				
	6	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。	1.5 時間				
	講義内容	ワーク	フショップのまとめとプレゼンテーション					
14	該当する到達目標	予習	これまでのワークショップを振り返り、よく理解しておく。	2 時間				
	2,3,4,5,6	復習	これまでのリサーチをもとにプレゼンテーションの原稿作成に着手する。	3 時間				
	講義内容	リサー	- -チ内容のプレゼンテーション					
15	該当する到達目標	予習	プレゼンテーション原稿を完成させる。	3 時間				
	2,3,4,5,6	復習	指摘を受けた部分に手を入れ、完成原稿として提出する。	2 時間				
	BP 対象講義	なので、	、ワークショップやディスカッションを多数取り入れた講義である。	•				
備	学習時間はレ	/ポート 1	作成や、講義終了後の学習によって補完すること。					
考	教員への連絡	済法は	は、初回授業時に提示する。					
オフィスアワー: 月曜日 4 限目と金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603								

13.1	H 0 1	12 21	水 田 正	月牧子等攻・ソフハス			
科	目 名	健康情報学特論演習					
英 :	文 名	Healthcare Informatics					
担:	担当教員 松尾 仁司						
時期	・単位	医療福	祉情報:	学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位			
講義目標		疾患の早期発見を目的として定期的な健康診断が実施されているが、より積極的に健康管理をするためには日常の生活環境で発生している個人の健康情報や生活習慣情報を対象とし、そこから健康維持・増進に有用な知識を獲得することの重要性が指摘されている。講義では前半で個人の健康情報取得に関する各種課題を理解し、後半では、どのような健康情報や生活習慣情報を対象に実用化すべきか討論し、健康維持・増進に有用な解析結果を得るための手法を、演習を通して修得する。					
		1. 少子高齢社会における健康データの意義について理解し課題を定義できる。					
到達	目標	2. 傾	康デー	タ処理の手法を理解し実践できる。			
		1	健康•医	療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	けている。		
			高度な情	青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用す	るための実		
学位指	受与方針	/	践的能力	力を身につけている。			
との対	応	, 1	健康∙医	療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り	まとめて発		
		•	表する能	能力を身につけている。			
		1	健康∙医	療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。			
SDG	ks との		4	3 (1)			
関連		3 (1)					
評価	i 方 法	各回の討論内容(50%)と演習の結果報告の理解度(50%)で評価する。					
課題に対する 討論とワークショップが主体となるので、課題に対するフィードバックは毎回行われる。							
使用	教 材	関連資	料を適り	直配布する。			
	講義「	内 容	導入•	健康情報学とは			
1	該当する	該当する到達目標		シラバスを読み講義の流れを理解しておく。	1 時間		
	1,2		復習	講義の目的と意義を理解する。	1.5 時間		
	講義「	内 容	個人個	建康管理の課題			
2	該当する	5到達目標	予習	第2回目資料に目を通しておく。	1 時間		
	1,2		復習	個人健康管理の課題を理解する。	1.5 時間		
	講義「	内 容	生体記	汁測の課題			
3	該当する	5到達目標	予習	第3回目資料に目を通しておく。	1 時間		
	1,2		復習	生体計測の課題を理解する。	1.5 時間		
	講義「	内 容	ウエア	アラブルデバイスの課題			
4	該当する	5到達目標	予習	第4回目資料に目を通しておく。	1 時間		
	1,2		復習	ウエアラブルデバイスの課題を理解する。	1.5 時間		
	講義「	内 容		食査の課題	1		
5		5到達目標	予習	第5回目資料に目を通しておく。	1 時間		
	1,2		復習	画像検査の課題を理解する。	1.5 時間		
	講義「	内 容		導治療の課題	1		
6		5到達目標	予習	第6回目資料に目を通しておく。	1時間		
	1,2		復習	低侵襲治療の課題を理解する。	1.5 時間		
7	講義「	内 容	ゲノム	医療の課題			

	該当する到達目標	予習	第7回目資料に目を通しておく。	1時間				
	1,2	復習	ゲノム医療の課題を理解する。	1.5 時間				
	講義内容	保健医療データ利活用の概念						
8	該当する到達目標	予習	第8回目資料に目を通しておく。	1 時間				
	1,2	復習	保健医療データ利活用の概念を理解する。	1.5 時間				
	講義内容	講義内容 健康情報に関する討論(I)						
9	該当する到達目標	予習	健康管理に必要な情報を調べておく。	1 時間				
	1,2	復習	健康管理に必要な情報を整理する。	1.5 時間				
	講義内容	健康性	- 青報に関する討論(Ⅱ)					
10	該当する到達目標	予習	適切な評価指標を考えておく。	2 時間				
	1,2	復習	適切な評価指標を整理する。	1 時間				
	講義内容	データ解析の手法						
11	該当する到達目標	予習	解析手法について調べておく。	2 時間				
	1,2	復習	解析手法を理解する。	1時間				
	講義内容	健康データワークショップ(I)						
12	該当する到達目標	予習	文献を読んでおく。	3 時間				
	1,2	復習	健康データ解析のコンセプトを理解する。	1 時間				
	講義内容	健康データワークショップ(Ⅱ)						
13	該当する到達目標	予習	文献を読んでおく。	3 時間				
	1,2	復習	健康データ解析の手法を理解する。	1 時間				
	講義内容	健康	データワ <i>ー</i> クショップ(Ⅲ)					
14	該当する到達目標	予習	解析ツールの使い方を調べておく。	3 時間				
	1,2	復習	健康データ解析を実行する。	2 時間				
	講義内容	健康	データワークショップ(IV)					
15	該当する到達目標	予習	健康データ解析によりえられた結果を整理しておく。	1時間				
	1,2	復習	健康データ解析の結果を評価してまとめる。	2 時間				
備	ビッグデータを	対象と	した統計学的データ処理方法について学んでおく。					
者	教員への連絡	方法は	、、初回授業時に提示する。					
右	オフィスアワー:水曜日4時限目							

111	11 J T	'区 [67	泉油池	月報子専攻 ンプハス					
科	目 名	生体信号処理特論演習							
英 :	文 名	Biosignal Processing							
担	当教員	髙橋:	高橋 大志						
時期	・単位	医療福	祉情報	学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位					
		近年、画像処理技術は学術的な分野のみならず生活の中でも利用されるようになってきている。今後はデシ							
		タル通	信技術	を用いた画像処理はさらに重要性を増すことが予想されるため、デジタル通信技	術や画像処理				
謙 美	目標	技術も含めた要素技術を集成して各種情報システムを設計・構築できる能力が求められている。そこで、本演							
研 我	; D 17x	習では	電気電	子回路を用いたデジタル通信制御法、及び画像撮影・画像処理法の基礎理論にて	ついて解説し、				
		実際に電気電子回路の構築及びソフトウェアを用いた情報通信制御法、並びにソフトウェアによるデジタルカ							
		メラの	駆動制御	即・画像処理法についての演習を行う。また、3 次元モデリング及び 3 次元印刷も	実施する。				
		_		回路の設計・構築法及び情報通信技術を理解し、各種装置を制御できる。					
到達	目標			ア作成による画像情報の表示および画像処理法を理解する。					
				デリング技法及び3次元印刷法を身につける。					
				療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につ					
				青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用	するための実				
	受与方針			力を身につけている。 に表。伊徳徳州の桂根はに関わる部間について研究さない。その代用なき切り	n1+1.4-2~				
との対	孙心	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り表する能力を身につけている。							
SDG	s との	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。							
関連		4							
評価	方法	演習実施状況(課題)(50%)とレポート(50%)により評価し、総合評価 60%以上を合格とする。							
課題に	対する	レポート課題についてはコメントを付して返却する。							
フィー	ドバック	レルー							
使用	教 材	講義に	必要な	資料・文献は適時配布し、実験機材類はこちらで準備する。					
	講義	内 容	デジタ	アル通信、デジタル画像、デジタル撮影法及び画像処理法の理解					
1	該当する	5到達目標	予習	デジタル通信、デジタル画像及び画像処理法について調べる。	1.5 時間				
	1		復習	デジタル通信、デジタル画像及び画像処理法について理解する。	1.5 時間				
	講義	義 内 容 電気		『子回路の構築演習(その 1)					
2	該当する	5到達目標	予習	電気電子回路の理論について調べる。	1.5 時間				
	1		復習	電気電子回路の理論について理解する。	1.5 時間				
	講義	内 容	電気電	電子回路の構築演習(その 2)	T .				
3	該当する	5到達目標	予習	電気電子回路の理論について調べる。	1.5 時間				
	1		復習	電気電子回路の理論について理解する。	1.5 時間				
	講義日			電子回路の構築演習(その3)					
4		5到達目標	予習	配布資料を読み理解する。	1.5 時間				
	1		復習	課題を実施する。	1.5 時間				
	講義			電子回路の構築演習(その 4)	, _ e±00				
5		5到達目標	予習	課題を実施する。	1.5 時間				
	1		復習	課題を完了させる。	1.5 時間				
6	講義			電子回路の構築演習(その 5)	1 × n+80				
	該当する到達目標		予習	レポートを作成する。	1.5 時間				

1- 1	- · · ~ - "		INTER 1 1700 DE DE CONTRACTOR					
	1	復習	レポートを提出する。	1.5 時間				
	講義内容	電気電	電子回路の構築と通信制御演習(その 1)					
7	該当する到達目標	予習	電気電子回路の設計・構築法と通信制御法を調べ、資料を読む。	1.5 時間				
	1	復習	電気電子回路の設計・構築法と通信制御法を理解する。	1.5 時間				
	講義内容 電気電子回路の構築と通信制御演習(その2)							
8	該当する到達目標	予習	電気電子回路の設計・構築法と通信制御法を調べ、資料を読む。	1.5 時間				
	1	復習	電気電子回路の設計・構築法と通信制御法を理解する。	1.5 時間				
	講義内容	電気電	電子回路の構築と通信制御演習(その3)					
9	該当する到達目標	予習	電気電子回路の設計・構築法と通信制御法を調べ、資料を読む。	1.5 時間				
	1	復習	電気電子回路の設計・構築法と通信制御法を理解する。	1.5 時間				
	講義内容	電気電	電子回路の構築と通信制御演習(その 4)					
10	該当する到達目標	予習	レポートを作成する。	1.5 時間				
	1	復習	レポートを提出する。	1.5 時間				
	講義内容	デジタ	デジタル画像処理演習(その 1)					
11	該当する到達目標	予習	開発環境の構築法(OpenCV を用いた Python コード)を調べる。	1.5 時間				
	2	復習	開発環境構築及び Python コードでの機器制御法を学習する。	1.5 時間				
	講義内容	デジタル画像処理演習(その 2)						
12	該当する到達目標	予習	資料を読み課題を実施する。	1.5 時間				
	2	復習	課題を完了させる。	1.5 時間				
	講義内容	デジタル画像処理演習(その3)						
13	該当する到達目標	予習	レポートを作成する。	1.5 時間				
	2	復習	レポートを提出する。	1.5 時間				
	講義内容	3D ₹	デリング技法					
14	該当する到達目標	予習	資料を読み課題を実施する。	1.5 時間				
	3	復習	3D モデルを完成させる。	1.5 時間				
	講義内容	3D ブ	プリント技法					
15	該当する到達目標	予習	資料を読み 3D プリント技法を理解する。	1.5 時間				
	3	復習	3D モデリングから 3D 印刷の流れを理解する。	1.5 時間				
	学習内容をよ	り深い	ものとするために、予習及び復習をしっかりと実施すること。					
備	演習のため対	演習のため対面で実施する。						
考	授業開始前や	授業開始前や終了後、及びメールでも質問に応じる(研究室:1号館3階314)。						
	※メールアド	※メールアドレスは授業内に知らせる。						

科	目 名	生活援助工学特論							
英	文 名	Life Support Engineering							
	当教員	鈴木 亮二							
	一単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位							
7									
講義	目標	役立つ「もの」を提供することができることを自ら学び取る。ディスカッション形式で講義を行う。							
				、ICTを用いた見守りシステムについて理解することができる。					
		2. 医療情報システムについて理解することができる。							
到達	目標	3. 疾患別、障害別による住環境について理解することができる。							
		4. ADL(Activities of Daily Living)による住環境について理解することができる。							
		5. 福	5. 福祉用具を用いた住環境について理解することができる。						
		1	健康•医	療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身に	つけている。				
		1	高度なり	青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用す	けるための実				
学位持	受与方針	,	践的能力	力を身につけている。					
との対	协応		健康∙医	療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取	りまとめて発				
			表する前	能力を身につけている。					
		1	健康•医	療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	as ≥の			3 4 5					
関連	[
評価	方法	2回の	2 回のレポートの内容評価(1 回目:50%、2 回目:50%)により成績評価を行う。						
課題	こ対する	次回講義の最初に解説を行う							
	ドバック								
使用	教材			所、福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト 改定6版					
	講義「								
1	該当する到達目標		予習	不要	0 時間				
			復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・評価方法を理解する。	0.5 時間				
	講義「		遠隔		4 8400				
2		5到達目標	予習	用語をあらかじめインターネットで調べ、質問を最低1つ用意する。	1時間				
	1		復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間				
0	講義「		· ·	を用いた見守りシステム	4 0+88				
3		5到達目標	予習	用語をあらかじめインターネットで調べ、質問を最低1つ用意する。	1 時間				
	1		復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間				
	講義「			青報システム 「田芸ナナミからかった。カッカップで開き、歴史も見ばする田寺ナス	1 0+88				
4	該当する到達目標		予習	用語をあらかじめインターネットで調べ、質問を最低1つ用意する。	1時間				
	2		復 習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	3 時間				
	# *	.	产中口	第1回目のレポート課題を提示するので、2週後の講義の際提出すること。					
_	講義「			別による住環境 1(脳血管障害、廃用症候群、骨折、認知症) 「数せの米口護差報のな話で、原理を見ば10円音せる	1 元士日日				
5		5到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1 時間				
	3	d	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間				
C	講義「			別による住環境 2(関節リウマチ、糖尿病、心筋梗塞) 	1 吐田				
6		5到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1 時間				
	3		復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間				

111			月刊子寺久 ング・ハ	
	講義内容	障害	训による住環境 1(肢体不自由、ALS、脳性麻痺)	
7	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低 1 つ用意する。	1 時間
·	3	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	障害兒	別による住環境 2(内部障害)	
8	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低 1 つ用意する。	1 時間
	3	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	障害別	洲による住環境 3(視覚・聴覚障害、認知・行動障害)	
9	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1 時間
	3	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	ADL	による住環境 1 (移動)	
10	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1 時間
	4	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	ADL	による住環境 2(排泄)	
11	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1 時間
	4	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	ADL	による住環境 3(入浴)	
12	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低 1 つ用意する。	1 時間
	4	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	福祉月	用具を用いた住環境 1(ベッド、杖、車椅子)	
13	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	5	復習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	福祉月	用具を用いた住環境 2(排泄、入浴、その他)	
14	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低 1 つ用意する。	1 時間
	5	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5 時間
	講義内容	福祉月	用具を用いた住環境 3(住宅改修)	
15	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低 1 つ用意する。	1.5 時間
19	5	復 習	講義概要を 300 字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。。	3 時間
		及日	第2回目のレポート課題を提示するので、2週間以内に提出すること。	
	福祉住環境コーディネーター検定試験 2 級を受験できるレベルの知識を習得する。			
備	オンラインで写	実施する	る場合にも同様の講義内容で行う。	
考	単位修得に必	要な時	間との差異は、各自で補完すること。	
	教員への連絡	方法は	た、初回授業時に提示する。	

令和5年度 医療福祉情報学専攻 シラバス

科目				報子専攻 シラハス 			
英文	名	Construction of Medical Information Systems		on of Medical Information Systems			
担当	教員		寺 幾夫	<u> </u>			
時期・	·単位			学専攻 1年 前期 選択 2単位			
講義	目標	医療	こおいて	病気を診断し、最適の治療方針を選択し、治療効果の評価をしていくうえで、情報こ	そがそのキ		
		ーでも	ある。もに	はや現代の医療は情報システムの支援なくして、成り立ち得ない。医療情報システム	ょは、こうした		
		現代	医療を支	える重要なツールである。しかし、近年病院もサイバー攻撃の対象とされ実害も生	ずるようにな		
		った。	病院情報	吸システムも様々な脅威に対応するため、その安全確保のための効果的な方策か	求められて		
		いる。そこで、本演習は医療情報システムの安全管理ガイドラインを題材に、ワークショップ形式で進めてい					
				ション等を通じて医療情報システムの安全管理に関する理解を深める。合わせて、	相互運用性		
				めの標準化の動向も理解する。			
到達	目標			システムの安全管理に関わる要件を把握し、理解できている。			
		ļ <u> </u>		システムの技術動向や標準化動向を把握し、理解できている。			
	授与方針	-		療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につ			
との対	对心			青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用す - ★ 臭にっけている	るための実		
		-		」を身につけている。 療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り	トレルナ発生		
				療・保健倫征の情報化に関わる味趣について研究を行い、その成果を適切に取り 」を身につけている。	たとめて光衣		
				ができた。 療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
評価	•		授業への参加態度 50%、ディスカッションの内容 50%を総合して判断する。				
課題に対する							
	-ドバック	レポー	ートにつし	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。	o		
使用	 教材	①医	 寮情報シ	ステムの安全管理ガイドライン 第 5.2 版 ②IHE 入門			
		_		基本と仕組み その他、必要な資料は適宜提供する			
	講義内容	容	Introdu	ction、本演習の進め方			
1	該当する	る到達目標	予習	自分の関わる業務を整理し、シラバスを読む	1 時間		
	1,2		復習	医療情報システム構築の動向を調べる	1 時間		
	講義内容	容	ワークシ	'ヨップ 医療情報を扱う際の責任の在り方	1		
2	該当する	る到達目標	予習	教材①を読む。	1 時間		
	1	1 復		討論内容を振り返り、医療情報の取り扱いについて整理する	1 時間		
	講義内容	容	ワークシ	ョップ 情報の相互運用性と標準化①			
3	該当する	る到達目標	予習	教材①、②を読む。	1 時間		
	1,2		復習	討論内容を振り返り、標準化動向を整理する	1 時間		
	講義内容	容	ワークシ	イヨップ 情報の相互運用性と標準化② 			
4	該当する	る到達目標	予習	教材①、②を読む。	1 時間		
	1,2		復習	討論内容を振り返り、標準化への対応策を整理する	1 時間		
	講義内容	容	ワークシ	タープ 医療情報システムの安全管理①			
5	該当する	る到達目標	予習	教材①を読む	1 時間		
	1		復習	討論内容を振り返り、医療情報システムの安全管理の政策動向を整理する	1 時間		
	講義内容	容	ワークシ	タップ 医療情報システムの安全管理②	T -		
6		る到達目標	予習	教材①を読む 	1 時間		
	1		復習	討論内容を振り返り、医療情報システムの安全対策を整理する	1 時間		

13 J H			報子寺久 とりいれ	
	講義内容	フークシ	ヨップ 医療情報システムの安全管理③	
7	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全対策の項目を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ 診療録電子保存の要求事項	
8	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、電子保存の3要件を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ 診療録を外部保存する際の基準	
9	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、外部保存要件を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ 紙の情報の電子化保存	
10	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、外部保存要件を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ 運用管理	
11	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、運用管理の留意点を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ サイバー攻撃の事例研究①	
12	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃被害について事例をネットで調査する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全確保要件を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ サイバー攻撃の事例研究②	
13	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃被害について事例をネットで調査する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全確保要件を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ヨップ サイバー攻撃の事例研究③	
14	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃被害について事例をネットで調査する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全確保要件を整理する	1 時間
	講義内容	フークシ	ョップ まとめ	
15	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃から守るためになすべき事項を PPT にまとめる	2 時間
	1,2	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間
備	事前に配布す	ける関連	資料は必ず事前に熟読し、授業時の発表・討議に必要な準備作業を完了させておくこ	ک.
考	オフィスアワ・	一:月曜	日の4時限と水曜日3時限	
	メールアドレ	ス:toful	kuji #takasaki-u.ac.jp(#→@)	

	目 名		⁵ 療価征情報子専攻 シラハス {セキュリティ管理運用特論		
	文 名	Security Management in Cyber Domain			
			仁司		
	- 単位		福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
			・医療・保健福祉分野の情報は機微な個人情報であり、適切な管理が求められる。一方でオン	ライン診療	
			域包括ケアシステムにおける医療機関や福祉施設の情報共有など、サイバー空間上での情報		
講義	遠目 標	必要	となっている。本講義では、討論と課題検討を通じて情報セキュリティの基本概念を理解する	らと共に、リ	
		スク管	管理、セキュリティ対策、情報セキュリティマネジメントのモデルとプロセスを修得する 。		
到读	直目 標	1.	国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。		
刘廷		2.	情報セキュリティの管理手法に関して理解し実践できる。		
		✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	ている。	
		/	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	るための実	
	授与方針		は的能力を身につけている。		
との対	対応	1	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り	まとめて発し	
			表する能力を身につけている。		
SDC	Gs との	√	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。		
関連			3 9 11	(b)	
評価方法 講義中の討論での理解度(50%)と提出課題(50%)で評価する。			中の討論での理解度(50%)と提出課題(50%)で評価する。		
課題に対する					
フィー	・ドバック	討論と	と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。		
使用教材 関連資料を適宜配布する。		関連資	資料を適宜配布する。		
	講義	内 容	情報セキュリティとは		
1	該当する	5到達目標	▶ ™ シラバスを読み講義の流れを理解しておく。	2 時間	
	1,2		復習 講義の目的と意義を理解する。	2 時間	
	講義	内 容	情報セキュリティの専門用語		
2		5到達目標	No - Harvey (Charles)	2 時間	
	1,2		復習 情報セキュリティの専門用語を理解する。	2 時間	
	講義		情報セキュリティの概念	. = + 88	
3		5到達目標	No all of the second	2時間	
	1,2	.	復習 情報セキュリティの概念を理解する。	2 時間	
1	講義	7 容 5到達目標	セキュリティにおける脅威 * 予習 第4回目資料を読む。	2 時間	
4	1,2	ルキリ!生口信		2 時間	
	講義日	力突	「「「「「」」 「「」 「「」 「」 「」 「「」 「」 「」 「「」 「」	△□寸[目]	
5		5到達目標		2 時間	
	1,2		復習 情報セキュリティ戦略を理解する。	2 時間	
	講義	为 容	情報セキュリティ戦略(Ⅱ)		
6		5到達目標		2 時間	
	1,2		復習 情報セキュリティ戦略を理解する。	2 時間	
_	講義	内 容	情報セキュリティ対策(I)		
7	該当する	5到達目標	第 7 回目資料を読む。	2 時間	

12.1	F - 1	У ГШ ГШ Г	日報子等久 とかい	
	1,2	復習	情報セキュリティ対策を理解する。	2 時間
	講義内容	情報	セキュリティ対策(Ⅱ)	
8	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	情報セキュリティ対策を理解する。	2 時間
	講義内容	リスク	フマネジメント(I)	
9	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	リスクマネジメントに必要な情報を整理する。	2 時間
	講義内容	リスク	プマネジメント(Ⅱ)	
10	該当する到達目標	予習	第 10 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	リスクマネジメントな評価方法を整理する。	2 時間
	講義内容	耐障	書管理	<u>.</u>
11	該当する到達目標	予習	第 11 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	耐障害管理を理解する。	2 時間
	講義内容	セキュ	・ ュリティマネジメントのモデル	
12	該当する到達目標	予習	第 12 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントのモデルを理解する。	2 時間
	講義内容	セキュ	ュリティマネジメント(I)	
13	該当する到達目標	予習	第 13 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントのプロセスを理解する。	2 時間
	講義内容	セキュ	ュリティマネジメント(Ⅱ)	
14	該当する到達目標	予習	第 14 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントのフェーズを理解する。	2 時間
	講義内容	情報	セキュリティ関連法規	
15	該当する到達目標	予習	第 15 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	情報セキュリティの関連法規を理解する。	2 時間
	サイバーセキュリティプログラム科目			
備	本講義は討論と課題提出が主体となる。			
考	教員への連絡	方法は	は、初回授業時に提示する。	
	オフィスアワー	-:水曜	日4時限目	

-							
科	目 名	TRING (—) / I / O / I MINI					
英	文 名						
担	担当教員 松尾 化		仁司				
時期	・単位	医療补	副祉情報	学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位			
		医療	機関等に	おける情報セキュリティインシデント(事故)を防ぐために、ネットワーク装置・システム	ムにおける		
講義	義 目 標			理及び運用の技術的な課題と対応策を修得する。特に、ネットワーク上での情報シス			
		して、	脅威に対	すする防御法、インシデントの検出などをグループワークと課題により実践的に学修す	「る。		
到達	達 目 標	1.	国際的な	情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。			
		2. '	情報シス	テムのセキュリティ対策を設計運用できる。			
		✓	健康•医	療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	ている。		
		1		青報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	らための実		
学位	授与方針	·		力を身につけている。			
との対	対応	1		「療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りる。	まとめて発		
		·		能力を身につけている。			
		✓	健康•医	療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。			
SDC	Gs との			3 8 9 1	6		
関連	Ē						
評価	方法	講義「	中の実習	貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。			
	に対する -ドバック	グル-	ープ討論	と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。			
	/ / / / 教 材	即油油	多約を済'	<u>-</u> 宜配 布 する。			
	講義」	Little A. L. L. L. D.					
1		 3到達目標		シラバスを読み講義の流れを理解しておく。	2 時間		
1	1,2		復習	講義の目的と意義を理解する。	2 時間		
	講義	 为 容		ウエア対策	2 - 3 (-)		
2		<u>-</u> 5到達目標		第2回目資料を読む。	2 時間		
_	1,2			マルウエア対策を理解する。	2 時間		
	講義	内 容	情報	資産とセキュリティマネジメント	,11-1		
3		<u>-</u> 5到達目標		第3回目資料を読む。	2 時間		
J	1,2	-		情報資産とセキュリティマネジメントを理解する。	2 時間		
	講義	内容 オペ		/ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
4	該当する	5到達目標	予習	第4回目資料を読む。	2 時間		
-	1,2		復習	オペレーティングシステムの脆弱性対策を理解する。	2 時間		
	講義			機器のセキュリティ強化			
5	該当する	5到達目標	予習	第5回目資料を読む。	2 時間		
	1,2		復習	情報機器のセキュリティ強化を理解する。	2 時間		
	講義	内 容	セキュ	1リティ検知システム			
6	該当する	3到達目標	予習	第6回目資料を読む。	2 時間		
	1,2		復習	セキュリティ検知システムの技術を理解する。	2 時間		
	講義	内 容	ュー・	」 デ認証			
7	該当する	3到達目標	予習	第7回目資料を読む。	2 時間		
	1,2		復習	ユーザ認証の技術を理解する。	2 時間		
			1				

			HTM 1 42 2 27 171			
	講義内容	ファイアウォール				
8	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	ファイアウォールによる情報セキュリティ対策を理解する。	2 時間		
	講義内容	セキニ	ュリティログの監視と監査	·		
9	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	セキュリティログの監視と監査を理解する。	2 時間		
	講義内容	情報	セキュリティ戦略と戦術			
10	該当する到達目標	予習	第 10 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報セキュリティ戦略と戦術を理解する。	2 時間		
	講義内容	レッド	チーム演習			
11	該当する到達目標	予習	第 11 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	レッドチームによるサイバー攻撃のシミュレーションを理解する。	2 時間		
	講義内容	セキニ	・ ュリティインシデント対応	·		
12	該当する到達目標	予習	第 12 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	セキュリティインシデントへの対応を理解する。	2 時間		
	講義内容	セキニ	ュリティ管理の実践(I)			
13	該当する到達目標	予習	第 13 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ管理を実践する。	2 時間		
	講義内容	セキュリティ管理の実践(Ⅱ)				
14	該当する到達目標	予習	第 14 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ管理を実践する。	2 時間		
	講義内容	大規模システムのセキュリティ				
15	該当する到達目標	予習	第 15 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	大規模システムのセキュリティを理解する。	2 時間		
備	サイバーセキ	ユリティ	· パプログラム科目			
ヶヶ	教員への連絡	方法は	は、初回授業時に提示する。			
77	オフィスアワー	オフィスアワー:水曜日4時限目				

73.1	<u>ти о 4</u>	及区		
科	目 名	名 情報セキュリティ監査特論		
英	文 名	Auditing and Testing in Cyber Security		
担	当教員	松尾	仁司	
時期	・単位	医療补	晶祉情報学専攻修士課程 2年 前期 選択 2単位	
る。保 講義目標 が高い		る。保 が高い	ネットワーク社会の進展により保健医療福祉分野の組織では、情報セキュリティ管理が重要 と健医療福祉分野の特徴としては、組織内外で多職種の人材間の情報連携が多く発生し、人 いことが挙げられる。本講義では、組織として情報セキュリティ管理を行うために有効なマネ こよる監査と検証に関して、事例研究の課題と実習を通じて技術面・運用面での実践力を学修	材の流動性 ジメントシス
到達	目標	1.	国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。 情報システムのセキュリティテストとセキュリティ監査を実践できる。	
		1	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につい	けている。
学位抗	受与方針	1	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用す 践的能力を身につけている。	るための実
との対	讨応	1	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り 表する能力を身につけている。	まとめて発
		1	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDG 関連	Gs との		3 8 9 1	6
評価	評価 方法 講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。			
	課題に対する フィードバック		D課題を議論するため、フィードバックは毎回行われる。	
使用	使用教材 関連資料を適宜配布する。			
	講義	内 容	導入・情報セキュリティ監査	1
1		5到達目標		2 時間
	1,2		復習 講義の目的と意義を理解する。	2 時間
	講義		情報セキュリティ関連法規	. =+00
2		5到達目標	NA DESCRIPTION OF THE PROPERTY	2 時間
	1,2		復習してルウエア対策を理解する。	2 時間
	講義		情報セキュリティ関連のガイドライン	0 8±05
3		5到達目標)	2時間
	1,2		復習 情報資産とセキュリティマネジメントを理解する。	2 時間
講義			国際標準と情報セキュリティマネジメントシステム	0. 11+8 8
4		5到達目標		2時間
	1,2	.	復習 オペレーティングシステムの脆弱性対策を理解する。	2 時間
F	講義		情報セキュリティテストの概念	O n+88
5		5到達目標	No emporate mode	2時間
	1,2	力 宓	復習 情報セキュリティテストを理解する。	2 時間
C			■ 情報セキュリティテスト(I) → 予習 第6回目資料を読む。	o ±##
6		5到達目標		2 時間 2 時間
	1,2	力 宓	復習 情報セキュリティテストの脆弱性を理解する。 情報セキュリティテスト(Ⅱ)	△ 吋[日]
7				2 時間
	談当9名	S到達目標	『月 歩(凹口具代で配じ。	△ 時间

13 1	- 122 -	· · · · · · ·	14 th 1 4 th 2 1 th			
	1,2	復習	情報セキュリティの手法を理解する。	2 時間		
	講義内容	情報	セキュリティテスト(皿)			
8	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報セキュリティテストを実践する。	2 時間		
	講義内容	情報	セキュリティテスト(IV)			
9	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報セキュリティテストを実践する。	2 時間		
	講義内容	情報(セキュリティテスト(▼)			
10	該当する到達目標	予習	第 10 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報セキュリティ評価を理解する。	2 時間		
	講義内容	情報》	・ レステム <u>監査</u> のプロセス			
11	該当する到達目標	予習	第 11 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査プロセスを理解する。	2 時間		
	講義内容	情報セキュリティ監査(Ι)				
12	該当する到達目標	予習	第 12 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査を実践する。	2 時間		
	講義内容	情報	セキュリティ監査(Ⅱ)			
13	該当する到達目標	予習	第 13 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査を実践する。	2 時間		
	講義内容	情報	セキュリティ監査(Ⅲ)			
14	該当する到達目標	予習	第 14 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査対応を理解する。	2 時間		
	講義内容	情報	セキュリティマネジメントシステムの運用			
15	該当する到達目標	予習	第 15 回目資料を読む。	2 時間		
	1,2	復習	情報セキュリティマネジメントシステムの運用を理解する。	2 時間		
備	サイバーセキ	ユリティ	· プログラム科目			
滑	教員への連絡	方法は	は、初回授業時に提示する。			
75	オフィスアワー	-:水曜	日 4 時限目			
	カンコハノノ・小が作品は内域自					

東 文 名 Cyber Security Exercise 自当 表 月 松尾 仁司 時間・単位 医療福祉情報学専攻修士課程 2年 後期 選択 2単位 情報システムに対するサイバー攻撃の手法と技術は急速に高度化しており、最新の情報を継続的に習得る必要がある。本講義では、仮想的にインターネット網を構築したサイバーレンジでの実機を用いた疑似攻や脆弱性評価、インシデント発生時の対策の演習を行い、情報セキュリティマネジメントの管理と適用を実的に学修する。 引 達 日 報 1. 国際的な情報をセキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。 イ 少ターネット環境での情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。 2. インターネット環境での情報セキュリティ対策が実践できる。 イ 健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。 2. インターネット環境での情報セキュリティ対策の能力を身につけている。 との前6 ・ 健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて表す能力を身につけている。 SDGs との間違 ・ 変表・能力を身につけている。 イ 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命総と倫理観をもっている。 SDGs との間違 ・ 変表・関連を持ている。 プレープ計論と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。				に 集価性 旧 報子 等攻 シブハス	
世当教育 松尾 仁司 時期・単位 「精報ンステムに対するサイバー攻撃の手法と技術は急速に高度化しており、最新の情報を継続的に習得 る必要がある。本講義では、仮想的にインターネット網を構築したサイバーレンジでの実機を用いた疑似攻 や脆弱性評価、インシデント発生時の対策の演習を行い、情報セキュリティマネジメントの管理と運用を実 的に学修する。 1. 国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。 2. インターネット環境での情報セキュリティ対策が実践できる。 ✓ 健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。 高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための 実験が能力を身につけている。 ✓ 健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて 表する能力を身につけている。 ✓ 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。 ⑤ はたいでは、保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。 ※ 大・「精報・アクトン・「大・アクトン・「大・アクト」・「大・アクト)・「大・アクト」・「大・アクト」・「大・アクト」・「大・アクト」・アクト)・「アクト」・「大・アクト)・「大・アクト」・「大・アクト」・「大・アクト)・アクト)・アクト)・「アクト」・アクト)・「アクト)・アクト)・アクト)・アクト)・アクト)・「アク	科目	1 名	情報セキュリティ特論演習		
映列・単位 医療福祉情報学専攻修士課程 2年 後期 選択 2単位 情報システムに対するサイバー攻撃の手法と技術は急速に高度化しており、最新の情報を継続的に習得	英乙	文 名			
情報システムに対するサイバー攻撃の手法と技術は急速に高度化しており、最新の情報を継続的に習術	担当	当教員	松尾	仁司	
ぶと 日 様	時期	・単位	医療	福祉情報学専攻修士課程 2年 後期 選択 2単位	
3 注目標 2. インターネット環境での情報セキュリティ対策が実践できる。	る必要がある。本講義では、 や脆弱性評価、インシデント			要がある。本講義では、仮想的にインターネット網を構築したサイバーレンジでの実機を用いる。 弱性評価、インシデント発生時の対策の演習を行い、情報セキュリティマネジメントの管理と	た疑似攻撃
高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための 践的能力を身につけている。 健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて表する能力を身につけている。 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	1. 国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。				
接的能力を身につけている。			/	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけ	ている。
# 2			,	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用する	るための実
表する能力を身につけている。	学位授	8与方針	•	践的能力を身につけている。	
表する能力を身につけている。 / 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。 SDGs との 関連 評価 方法 講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。 課題に対する フィードバック 使用 教材 関連資料を適宜配布する。 講義 内容	との対	応		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取り	まとめて発
			✓	表する能力を身につけている。	
関連			1	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
関連 評価 方 法 講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。 課題に対する フィードバック 使用 教 材 関連資料を適宜配布する。 講義 内容 導入・情報セキュリティ演習	SDG	s との		8 9 0 1	6 0
課題に対する	関連	関 連			W W
グループ討論と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。 使用教材 関連資料を適宜配布する。 講義内容 導入・情報セキュリティ演習 1 該当する到達目標 予習 シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2時 1,2 復習 講義の目的と意義を理解する。 2時 2 該当する到達目標 予習 第2回目資料を読む。 2時 3 該当する到達目標 予習 第3回目資料を読む。 2時 4 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 2時 4 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 2時 1,2 復習 ネットワークにおける脅威 2時 4 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 2時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2時 3 第4回目資料を読む。 2時 3 第4回目資料を読む。 2時 4 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 5 2時 本ットワーク上の脅威分析を理解する。 2時 6 3年 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2時	評価	評価 方法 講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。			
講義内容 導入・情報セキュリティ演習 1 該当する到達目標 予習 シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2 時 1,2 復習 講義の目的と意義を理解する。 2 時 2 講義内容 サイバーレンジトレーニングの手法 2 該当する到達目標 予習 第2回目資料を読む。 2 時 1,2 復習 サイバーレンジトレーニングの手法を理解する。 2 時 講義内容 情報システムの脆弱性 3 該当する到達目標 予習 第3回目資料を読む。 2 時 1,2 復習 情報システムの脆弱性を理解する。 2 時 4 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 2 時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 講義内容 サイバー攻撃の種類 サイバー攻撃の種類				ープ討論と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。	
1 該当する到達目標 1,2 予習 シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2 時 2 時 3 毎 4 回目資料を読む。 2 時 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3 日 3	使用教材関連		関連資	資料を適宜配布する。	
1,2 復習 講義の目的と意義を理解する。 2 時 講義内容 サイバーレンジトレーニングの手法 1,2 復習 サイバーレンジトレーニングの手法を理解する。 2 時 講義内容 情報システムの脆弱性 3 該当する到達目標 予習 第 3 回目資料を読む。 2 時 1,2 復習 情報システムの脆弱性を理解する。 2 時 講義内容 ネットワークにおける脅威 該当する到達目標 予習 第 4 回目資料を読む。 2 時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 講義内容 サイバー攻撃の種類		講義「	内 容	導入・情報セキュリティ演習	
2 講義内容 サイバーレンジトレーニングの手法 1,2 第2回目資料を読む。 2時 講義内容 情報システムの脆弱性 3 該当する到達目標 有報システムの脆弱性を理解する。 2時 1,2 復習 情報システムの脆弱性を理解する。 2時 講義内容 ネットワークにおける脅威 4 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 2時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2時 講義内容 サイバー攻撃の種類	1	該当する	到達目標	▶ ™ シラバスを読み講義の流れを理解しておく。	2 時間
2		1,2		復習 講義の目的と意義を理解する。	2 時間
1,2 復習 サイバーレンジトレーニングの手法を理解する。 2時 講義内容 情報システムの脆弱性 1,2 第3回目資料を読む。 2時 1,2 情報システムの脆弱性を理解する。 2時 講義内容 ネットワークにおける脅威 1,2 第4回目資料を読む。 2時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2時 講義内容 サイバー攻撃の種類		講義「	内 容	サイバーレンジトレーニングの手法	
講義内容 情報システムの脆弱性 該当する到達目標 予習 第3回目資料を読む。 2時 1,2 情報システムの脆弱性を理解する。 2時 講義内容 ネットワークにおける脅威 該当する到達目標 予習 第4回目資料を読む。 2時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2時 講義内容 サイバー攻撃の種類	2	該当する	5到達目標		2 時間
3 該当する到達目標		1,2		復習 サイバーレンジトレーニングの手法を理解する。	2 時間
1,2 復習 情報システムの脆弱性を理解する。 2 時 講義内容 ネットワークにおける脅威 該当する到達目標 予習 第 4 回目資料を読む。 2 時 1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 講義内容 サイバー攻撃の種類		講義「	内 容	情報システムの脆弱性	
講義内容 ネットワークにおける脅威 4 該当する到達目標 1,2 予 習 第 4 回目資料を読む。 2 時 1,2 (複習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 3 時 4 原 2 時 2 時 3 未 2 時 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3	3	該当する	5到達目標	^予 予	2 時間
4 該当する到達目標 1,2 予 習 第 4 回目資料を読む。 2 時 1,2 (章 習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 3 時 4 回 1 資料を読む。 2 時 3 時 4 回 1 資料を読む。 (章 習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 3 時 4 回 1 資料を読む。 2 時 3 時 4 回 1 資料を読む。		1,2		復習 情報システムの脆弱性を理解する。	2 時間
1,2 復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2 時 講義内容 サイバー攻撃の種類		講義「	内 容	ネットワークにおける脅威	
講義内容 サイバー攻撃の種類	4	該当する	5到達目標	^{予習} 第4回目資料を読む。	2 時間
		1,2		復習 ネットワーク上の脅威分析を理解する。	2 時間
5 該当する到達目標 予習 第5回目資料を読む。 2 時		講義「	内 容	サイバー攻撃の種類	_
	5	該当する	5到達目標	予習 第5回目資料を読む。	2 時間
1,2 復習 サイバー攻撃の種類を理解する。 2 時		1,2		復習 サイバー攻撃の種類を理解する。	2 時間
講義内容 情報セキュリティ対策		講義「	内 容	情報セキュリティ対策	
6 該当する到達目標 予習 第 6 回目資料を読む。 2 時	6	該当する	5到達目標	予習 第6回目資料を読む。	2 時間
1,2 復習 情報セキュリティ対策を理解する。 2 時		1,2		復習 情報セキュリティ対策を理解する。	2 時間
講義内容 システムの復旧	7	講義「	内 容	システムの復旧	
* 該当する到達目標 予習 第7回目資料を読む。 2 時		該当する	5到達目標	予習 第7回目資料を読む。	2 時間

	1,2	復習	システムの復旧を理解する。	2 時間
	講義内容	大規模	莫システムのセキュリティマネジメント	
8	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	大規模システムのセキュリティマネジメントを理解する。	2 時間
	講義内容	サイバ	バーレンジトレーニング(I)	·
9	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策のシミュレーションを企画する。	2 時間
	講義内容	サイル	ヾーレンジトレーニング(Ⅱ)	
10	該当する到達目標	予習	第 10 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2 時間
	講義内容	サイノ	ヾーレンジトレーニング(Ⅲ)	
11	該当する到達目標	予習	第 11 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2 時間
	講義内容	サイル	ヾーレンジトレーニング(Ⅳ)	
12	該当する到達目標	予習	第 12 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2 時間
	講義内容	サイノ	ヾーレンジトレーニング(♥)	
13	該当する到達目標	予習	第 13 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2 時間
	講義内容	セキニ	ュリティマネジメントの戦略と戦術	
14	該当する到達目標	予習	第 14 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントの戦略と戦術を理解する。	2 時間
	講義内容	クリテ	イカルなビジネスの情報セキュリティ	
15	該当する到達目標	予習	第 15 回目資料を読む。	2 時間
	1,2	復習	クリティカルなビジネスの情報セキュリティを理解する。	2 時間
	サイバーセキュリティプログラム科目			
備	本講義はグループ討論と演習課題提出が主体となる。			
考	教員への連絡	方法は	は、初回授業時に提示する。	
	オフィスアワー	-:水曜	日4時限目	

令和5年度 医療福祉情報学専攻 シラバス

科目名	_	福祉情報学特別研究			
英 文 名	Healthcare Informatics Research				
担当教員	東福寺幾夫、松尾仁司、石川雅弘、小澤瀞司、木村憲洋				
時期·単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1・2 年 通年 必修 8 単位				
	情報技術の実社会への適用という観点から医療福祉情報学に関する研究テーマを選定し、研究計画の策				
講義目標	定、到	実施、修士論文作成のすべての過程において、指導教員が助言・指導を行う。特にこの分野は工学(情			
	報)と	保健衛生学との学際領域であることから、幅広い視野に立った研究指導を行う。			
到達目標	研究計画の策定、実施、修士論文の作成、プレゼンテーションの過程を通して、医療福祉情報分野における				
到在日标	研究	能力と情報技術を実社会に適用できる力を身に付ける。			
	1	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につけている。			
	/	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実			
学位授与方針		践的能力を身につけている。			
との対応	1	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発			
		表する能力を身につけている。			
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDGs との	3				
関連					
評価方法	修士論文の審査結果にて評価に代える。				
課題に対する フィードバック	全て討議の中でフィードバックをかける。				
使用教材	特になし。				
	第1~4回 テーマ・課題設定に関する討議				
	第5~6回 研究計画の策定・発表				
	第7~15回 研究実施内容の方向付け(討議を含む)				
	第 16~18 回 中間発表内容についての討議				
講義内容		9~20 回 専攻内中間発表			
		L~24回 修士論文の纏め方についての討論			
		5~28 回 修士論文作成指導			
	第 29~30 回 修士論文専攻内最終発表会				
	予習	特に指定しない			
	復習	特に指定しない			
/# #	-	国の少子高齢化に伴う医療福祉分野の様々な課題への情報技術の活用方法について学習を深めてお			
備考	く。 数昌.	への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。			
	 汉貝	、 、			

科	目 名	質的/	量的研	究総論				
	文 名	Qualitative research and Quantitative research						
	当教員	安達 正嗣、上原 徹						
	→・単位			-/^^ 1N 				
可别	1・年 位				たい 気が皿			
			-					
藩 盖	も 目標	究は、比較的に数の少ないデータについて「何故、どうして」という意味内容を把握するために行われる。内 容分析、グラウンデッドセオリー、エスノグラフィーなどの方法で記述データを扱うことが多い。量的研究は、						
PF 72	к <u>ш</u> 1ж			-タを標準化された測定法や尺度で数量化し、定式化された統計手法で仮説を科学				
			•	。学生が、研究の基礎になる二つの方法論について十分に理解すること、以上を目				
				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	111111111111111111111111111111111111111			
				インの重要性を認識できる				
到達	生目 標	3. 研	究手法の	の種類と解析方法を解説できる				
		4. 自	身の研	究方法について、適応を検討できる				
		5. 実	現可能	な研究方法を一人で計画できる				
		1	保健福祉	祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。				
		;	精神保備	健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけてし	い る。			
学位控	受与方針	3	対人援助	助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけてい	5 .			
との対	讨応	1	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を					
		身につけている。						
		1	保健福祉	祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
	Gs との	0		0	16			
関連		****	の出曲		の参加能由			
評価	方法	講義への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 20%等を総合して判断する。						
課題に	こ対する							
フィー	・ドバック	レポー	トにつし	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする) ₀			
使用	割 教 材	第1回	Φ Π±1−					
	講義に		の時に	学生と相談の上、研究テーマに応じて決める				
1	-			学生と相談の上、研究テーマに応じて決める 研究の基礎(質的 1)				
1	該当する				1時間			
1	該当する 1,2,3	3 到達目標	調査研	研究の基礎(質的 1)	1時間			
1		5到達目標 ,4,5	調査の 予習 復習	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む				
2	1,2,3	5到達目標 ,4,5	調査の 予習 復習	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる				
	1,2,3	5到達目標 ,4,5 内 容	調査研 予習 復習 調査研	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2)	1時間			
	1,2,3 講義 議議 議当する	5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5	調査の 予習 復習 調査の 予習 復習	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間			
	1,2,3 講義 『 該当する 1,2,3 講義 『	5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5	調査の 予習 復習 調査の 予習 復習	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間 1 時間 1 時間 1 時間			
2	1,2,3 講義 『 該当する 1,2,3 講義 『	5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5 內 容	調査 7	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間 1 時間 1 時間			
2	1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F 該当する	5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5 內容	調習 復調 予復 仮 予復 仮 予復 仮 予復 仮 説 を	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間 1 時間 1 時間 1 時間 1 時間			
2	1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F	5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5	調予 復調予 復 仮予 復 仮予 復 仮予 で 仮 予 で の で で で で で で で で で で で で で で で で で	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間 1時間 1時間 1時間 1時間			
3	1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F	5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5 內 容 5到達目標 ,4,5 內 容	調予 復調予 復 仮 予 復 仮 予 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア の ア 復 で ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる に実証(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間 1 時間 1 時間 1 時間 1 時間			
3	1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F	5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5	調予復調予復仮予復仮予復研予復調予復行予復行予復行予復行。	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる だずインの基礎(質的 1)	1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間			
3	1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F 該当する 1,2,3 講義 F	5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5 內容 5到達目標 ,4,5	調予 復調予 復 仮 予 復 仮 予 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア 復 で ア の ア 復 で ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア の ア	研究の基礎(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の基礎(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 1) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる と実証(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる に実証(質的 2) あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間 1時間 1時間 1時間 1時間			

lı u	講義内容		子等以 シラハス デザインの基礎(質的 2)			
C				1 吐用		
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間		
_	講義内容		ーキュルドはなった。	4 0+88		
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容		研究概説①	+-		
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	質的研	研究概説②			
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	質的研	研究概説③	1		
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間		
	講義内容	質的研	研究例と方法論①	<u> </u>		
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	質的研	研究例と方法論②			
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	質的研究例と方法論③				
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	研究詞	倫文のまとめ方(質 的 1)			
14	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	研究語	倫文のまとめ方 (質的 2)			
15	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	調査研	研究の基礎(量的1)			
16	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	仮説と	· 上実証(量的 1)	•		
17	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	研究		•		
18	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義内容	研究係	ー 倫理審査について(医学系)	•		
19	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
20	講義内容	量的研				

令和5年度 保健福祉学専攻 シラバス

	和 5 年度 保優	冨祉学専攻 シラバス					
	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5	講義内容に関連する情報や	知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	量的研究概説②					
21	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	9資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5	講義内容に関連する情報や	知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	量的研究概説③					
22	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	9資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5	[習 講義内容に関連する情報や	知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	量的研究と方法論①					
23	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5	□ 講義内容に関連する情報や	知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	量的研究と方法論②					
24	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や)資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5	□ 講義内容に関連する情報や	知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	量的研究と方法論③					
25	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	9資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5	□ 講義内容に関連する情報や	知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	統計処理の基本					
26	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	9資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5		知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	統計ソフトの使い方					
27	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5		知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	研究論文のまとめ方(量的 1)					
28	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5		知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	研究論文のまとめ方(量的2)					
29	該当する到達目標	・習 あらかじめ指定した参考書や	資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4,5		知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	8合討論、まとめ					
30	該当する到達目標	・習 これまでの講義内容を俯瞰し	、, 討論のレポートをまとめる	1 時間			
	1,2,3,4,5	₹ 討論した事項をまとめ、研究	にかかわる課題を考察する	1 時間			
	講義前には、	当に該当する教科書の内容を読ん	でおくこと。講義の後に「関連文献」や「関連書籍」を	伝えるので、			
備	それを読み関	こ必要な時間との差異は、各自で補完すること。なる	お、質的研究				
考	を安達(前期)	量的研究(後期)を上原が主に担当	する予定。				
-	オフィスアワー	上原): 前後期ともに、月曜 5 限、金	:曜 5 限とする。				
	オフィスアワー	安達): 前後期ともに、火曜 5 限とフ	〈曜3限とする。				

	目 名			字 ^{字以、フラハス} 究方法論			
英	文 名	Research Methods of Social Welfare					
担	当教員	安達	正嗣				
時期	・単位	保健社	副业学専	攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位			
講義目標		社会福祉学ならびにその関連の学問分野(老年学、社会学など)における参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自で社会福祉研究法を理解し身につけることが目標である。 講義全体を通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書の各章(担当者の指定する教科書の場合もある)・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受講生と質疑応					
到達目標		1. ネ 2. ネ 3. ネ 4. 麦	2. 社会福祉研究のデザインの重要性を認識できる。 3. 社会福祉研究の手法の種類と分析方法を解説できる。 4. 受講生自身の研究方法について、社会福祉研究の方法を適用できる。				
学位対	受与方針	✓ ✓ ✓	精神保健 対人援助 保健福祉 身に着い	止学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。 健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけてい 助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている 此における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発動 けている。 此分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	5 .		
SDC 関連	is ≥0	0		3 4 5 8 9 0 1 12	(1)		
評価	ī 方 法			予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、プレゼンテーシ 容 20%等を総合して判断する。	ョンやディス		
	こ対する ドバック	レポー	トについ	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする	0		
使用	教 材	第1[回の時に	学生と相談の上、研究テーマに応じて決める			
	講義「	内容	オリエ	ンテーション			
1	該当する	る到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間		
	講義「			か一分野としての社会福祉研究	1 85		
2		る到達目標 。	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間		
	1,2,3	•	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
0	講義「			D視点と研究の視点 ・キらもじめた空にも会えまり姿料の部分をきまり	1 D±88		
3	1,2,3	る到達目標 - 1	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間 1 時間		
	1,2,3 講義 [<u> </u>		神我内谷に関連する情報で知識を日土的に調べる。 Dレビューの方法と作成	▼ 1 円4月		
4		79 谷 5到達目標	予習	プレビューの万法とTF成 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
4	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間		
	講義「	•			工 [4]		
5		77 在 6到達目標	予習	プログログログ からかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
		A H IA	, ,	いしゃ しゃいログこう プロ・タイプ・ログリング	표 뉴스타다		

ᄁᄼ	111の十段 不同	建価位子 専攻 シブバス					
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究課題の設定とその手順					
6	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	仮説の構築と検証の手続き					
7	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究の資料と分析					
8	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	量的調査データの分析					
9	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	面接調査による質的研究	<u> </u>				
10	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	ミクロレベルの評価分析					
11	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	メゾレベルの評価分析	-				
12	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	研究計画の作成					
13	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	問題を政策に結びつける調査研究					
14	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合討論、まとめ					
15	該当する到達目標	^{予習} これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	3 時間				
	1,2,3,4,5	復習 討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	3 時間				
烘	最終的に単位	立修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。	•				
備	オフィスアワ-	ーは、前後期共に、火曜日5限・6限である。					
考	教員への連絡	各方法は、初回授業時に提示する。					

T) /	LH O T			子等攻・ンプハス	1		
科	目 名	保健福祉調査特論					
英	文 名	Basic Research Methods in Health and Welfare Sciences					
担	当教員	安達	正嗣				
時期	・単位	保健	福祉学専	攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位			
講義目標		保健福祉学の学問分野、とりわけ社会福祉学の実証研究における参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自が保健福祉学の研究法を理解し身につけることができるようにすることが、目標である。 講義全体を通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書の各章(担当者の指定する教科書の場合もある)・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。					
到達目標		2. † 3. † 4. §	2. 社会福祉研究のデザインの重要性を認識できる。 3. 社会福祉研究の手法の種類と分析方法を解説できる。 4. 受講生自身の研究方法について、社会福祉研究の方法を適用できる。				
学位授与方針との対応		✓ ✓	✓ 精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を				
SDC 関連	is との	0		3 4 5 8 9 0 1 1	1		
評価	ī 方 法			予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーシ 1容 30%を総合して判断する。	ノヨンやディス		
	こ対する ドバック	レポー	ートにつし	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする) _o		
使用	教 材	第1	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める				
	講義「	内容	オリエ	ニンテーション			
1	該当する	る到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間		
	1,2,3	,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義「	内 容	調査対	対象と調査主体の明確化			
2	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3	,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義「	内 容	調査	目的の設定と社会貢献の意味			
3	該当する	5到達目標	. 予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間		
	1,2,3	,4	復 習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義「	内容	調査の	の企画と調査回数(横断調査と縦断調査)	•		
4	該当する	る到達目標 の対達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		
	1,2,3	,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間		
	講義「	内 容	サンフ	」 プリング(標本抽出)の方法と対象者の協力	<u> </u>		
5	該当する	る 到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間		

	TO 十尺 MI	建価位子等以 シブハス	
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	質問紙調査と測定方法	
6	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	事前調査の意義	-
7	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	配布・回収と自記式・他記式	-
8	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	量的分析方法(記述統計・仮説検証・統計的手法)	
9	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	質的調査の方法(面接・観察・記録)	•
10	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	質的データの分析の手法	-
11	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	調査倫理と個人情報	-
12	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	国際比較調査の課題	-
13	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	社会福祉調査の困難さと長所	
14	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	総合討論、まとめ	
15	該当する到達目標	🎅 これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	3 時間
	1,2,3,4,5	復習 討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	3 時間
/#-	最終的に単位	対修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。	•
備	オフィスアワ-	ーは、前後期共に、火曜日5限・6限である。	
考	教員への連絡	各方法は、初回授業時に提示する。	
	•		

科	目 名	精神神	経医学	学特論				
英 :	文 名	Neuro	psych	iatry research				
担:	当教員	上原 征	 散	•				
時期	・単位	保健福	祉学専3	攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位				
		精神疾	患や心	理的問題にかかわる行動医学分野が精神神経医学である。精神障害にり患している	る人々は、			
		5 人に	一人とも	いわれる。うまれてから老年に至るまで、幅広いライフステージにわたり、個人の認	知、情動、			
		社会的	機能に	重大な影響を与える。当事者のみならず、家族や周囲の人々、社会にも大きな苦!	凶をもたら			
		す。学生	生が、精	神障害や心理的問題の知識を学び、支援に関わる専門家としての基本を獲得でき	る。また、			
		関連す	るヘル	スケア多職種との協働に向け、機能的に働けるようになることを目標とする。				
		Psychi	atry is	a medical specialty involving the diagnosis, treatment and prevention o	f mental,			
		emotio	nal and	d behavioural disorders. One in five people will experience a mental illness at so	ome stage			
講義	目標	in their	r lives.	A mental illness or disorder is a diagnosable illness that significantly interfere	s with an			
		individ	lual's co	ognitive, emotional or social abilities. Mental illness can have a devastating effe	ect on the			
		lives of	an ind	ividual's and their families and in some cases, may even be life threatening. The	nis course			
		aims t	hat stu	dents should learn fundamental issues to become a specialist in collaboration	with the			
		_		atment and prevention of mental illness and emotional problems. And purp				
				t students can work closely with a variety of other healthcare professionals				
		hospital staffs, community psychiatric nurses, psychiatric or medical social workers, psychologists or						
		psychotherapists, teachers and occupational therapists.						
				の基本的概念を説明できる				
		2. ケアを受ける人の心理や行動を理解できる						
到達	目標			的支援の知識と技術が説明できる				
		4. 他分野と機能的に連携する視点を持てる						
				研究の主な知見を説明できる				
				止学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。				
24/44	∞ - - - -			建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている 助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	0			
子位的	受与方針				ナス46十大			
∠07×;	نابان			此における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表す けている。	の肥力で			
)といる。 止分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
enc.	s との	1	不胜曲的	正力到の寺 J帆としての使叩念と開連就でもり。				
関連		0			16			
12/ 22		講義へ	の出度	3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への)参加能度			
評価	方法			ッションの内容 20%、等を総合して判断する。	少加心又			
課題は	こ対する							
	ドバック	レポートについては、事前に課題内容を		いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。				
使 用	教 材	★ 材 三恵社 保健医療福祉関連専門職を目指す人のための精神医療・精神医学 (上原徹)						
	講義「	内 容	精神补	神経医学とは				
1	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義「	内 容	こころ	や脳の構造と防衛機制				
2	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			

77 1			とは、グラハス					
	講義内容	精神症	E状と行動心理評価	,				
3	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	診断学	と疾病学					
4	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	器質性	まと症状性、薬物使用障害					
5	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	統合失	- 調症					
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	双極性	障害					
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	うつ病	性障害					
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義内容	認知症						
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	児童青年期疾患						
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	摂食障	害	,				
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	人格や	b性格理論	•				
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	神経症	EŁ PTSD					
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	睡眠障	き書ほか	1				
14	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合計	対論、レポート発表	1				
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間				
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間				
	配布した資料	を基に、	復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、疑問や課題となるテーマを	毎回持参すること。				
備	予習•復習時	間は、総	:合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。	·				
考	オフィスアワ-	一:前後	期ともに月曜5限、金曜5限とする。連絡先については授業で提示する。					
	 研究室:1 号							

111	H O H	- I文 I7 	NET田仙	子等以「フバス						
科	目 名	家族	社会学	特論						
英	文 名	Rese	Research of Family Sociology							
担:	当教員	安達	正嗣							
時期	・単位	保健	福祉学専	攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位						
		家抗	矢社会学 (こおける参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習	することを通					
		じて、	受講生名	各自で保健福祉学分野において必要とされる家族社会学の基礎力と応用力を身に	つけることが					
=# *		目標	目標である。							
舑 我	目標	講	養全体を込	通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図	書の各章(担					
		当者	の指定す	る教科書の場合もある)・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受調	講生と質疑応					
		答讀	鯖をする	,),						
		1.	家族社会	学研究の方法論の基本事項を説明できる。						
		2.	家族社会	学研究のデザインの重要性を認識できる。						
到 達	目標	3.	家族社会	学研究の手法の種類と分析方法を解説できる。						
		4.	受講生自	身の研究方法について、家族社会学研究の方法を適用できる。						
		5.		学における実現可能な研究方法を一人で計画できる。						
		✓	保健福	祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。						
		1		健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけてし						
学位抗	受与方針		対人援	助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている	5.					
との対	応	1		祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発 	表する能力を					
				ナている。						
			保健福	祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG 関連	ls との	0		3 4 5 8 9 0 1 12	6					
評価	i方法			予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーシ	/ョンやディス					
		カッシ	タンの内	容 30%を総合して判断する。						
	こ対する	レポ-	ートについ	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする) _o					
	ドバック		第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める							
使用	教材									
4	講義「			ニンテーション	1 0+88					
1		る到達目標		あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2,3	, ,	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 研究の発端	1 時間					
0	講義「				1 吐即					
2		る到達目標 · 1	予習 復習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間 1 時間					
	1,2,3		_	神我内容に対理9 の目報で知識で日土的に調べる 分析の基礎	1 时间					
3		M 4 る到達目標		がいり 参続 あらかじめ 指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
J	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間					
	講義「			時我が行う因とする情報で知識と日上はであってる。 - 上地域生活	1 由礼間					
4		ハ 4 る到達目標		- 10-3 王 /	1 時間					
-1	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間					
	講義「		-	変動・近代家族	THAILEI					
5		・・・ る到達目標		あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	L ```		1	TO THE OWNER OF THE AMERICAN CHILD	+ 4.01H1					

TJ 1	111の十段 不同	建価位子 学攻 ンプハス					
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	結婚の定義・結婚行動					
6	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	夫婦関係					
7	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	生殖行動					
8	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	子育てと子どもの社会化					
9	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	階層と職業					
10	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	家族危機・家族と個人					
11	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	離婚·再婚					
12	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	世代間関係					
13	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	家族問題と家族政策					
14	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合討論、まとめ					
15	該当する到達目標	予習 これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	3 時間				
	1,2,3,4,5	復習 討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	3 時間				
烘	最終的に単位	ⅳ修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。					
備	オフィスアワ-	ーは、前後期共に、火曜日5限・6限である。					
考	教員への連絡	各方法は、初回授業時に提示する。					
	-						

	,			子専攻・ンフハス				
科	目 名	子育て支援特論Ⅰ						
英	文 名	Child	l Care	Support (Mastered I)				
担	当教員	千葉	千恵美					
時期	・単位	保健福	祉学専	攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位				
講義	遠目 標	や技術	を修得し	育問題である子育て状況に着目し、家族環境の変化並びに親子関係等、子育てに し、育児不安や育児ストレス等育児困難な状況にある養育者を対象とした支援方法 !問題の解決を目指す。				
到達	崔目標	2. 養 3. 新	育者の記 子関係を	生活や子育て環境を把握し、具体的な支援方法を考える事が出来る。 置かれた家族背景や家族環境から養育者の生育歴や状況を理解し検討する事が出 を支援し、児童虐待防止に向けた支援方法を考える事が出来る 隽・協働に向けた支援方法を実践する事が出来る	法る。			
		1	保健福祉	业学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。				
		1	精神保健	建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている	5 。			
学位	授与方針	1	対人援助	助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている	0			
との対	対応			业における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表 ナている。	する能	力を		
		✓	保健福祉	业分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
SDG 関連	∃s との ≣	3 5 8 0 1						
評価	方法	課題提出レポート 20%、定期レポート試験を 80%とする。						
フィー	に対する -ドバック -ド 教 材	1. 千 2. 千	葉千恵	ドートに対するコメントをする。また定期レポート課題についてフィードバックする。 美著「子育て支援の実践」現代図書 2020 美著「乳幼児のため保育と親支援」久美出版社 2006 H・マクダニエル著「メディカルファミリーセラピー」金剛出版 2016				
	講義「	内 容	オリエ					
1	該当する	3到達目標	予習	事前の配布資料を読み、子育て支援の現状と課題について予備知識を入れる	1.5	時間		
	1,2		復習	講義資料を読み返し、子育て支援の現状と課題について講義内容を振り返る	1.5	時間		
	講義「	内 容	子ども	・・家庭福祉に必要な子育て支援の生活実態と取り巻く社会情勢について	1			
2	該当する	3到達目標	予習	書籍 1.p1-p9 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5	時間		
	1,2,3		復習	書籍、配布資料を読み返し子育て支援の社会情勢について講義内容を振り返る	1.5	時間		
	講義内容 家庭や家族の役割や機能について		家庭や	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				
3	該当する	3到達目標	予習	配布資料、書籍 2. p1-p5 を事前に読み家庭や家族について予備知識を入れる	1.5	時間		
	1,2,3		復習	書籍、配布資料を読み返し、家庭や家族への講義内容を振り返る	1.5	時間		
	講義「	内 容	家族0	D歴史について-原家族の理解とジェノグラム作成-	1			
4	該当する	3到達目標	予習	事前に配布資料を読み、家族やジェノグラム、原家族の予備知識を入れる	1.5	時間		
	1,2,3		復習	配布資料を読み返し、家族の歴史について講義内容の理解を深める	1.5	時間		
	講義「	内 容	乳幼児		•			
5	該当する	5到達目標	予習	書籍 1.第 2 章 p10-p24 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5	時間		
	1,2,3		復習	書籍や配布資料を読み返し、乳幼児時期の子育て支援の講義内容を振り返る	1.5	時間		
	講義「	内 容	家族	関係と家族問題について				
6	該当する	5到達目標	予習	書籍 1.第 2 章 p25-p32 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5	時間		

	115年度 保饭	建备祉"	字専攻 シフハス				
	1,2,3,4	復習	書籍や配布資料を読み返し、家族関係や家族問題について内容の理解を深める	1.5 時間			
	講義内容	事例	会討 1-子どもが見せた遊びと家族関係のつながり-				
7	該当する到達目標	予習	書籍 1.第 4 章 p106-p111 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間			
	1,2,3	復習	書籍や配布資料を読み返し、子どもが見せた家族関係と遊びについて振り返る	1.5 時間			
	講義内容	事例	検討2-国際結婚児の子育て支援について-				
8	該当する到達目標	予習	書籍 1.第 2 章 p33-p52 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間			
	1,2,3	復習	書籍や配布資料を読み返し、国際結婚児の子育て支援の内容の理解を深める	1.5 時間			
	講義内容	事例	検討 3−地域子育て支援センターの活動について−				
	該当する到達目標	予習	書籍 1. 第 2 章 p53-p69 を事前に読み、活動内容について予備知識を入れる	1.5 時間			
9	1,2,3,4	復習	書籍や配布した資料を読み返し、地域子育て支援センターの活動内容を振り返る	1.5 時間			
	講義内容	事例	検討 4-児童虐待死亡児童と親子の関係について-				
10	該当する到達目標	予習	配布した資料を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間			
	1,2,3	復習	配布した資料を読み返し、児童虐待死亡児童とその親理解への理解を深める	1.5 時間			
	講義内容	事例	検討 5-特別支援が必要な子どもの子育て支援について-				
11	該当する到達目標	予習	書籍 2.第 7 章 p69-p71 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間			
	1,2,3,4	復習	書籍や配布資料を読み返し、特別な支援が必要な子育て支援の理解を深める	1.5 時間			
	講義内容	ま内容 家族の病気と子育て支援					
12	該当する到達目標	予習	書籍 3.第 11 章 p263-p290 を事前に読み、予備知識として講義内容を入れる	1.5 時間			
	1,2,3	復習	書籍や配布資料を読み返し、家族の病気と子育て支援について理解を深める	1.5 時間			
	講義内容	医療•	教育・福祉に関連した子育て支援について				
13	該当する到達目標	予習	書籍 3.第 10 章 p239-p261 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間			
	1,2,3,4	復習	配布資料や書籍を読み返し、医療・教育・福祉の関連性について内容を振り返る	1.5 時間			
	講義内容	子育で	て支援の動向と施策と役割について				
14	該当する到達目標	予習	配布した資料を事前に読み、子育て支援の動向や役割について内容にふれる	1.5 時間			
	1,2,3	復習	配布資料を読み返し、子育て支援の動向や課題等今後の流れを理解し深める	1.5 時間			
	講義内容	まとめ) これからの子ども家庭福祉に関する子育て支援施策や課題について				
15	該当する到達目標	予習	いままでの書籍や配布資料を読み、今後の子育て支援についての動向を調べる	1.5 時間			
	1,2,3,4	復習	書籍や配布資料を読み返し、これから必要な子育て支援について理解を深める	1.5 時間			
	Key Word:子	ども家	庭福祉、子育て支援、家族の役割、支援方法				
	授業の進め方	7:授業[内容ではテーマを決め講義を行い、その後参加した学生から感想や意見を出し合うぐ	ブループワ			
備	一クを用いる。	o					
考	オンラインで	実施す	る場合は、オンデマンド型授業とする。資料の配布や課題の提出には C-Learni	ngを用い			
	る。						
	1 _						

オフィスアワー:火曜日 4·5 限目 8号館 4F chiba#takasaki-u.ac.jp(#→@)

<u></u>	H O H		连1曲1亚-	子専攻 ンフハス					
科	目 名	子育て支援特論Ⅱ							
英:	文 名	Child	Child Care Support (Mastered II)						
担:	当教員	千葉 -	千葉 千恵美						
時期	・単位	保健福	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位						
講義	目標	親子関 や精神	係につ 疾患を	証の観点から、子育て支援の理論と技法を習得する。保育・教育現場で応用できるいてアセスメントできる力量を獲得する。また複雑な家庭背景や家族関係や生活現 抱える親子、外国籍の親子を含むハイリスクにある家庭や家族にむけた子育て支 療機関を含む他機関連携の必要性や支援を総合的に学び、実践力を養う。	環境、生育歴				
到達	目標	2. 精 3. 事 4. 面	神疾患的	抱える問題や背景を解析し、問題解決に向けた支援をすることができる。 の養育者と子どもの発達課題を含めた両方にむけた介入し支援することができる。 を行い、問題解決に向けた支援方法を考えることができる。 や支援方法のプロセスを検討し、海外で行われている支援方法を取り入れ対応でき 象、福祉の観点から地域の他機関や社会資源と連携を支援することができる。	<i>:</i> る。				
		1	保健福祉	业学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。					
		√ ⅓	情神保健	建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけてい	5 .				
学位控	受与方針	√ 5	対人援助	助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている	0				
との対	协応		保健福祉	业における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表	する能力を				
		اِ	身につけている。						
		√ 1	保健福祉	业分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。 					
SDG 関連	ls との	0	•	3 4 5 8 0 1	1				
評価	方法	授業終	授業終了後毎回レポートを提出 20% 最終レポート 80%とする。						
	こ対する ドバック	授業終	了後レオ	ポートの内容についてコメントを行う。また最終レポート課題についてフォードバック	を行う。				
使用	引教 材	2. 日	本家族	美著「乳幼児のための保育と親への支援」久美 出版 2006 研究・家族療法学会編「臨床家のための家族療法リソースブック」金剛出版社 2003 ・H・マクダニエル著「メディカルファミリーセラピー」金剛出版社 2016	3				
	講義			111・マンダーエル(者) グティカルファミサー ピフピー] 並剛(山瓜紅 2010 ニンテーション					
1		77 在 	予習	- ファーフョン 子育て支援に関連する研究論文を検索し事前に熟読しておく	1.5 時間				
1	1,2		復習	子育て支援関連の論文から得られた内容を整理する	1.5 時間				
	講義	 内 容		と家族に関する養育状況ー国際比較調査報告の検討ー	1.0 1.1[1]				
2		 る到達目標	予習	書籍 4.pp.5-28 を事前に熟読しておく	1.5 時間				
	1,2		復習	子育てに関する国際比較調査から得られた内容を整理する	1.5 時間				
	講義			下安や育児ストレスの高い養育者と児童虐待の関連性について					
3	該当する	5到達目標	予習	書籍 1.pp.61-68 を事前に熟読しておく	1.5 時間				
	1,2,3		復習	育児不安の高い養育者について要因について整理する、	1.5 時間				
	講義	内容	Playi	ng by the Rules: Integrated Care's Impact on Quality of ADHD Management	,				
4	該当する	る到達目標	予習	配布した Integrated Care's Impact on Quality of ADHD 資料を読んでおく	1.5 時間				
	2,3,4	:	復習	海外の ADHD に関する資料から得られた支援方法を整理する	1.5 時間				
	講義	内容	面接力	方法の理解と実践ーインタビュー 分析、カテゴライズから見えてきた課題ー					
5	該当する	る到達目標	予習	書籍 2.pp.122-123 を事前に読んでおく	1.5 時間				
	4,5		復習	困難な状況下にいる養育者を理解し、面接に必要な理解と支援を整理する	1.5 時間				

令和5年度 保健福祉学専攻 シラバス

ΠĄ	□ 0 千皮 体質価値するタングへ							
C	講義内容		て支援の基礎理解について一複雑な家族関係にむけた支援方法 「書籍 8 mm 11 4 115 ち 喜歌に話くでおく	1 F N±88				
6	該当する到達目標	予習	書籍 2.pp.114・115 を事前に読んでおく	1.5 時間				
	2,3,4	復習	複雑な家族関係から生じる課題や問題点を明らかにし支援方法の整理する	1.5 時間				
	講義内容		て支援で必要な家族支援方法について一危機的介入について一					
7	該当する到達目標	予習	書籍 2.pp.132-133 を事前に熟読する	1.5 時間				
	1,2,3,4	復習	危機的介入の支援方法について整理する	1.5 時間				
	講義内容	子育	て支援で生じる問題解決にむけた具体的な介入方法について					
8	該当する到達目標	予習	書籍 2.pp.134-135 を事前に読んでおく	1.5 時間				
	1,2,3	復習	子育て支援の関わりで必要な具体的介入方法を整理する	1.5 時間				
	講義内容	親子	関係性について 一児童虐待に向けた支援と早期発見の手がかり一					
9	該当する到達目標	予習	書籍 2.pp.81-82 読んでおく	1.5 時間				
	1,2,3,4	復習	児童虐待の早期発見の手がかりに必要な具体的な事項を整理する	1.5 時間				
	講義内容	他機	関連携の必要性と役割ー医療機関、児童相談所、保健センター、警察との連携ー					
10	該当する到達目標	予習	書籍 1.pp.36-37 を読んでおく	1.5 時間				
	1,2,5	復習	他機関連携によって問題解決した介入方法を整理する	1.5 時間				
	講義内容	事例	事例検討のよる対応から児童虐待によって死亡した親子の関係性					
11	該当する到達目標	予習	事前に配布している児童虐待死亡事例について熟読しでおく	1.5 時間				
	1,2,3,4,5	復習	児童虐待によって死亡した原因や親子関係の背景、状況、解決方法を整理する	1.5 時間				
	講義内容	事例	検討による対応から児童虐待の予防施策と具体的な介入方法について					
12	該当する到達目標	予習	書籍 1.pp.31-35,48-60 事前に調査する	1.5 時間				
	1,2,3,4	復習	児童虐待防止と具体的な対応について整理をする	1.5 時間				
	講義内容	親子						
13	該当する到達目標	予習	里親制度や養子縁組に関する施策を事前に調査する	1.5 時間				
	1,2,3,5	復習	地域にある社会資源や里親制度など新たな親子に関する支援方法を整理する	1.5 時間				
	講義内容	医療•	保育・教育現場に求められる子育て支援					
14	該当する到達目標	予習	書籍 1.pp.6-23,書籍 2.p.7,pp.134-135 書籍 3.pp.115-132 を読んでおく	1.5 時間				
	1,2,3,4,5	復習	保育・教育現場に求められる子育て支援の実情を整理する	1.5 時間				
	講義内容	まとめ						
15	該当する到達目標	予習	医療・教育・福祉の関連性から子育て支援の必要性を調査する	1.5 時間				
	1,2,3,4,5	復習	医療・教育・福祉の関連領域から子育て支援を振り返る	1.5 時間				
		別不多	。 R、子育て支援の実践、児童虐待の早期発見と対応、ハイリスクの家庭と家族					
			て支援に必要な資料、教科書、視覚教材を用い、グループワークを行い問題解決に	向けた事項				
備	を研究し整理							
考	オンラインで	実施す	る場合は、オンデマンド型授業とする。資料の配布や課題の提出には C-Learn	ningを用い				
	る。			_				

オフィスアワー:火曜 4⋅5 限目 8号館4階 chiba#takasaki-u.ac.jp(#→@)

	目名		また。 コミュニティメンタルケア特論						
英 2	文 名	Com	Community mental care						
担当	当教員	池田 朋広							
時期	・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位							
		•近年	Fメンタルケアは、保健医療機関が提供するものばかりではなくなり、リカバリー概念の普及の	上共に、国民					
		全員を	を対象としたものに変化してきており、教育、産業、司法等様々な領域へと拡がりをみせて	きている。こ					
		れまで	れまで紹介されている多くの支援ツールやプログラムは、心の不調をきたした者にとって、自身のメンタルケ						
謙美	目標	アのフ	アの方法や、よりよく生きていくための大切な学びを与えてくれるものとなってきている。また、支援の現場に						
25 th	, щ ₁ ж	とって	ては、薬物療法のみに偏らない、様々な介入法を提示してくれ、支援の可能性を大きく拡げて	てくれるもの					
		となっ	っている。こうした、コミュニティベイスドの支援について学びを深めたい。						
			8テーマを遂行し成果につなげるために必要な研究や実践例をとりあげ、指導教員ならびに	他の受講生					
		と質疑	疑応答・議論をする。 						
		6. =	コミュニティベイスドの支援技法を知る。						
到達	目標		日本の精神保健福祉の現状を、海外との比較から考察する。						
			新たな取り組みをしている現場を見る。						
		9. E	自身の立場でできるコミュニティメンタルケアを考える。						
		✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	_					
			精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけてい						
	受与方針	√	対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。						
との対	応		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を						
			身につけている。						
an a		✓	✓ 保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG 関連	fs との	0	3 4 5 8 0 1	(b)					
		「讃義	への出席 3 分の 2 以上」を評価の条件とし、授業への参加態度 20%、プレゼンテーション	 やディスカッ					
評価	方法	ションの内容 50%、レポート(3 回程度)30%を総合して判断する。							
課題に	こ対する	レポー	レポートについては、事前に課題を告知し、提出されたレポートの内容について教員の意見をフィードバック						
フィー	ドバック	する。							
使用	│教 材	第1[回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める						
	講義「	内 容	コミュニティメンタルケアにおける我が国の現状						
1	該当する	5到達目標	▼ 図 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義に	内 容	コミュニティメンタルケアにおける海外の動向①						
2	該当する	5到達目標	▼ ▼ 習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義「	内 容	コミュニティメンタルケアにおける海外の動向②						
3	該当する	5到達目標	▼ ▼ 習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義「	内 容	SAHSA(Substance Abuse and Mental Health. Services Administration)における	₎ 「リカバリー					
1			の定義(SAMHSA's WORKING DEFINITION OF RECOVERY)」について						
4	該当する	5到達目標	▼ 習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					

11 1			ナ寺以 フノバス					
	講義内容 ACT(Assertive Community Treatment:包括型地域生活支援プログラム)について							
5	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間				
	1,2	復習	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる					
	講義内容	IMR(Illness Management and Recovery)について						
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義内容	オーフ	オープンダイアローグ(Open Dialogue;開かれた対話)について					
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	WRA	P®(Wellness Recovery Action Plan)について					
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	リカバ	バリー・ダイナミクス®(RD)について					
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	マトリ	クスモデル(Matrix model)・					
10		SMA	SMARPP(Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program)について					
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	ITCC	ITCOD(Integrated Treatment for Co-Occurring Disorders)について					
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	マイン	マインドフルネス(Mindfulness)について					
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合詞	讨論①					
13	該当する到達目標	予習	これまでの講義を振り返って、自分の考えをまとめておく。	1 時間				
	4	復習	討論を踏まえてコミュニティメンタルケアについての自分の考えをまとめる	1 時間				
	講義内容	総合詞	討論②					
14	該当する到達目標	予習	これまでの講義を振り返って、自分の考えをまとめておく。	1時間				
	4	復習	自分ができるコミュニティメンタルケアを考案する。	1 時間				
	講義内容	まとめ						
15	該当する到達目標	予習	2回の討論を踏まえて、自分の考えをまとめておく。	2 時間				
	4	復習	自分なりに学んだことを整理する。	2 時間				
/±	予習・復習に	ついて		ること。研究				
備	遂行において	、学んだ	だことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。					
考	オフィスアワー	-:前後	期ともに、火曜4,5限とする。					
	•							

科	目 名	食とメンタルヘルス特論							
英 :	文 名	Mental health and eating attitudes							
担:	当教員	上原 徹							
時期	・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位							
護 義	目標	身の勢の継続を対している。	年に成立した食育基本法では、食は生きるための基本的な行動であり、食に関する発達に重要であると明確に宣言された(「国民一人一人が、生涯を通じた健全な食生活、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知力を楽しく身に付けるための学習等の取組みにより、健全な心身を培い、豊かな人間している」)。学生が、メンタルヘルスと食との関連や、さまざまな精神・心身の問題と「食いて学び、自ら考察できるようになることを目標とする。	舌の実現、食文化 識と食を選択する 性を育むことを目					
		1. ノ	人間にとっての食の意味を多面的に理解できる						
		2.	建に関わるメンタルヘルス課題を説明できる						
到達	目標	3. 拐	摂食障害について解説できる						
		4. 精	青神疾患と食行動との関連を説明できる						
		5. 食	食と文化、人間関係と食行動との関係、現代社会の抱える食の問題に視野を広げられる	3					
		1	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。						
		1	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけ	けている。					
学位控	受与方針		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけ	ている。					
との対	応		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を						
			身につけている。						
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。							
SDG 関連	ks との	0	10	6					
関連			● 00 1 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、持						
関連		講義							
評価課題に		講義/	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、摂	受業への参加態度					
関連評価課題に	i 方法 に対する	講義/ 10%、 レポー	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技、 やディスカッションの内容 20%、 等を総合して判断する。	受業への参加態度である。					
関連評価課題に	i 方法 二対する	講義/ 10%、 レポー 適宜者	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 -トについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック	受業への参加態度である。					
関連評価課題に	i 方 法 こ対する ドバック 教 材 講 義	講義/ 10%、 レポー 適宜者	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について	受業への参加態度である。					
関連評価課題にフィー使用	i 方 法 こ対する ドバック 教 材 講 義	講義/ 10%、 レポー 適宜ぎ	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックを書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和として、というでは、事がに対して	受業への参加態度でする。					
関連評価課題にフィー使用	i 方法 二対する ドバック 教 材 講 義	講義/ 10%、 レポー 適宜す 内容	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 一トについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス—摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	受業への参加態度 でする。 書店など) 1 時間					
関連評価課題にフィー使用	i 方法 - 対する - ドバック - 教 材 講 義 - 1 講 義	講義/ 10%、 レポー 適宜す 内容	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能	受業への参加態度 でする。 書店など) 1 時間					
関連評価課題に フィー 使用	i 方法 - 対する - ドバック - 教 材 講 義 - 1 講 義	講義・ 10%、 レポー 適宜す 内容 3到達目標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス—摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能	受業への参加態度 でする。 書店など) 1 時間 1 時間					
関連評価課題に フィー 使用	i 方法	講義・ 10%、 レポー 適宜す 内容 る到達目標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 一トについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス—摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	受業への参加態度 フする。 書店など) 1時間 1時間 1時間					
関連評価課題に フィー 使用	i 方法 i 方法 i 方法 i 方法 i 対する i 下パック i 教 講 義 i i 裁 i	講義・ 10%、 レポー 適宜す 内容 る到達目標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる の身医学的病態と食行動	受業への参加態度 フする。 書店など) 1時間 1時間 1時間					
関連 評価 課題: 使用 1	i 方法 i 方法 i 方法 i 方法 i 対する i 下パック i 教 講 義 i i 裁 i	講義・ 10%、 レポー 適宜す 内容 3到達目標 内容	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 一トについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる の身医学的病態と食行動	2 でする。 書店など) 1 時間 1 時間 1 時間 1 時間					
関連 評価 課題: 使用 1	i 方法 i 方法 i 方法 i 方法 i 対する i がック i 教	講義・ 10%、 レポー 適容 内容 は 日標 内容 は 日標 内容 は 日標 内容 は 日標 内容 は 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 一トについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる の身医学的病態と食行動	要素への参加態度 フする。 書店など) 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間					
関連 評価 課題: 使用 1	i 方法 i 方法 i 方法 i 対する i が 材	講義・ 10%、 レポー 適容 内容 は 日標 内容 は 日標 内容 は 日標 内容 は 日標 内容 は 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技術でイスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックを考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和とトや動物の食行動について デ習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能 デ習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 心身医学的病態と食行動 デ習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 小身医学的病態と食行動 デ習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 精神医学的な疾患と食行動	要素への参加態度 フする。 書店など) 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間					
関連 課題: フィー 使用 1 2	i 方法 i 方法 i 方法 i 対する i が 材	講義・ 10%、 レポー 適容 内 39達目標 内 79年標 内 79年標 内 79年標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技術でイスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバッグを考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和とトや動物の食行動について 「新習」あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 「復習」講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 「食に関わる生理機能や脳機能 「新習」あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 「復習」講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 「心身医学的病態と食行動 「予習」あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 「復習」講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 「本書のおいこの。」 「本書のは、「本書	要素への参加態度 rする。 書店など) 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間					
関連 課題: フィー 使用 1 2	i 方法 i 方法 i 方法 i 方法 i 方法 i 対する i が 対 材 義 i i i i i i i i i i i i i i i i i i	講義・ 10%、 レポー 適容 内 3到達目標 内 3到達目標 内 3到達目標 内 3到達目標	への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、技 、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。 ートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバック 参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス―摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和 ヒトや動物の食行動について 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 食に関わる生理機能や脳機能 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 心身医学的病態と食行動 予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要素への参加態度 フする。 書店など) 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間 1時間					

ΤJ1	113 千尺 下1	生作田作业一	子専攻 ジラハス				
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章書特論② 病態と合併症				
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	表 内容 摂食障害特論 3 歴史と疫学					
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章害特論④ 病因と経過				
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章害特論⑤ 心理社会要因				
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章害特論⑥ 生物身体要因				
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食障害特論⑦ 子どもの摂食問題					
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章害特論⑧ 治療と支援				
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章害特論				
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	摂食	章害特論⑩ スポーツとの関連				
14	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義内容	マイン	ー ドフルな食、まとめ				
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間			
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間			
	配布した資料	を基に	、復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回拝	持参すること。			
備	予習•復習時	間は、総	合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。				
考	オフィスアワー	-:前後	期ともに月曜5限、金曜5限とする。連絡先については授業で提示する。				
	研究室:1 号館	官5階	501				
		_					

	目名	地域福祉特論							
	文 名		Community Care System						
			金井 敏						
-	当教員								
可别	・単位			性 1 年 1友别 迭状 /	2 年12				
			【講義目標】						
		地域福祉の推進は、今後の社会福祉実践や政策を展開するうえで基調的なものであり、メインストリー ムである。この講義では、地域福祉の歴史や市町村の福祉行政や民間の実践、地域福祉計画づくりな							
講 義	目標	_	どに関する先行研究や実例にあたりながら、研究者として政策立案や実践の批判的研究を行うことがで						
un7 32		-	力を身につけることを						
)実施方法】						
		文献の	精読テーマに基づくレ	,ジュメづくり, ディスカ <u>:</u>	ソション, その他				
		1. 均	或福祉に関する日本 は	およびイギリスの歴史と	:実践について説明できる	0			
至 □ 2幸	目標	2. 均	或福祉に関する行政が	拖策,審議会答申などに	こついて説明できる。				
到廷	口 1示	3. 均	域福祉の社会資源や	ソーシャルワーカーの	活用や支援について学術	デレベルの議論が展開でき			
		Z							
		1	保健福祉学の基礎理論	および保健福祉政策に	関する該博な知識を身につ	けている。			
		1			都題に関する専門的知識				
学位授	受与方針		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。						
との対	応	1		決の課題に関する研究	を行い、その成果を適切に	取りまとめて発表する能力を			
			別につけている。		9 + 1 _				
ana			术性倍征分割の専门铜	としての使命感と倫理観	兄ともつ。				
関連	sとの	0	3 4 5	8	① ①	(b)			
		① 接	業内における文献研究	究・フィールドワーク研究	究の発表内容=約50%				
評価	方 法	② 接	業内における発題や原	む答などディスカッション	ンへの積極的な姿勢およる	び当該テーマへのアプロー			
		チ方法の創意工夫など研究者としての資質の深化=約 50%							
課題に	対する	提出された意見やレポートについては、授業時に回答や提案などフィードバックを行い、必要に応じて							
フィート	ドバック	学生とディスカッションする。 教科書は使用しない。参考文献は別途指示する。授業に要する資料は適宜配付する。							
使用	教 材			(献は別途指示する。接	受業に要する資料は適宜的	己付する。			
	講義「		ガイダンス	· 羊口棒 医克克尼贝夫 3	₹! TEL #7	4 = 0+88			
1		5到達目標		議目標や内容に目を追		1.5 時間			
	1,2	力 宓		達日標,字位授与力軒 人口構造·家族構造·要	,成績評価の方法などをは PS諾者の実態	確認する。 1.5 時間			
$_2$		ろ 46 5到達目標			援護者の美感 を読み,レビューする。	1.5 時間			
4	1,2	北京			である。 型して、研究への応用を検				
	講義「	 为 容		女革と地域福祉の考察		1.0 (1)			
3		 る到達目標	1		 を読み,レビューする。	1.5 時間			
	1,2								
		内 容			復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。 1.5 時間 社会的援護が必要な人々の実態				
	講 義 内 容 								
4	該当する	5到達目標				1.5 時間			
4	該当する 1,2	5到達目標	予習 あらかじめ指	定した参考文献や資料	を読み, レビューする。 単して, 研究への応用を検				

令和5年度 保健福祉学専攻 シラバス

		賃備位子専攻 ンフハス					
	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	1,2	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	中央社会福祉審議会・社会保障審議会など政策動向					
6	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	1,2	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	地域福祉と地域包括ケアシステム					
7	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	地域福祉計画における行政と市民・民間福祉の役割					
8	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	イギリスのコミュニティケアの歴史と日本の地域福祉					
9	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	社会福祉協議会の役割と地域福祉の推進方法					
10	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	地域福祉における民生委員・児童委員の役割					
11	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	ふれあい・いきいきサロン活動と住民の主体性					
12	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	住民や専門職が担う相談支援の重層的な拠点と場づくり					
13	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付る。 1.5 時間				
	講義内容	災害時のソーシャルワークと住民の支援					
14	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間				
	2,3	復習 講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討	付する。 1.5 時間				
	講義内容	まとめ 地域福祉展開のパラダイム					
15	該当する到達目標	予習 これまでの講義内容を振り返り、討議の柱を立てて議論の準備	をする。 2 時間				
	1,2,3	復習 議論の内容や得られた知見をもとに、研究課題を熟考する。	2 時間				
	シラバスをも	とにして学生自身が主体的に研究計画を組み立てることを期待する。また,	自身の研究目標に照らし				
	て, 文献研究 [,]	やフィールドワークを授業のなかに取り入れるようにしたい。なお,予習・彼	复習時間は、講義内容に関				
備	する前後の学	習やレビュー発表,論文作成に関わる自習で補完すること。					
考	オフィスアワー	-:月曜日・水曜日の昼休み					
	研究室:1 号館 3 階 310 研究室						
	19176 22 .1.70						

	目 名	高齢者保健福祉特論							
英 :	文 名	Healt	Health and Welfare for older adults						
担:	当教員	松沼:	松沼記代						
時期	•単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位							
高齢者保健・福祉分野における施策サービスの概要や課題を明確にして、理念を具現化するための									
		課題の	決方法について科学的に	検証する。さらに、こ	これらの過程をとおして、柔軟に思考する	能力や分析			
講義	目標	する能	を習得することを目標とする	3 .					
各回の授業では配布資料を基にして講義形式で概要の理解を図るとともに、考察する能力の向上を に討論の時間を設ける。									
	に討論の時間を設ける。								
		1. 高	者保健・福祉分野における	施策サービスの概要	要や問題点を説明できる。				
到達	目標				ための方法について提示できる。				
		1			内容を、整理して説明することができる。				
					する該博な知識を身につけている。				
					問題に関する専門的知識を身につけてい	-			
	受与方針				的援助を実践する能力を身につけている				
との対	协応			問に関する研究を	行い、その成果を適切に取りまとめて発え	長する能力を			
			につけている。	- H A - H I /A = M & D					
		√	建福祉分野の専門職として	の使命感と倫埋観る	行もつ。				
SDG 関連	is との	8 0							
	· i 方 法	レポー	レポート提出及び発表 70%、授業の参加度 30%						
	こ対する								
フィー	ドバック	レポー	はコメントを付けて返却する	。発表の際はそのは	易でフィードバックする				
		毎回印	毎回印刷資料を配布する。適時参考資料を提示する。担当教員著書「施設内研修におけるエスノグラフィーの						
使用	教 材	効果に	に関する研究」を配布する。						
	講義	内 容	導入 授業の進め方の説明	I					
1	該当する	5到達目標	[௺] 習 高齢者保健福祉に関	する施策について	調べる	2 時間			
	1,2		寝習 高齢者保健福祉に関	貫する施策の問題点	について考える。	1.5 時間			
	講義	为 容	高齢者保健福祉施策の概要	厚及び課題(1) 介護	保険サービス				
2	該当する	5到達目標	予習 介護保険サービスの	最新の情報を収集	する。	2 時間			
	1,2,3		り 介護保険サービスの)現状と問題点を考	察する。	1.5 時間			
	講義	内 容	高齢者保健福祉施策の概要	夏及び課題(2) 地域	包括ケアシステム① 福祉サービス				
3	該当する	5到達目標	予習 地域包括ケアシステ	ムにおける福祉サー	ービスの最新の情報を収集する。	2 時間			
	1,2,3		ります 地域包括ケアシステ	ムにおける福祉サー	ービスの課題を整理し、考察する。	1.5 時間			
	講義	内 容	高齢者保健福祉施策の概要	夏及び課題(2) 地域	包括ケアシステム② 医療保健サービス	ζ			
4	該当する	5到達目標	予習 地域包括ケアシステ	ムにおける医療保住	建サービスの最新の情報を収集する。	2 時間			
	1,2,3		♥習 地域包括ケアシステ	ムにおける医療保住	建サービスの課題を整理し、考察する。	1.5 時間			
	講義	内 容	欧米における高齢者福祉施	策の実情と課題(1)	カナダ				
5	該当する	る到達目標	予習 高齢者福祉施策の治	身外の状況を調べる	0	2 時間			
	1,2,3		♥習 カナダにおける高齢	者福祉施策の現状	と課題を整理し、考察する。	1.5 時間			
6	講義	内 容	欧米における高齢者福祉施	策の実情と課題(2)	ドイツ・イギリス等				
J	該当する	5到達目標	予習 ドイツやイギリスの語	高齢者福祉施策の現	状を調べる	2 時間			

73 1	7年10年度 体健価位子等以 ングバス							
	1,2,3	復習	ドイツやイギリスの高齢者福祉施策の現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	尊厳を	を支えるケアに関する法律・制度と課題					
7	該当する到達目標	予習	尊厳を支えるケアに関する法律・制度について調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	尊厳を支えるケアに関する法律・制度の現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(1) ケアプラン						
8	該当する到達目標	予習	介護保険制度におけるケアプランの位置づけについて調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	介護保険制度におけるケアプランの現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	尊厳を	を支えるケアを具現化するための施策と課題(2) 第三者評価					
9	該当する到達目標	予習	介護保険制度における第三者評価の位置づけについて調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	介護保険制度における第三者評価の現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	尊厳を	を支えるケアを具現化するための施策と課題(3) 人材育成					
10	該当する到達目標	予習	高齢者施策における人材育成の位置づけについて調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	高齢者施策における人材育成の現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	尊厳を	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(4) チームケア					
11	該当する到達目標	予習	福祉施設や事業所のチームケアに関する情報を収集する。	2 時間				
	1,2,3	復習	福祉施設や事業所のチームケアに関する現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	尊厳を	を支えるケアを具現化するための施策と課題(5) スーパービジョン					
12	該当する到達目標	予習	スーパービジョンの意味と方法について調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	福祉施設や事業所におけるスーパービジョンの現状と課題を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	介護	予防事業の動向					
13	該当する到達目標	予習	介護予防事業に関する法律について調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	介護予防事業に関する動向を整理し、考察する。	1.5 時間				
	講義内容	介護	予防事業の課題					
14	該当する到達目標	予習	居住する市町村の介護予防事業について調べる。	2 時間				
	1,2,3	復習	今後の介護予防事業の課題を整理し、必要な施策を考察する。	1.5 時間				
	講義内容	総括•						
15	該当する到達目標	予習	高齢者保健・福祉分野における施策サービスの現状と課題をまとめる。	2 時間				
	1,2,3	復習	発表した内容をさらに深く考察してまとめる。	1.5 時間				
備	オフィスアワー	-: 授業	まである。 その前後の時間とする。					
考	質問や意見は	ナメール	からも随時受け付ける。メールアドレス:k-matsunuma#takasaki-u.ac.jp(#→@)					

T7 1	тон	汉 木	生T田111-	子等以「ソフハス」	П				
科	目 名	発達阿	発達障害の脳科学と支援特論						
英 :	文 名	Neur	Neuroscience of developmental disorders towards improvements of their support						
担:	当教員	上原 往	上原 徹						
時期	・単位	保健福	祉学専	攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位					
講義	:目標	神経発達障害は、社会性やコミュニケーション、想像性、注意機能、衝動制御などに特異的な様態を呈する。これらは、生来の脳機能の特性に由来することがおおよそ明らかになってきている。こうした特徴は、場合によっては、一般の社会状況や対人場面で困難や不都合を生みだす。こうした事態が、養育や修学、就労をめぐって顕在化すると、心理社会生物要因が複雑に絡み合った 2 次的な障害を呈する。学生が、新しい脳科学的知見を獲得し、正しい情報や知識を保健福祉的な心理社会支援に結びつけられることを目標とする。							
		1. 神	経発達	障害の成因、診断、経過を説明できる					
		2. 代	表的な	自閉スペクトラムと ADHD について解説できる					
到達	目標	3. 神	経発達	章害をめぐる脳科学的な知見を理解できる					
		4. 医	療•教育	「・司法・福祉現場での実態や課題を考察できる					
		5. 神	経発達	障害をめぐる問題を俯瞰し、実際の支援に結び付く討論ができる。					
		√	保健福祉	业学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。					
		√ ;	精神保健	建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている	5.				
学位控	受与方針		対人援助	助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。)				
との対	応		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を						
		身につけている。							
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。							
SDG 関連	ls との	0		①	1				
= 0. 120	; + :+	講義へ	の出席	3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への	の参加態度				
評価	i 方 法	10%、	ディスカ	ツションの内容 20%、等を総合して判断する。					
	こ対する ドバック	レポー	トにつし	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする 。					
使 用	教 材	参考書	を推薦	する(佐々木正美、自閉症のすべてがわかる本、講談社など)。 適宜資料を準備する	0				
	講義「	内 容	神経乳	発達障害の総論					
1	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義「	 为 容	脳科等	学総論① 解剖と生理機能と局在					
2	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義「	内 容	脳科等	学総論② 高次脳機能、社会脳					
3	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,3		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間				
	講義「	内 容	自閉ス	スペクトラム① 疫学、診断、行動特性					
4	該当する	5到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,2		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	1,2 講義 [为 容		講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる スペクトラム② 社会での実態、2 次障害	1 時間				
5	講義「	内容			1時間				

T7 1	7 M O 平及 体性価値子等以 ンプハス							
	講義内容	自閉スペクトラム③ 支援と治療、最新の脳科学						
6	該当する到達目標	▼	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	注意欠如多動性障害① 疫学、診断、行動特性						
7	該当する到達目標	▼習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	注意欠如多動性障害② 社会での実態、2次障害						
8	該当する到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	注意欠如多動性障害③ 支援と治療、最新の脳科学						
9	該当する到達目標	▼ あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	知的障害						
10	該当する到達目標	^{▶ 習} あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,5	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	特異的学習障害						
11	該当する到達目標	▼ あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,5	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	社会的な動向や支援の課題						
12	該当する到達目標	^{▶ 習} あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	保健福祉施策の実際						
13	該当する到達目標	^{▶ 習} あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,4,5	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	新しい脳科学の動き						
14	該当する到達目標	^{▶ 習} あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間					
	1,2,3	復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間					
	講義内容	総合討論、レポート発表						
15	該当する到達目標	^{予習} これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間					
	1,2,3,4,5	復習 討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間					
	配布した資料	を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回打	寺参すること。					
備	予習•復習時	間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。						
考	オフィスアワー	ー:前後期ともに月曜5限、金曜5限とする。連絡先については授業で提示する。						
	研究室:1 号館	官 5 階 501						

	目 名		人材育儿	デザターク クライス 成特論					
英乙	文 名	Hum	Human Resource Development for a Person Engaged in Social Welfare Service						
担旨	当教員	永田	<u> </u>						
時期	•単位	保健福	祉学専	攻博士前期課程 1年	前期 選択 2単	· 位			
		現在、	福祉人村	 才確保政策において人	材育成の重要性が	が注目され、キャリアパ	スの策定や人材育成認証評価		
		制度等	の取組	みが進められてきてい	る。本講義では、	人材育成を組織的な学	習・教育活動と捉え、社会福祉		
		施設∙	機関のリ	リーダー、管理者等の人	、材育成担当者に	求められる、福祉職場に	こおけるキャリアパス構築及び		
講義	目標	活用方	法等の	、福祉人材育成におけん	る方法論について	学んでいく。			
		•事前	配布され	た参考文献・資料を読	み理解を深める				
		·テー ⁻	マに基づ	ぎディスカッションし考	察を深める				
		•福祉	職場の礼	見点から課題を整理する	5				
		1. 福	祉人材	育成の今日的課題につ	いて理解すること	ができる。			
到達	目標	2. 福	祉人材	育成方法の標準化にお	ける課題について	て理解することができる。			
		3. 福	祉職場	こおいて活用できるキャ	ャリアパスの構築	方法について理解するこ	ことができる。		
		✓	保健福祉	业学の基礎理論および	保健福祉政策に関	引する該博な知識を身に	つけている。		
		✓	精神保健	建、高齢者福祉等の保備	建福祉における諸	問題に関する専門的知	識を身につけている。		
学位授	受与方針		対人援	助技術を修得し、それを	活用して保健福祉	止的援助を実践する能力	を身につけている。		
との対	応		保健福祉	业における未解決の課	題に関する研究を	行い、その成果を適切に	こ取りまとめて発表する能力を		
			身につけている。						
			保健福祉	祉分野の専門職として <i>0</i>	の使命感と倫理観	をもつ。			
SDG 関連	sとの	0		3 4 5	8	(1)	6		
A AC		ディス・	カッショ`		匙するため 授業	************************************			
評価	i 方 法			(50%)により総合的に		KI =00.7 070 HI 1 H (00	/ · / \ 4×1/\(\text{uii} \frac{1}{2} \text{ui} -00.7 \ 0 \ 7 \ 0		
課題に	こ対する								
フィート	ドバック	提出さ	れたレデ	ピートについては、出題	した意図ついて角	罕説を行い、コメントを付	け返却を行なう。		
使用	教 材	講義に	使用する	 る資料は適宜配布する	。 。また、参考資料	 、文献等は、講義内容に	 基づき提示する。		
	講義「	内 容	イント	ロダクション―人材育所	焚とは―				
1	該当する	5到達目標	予習	人材育成の定義につ	いて調べる。		1 時間		
	1		復習	人材育成における組織	織と個人の関わり	について理解を深める。	1時間		
	講義「	内 容	社会社	ー 冨祉学における福祉人権	材育成の位置づけ	t			
2	該当する	5到達目標	予習	福祉人材育成の対象	について調べる。		1 時間		
	1		復習	福祉人材育成の学術	的な位置付けにつ	ついて理解を深める。	1 時間		
	講義「	内 容	福祉人	- 人材育成に関する政策的	的変遷				
3	該当する	3到達目標	予習	最近の福祉人材育成	に関する政策を訓	 べる。	1時間		
	1		復習	講義で扱った政策につ	ついて理解を深め	<u> </u>	1時間		
講義		内 容	標準化			 持性			
	=+>//		予習	標準化の定義及び方			1 時間		
4	該当する		, , –		/本/こ ノし・しゅべへ	٥ لا			
4	該当9 6 2		復習	福祉分野における標準		-	1 時間		
4			復習	福祉分野における標準分野の職場研修における	準化の課題につい	-	1時間		
5	2 講義 [復習		準化の課題につし る実態と課題	-	1時間		

	1119 千尺 下1	主性工工	- 専攻 シラバス						
	講義内容	都道府	F県社会福祉研修実施機関における福祉の職場研修の実態と課題						
6	該当する到達目標	予習	都道府県社会福祉研修実施機関が実施する研修事業を調べる。	1 時間					
	2	復習	都道府県レベルの研修事業の課題について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	横内容 福祉職場におけるキャリアパスの導入と課題							
7	該当する到達目標	予習	福祉分野におけるキャリアパス導入の背景について調べる。	1 時間					
	2,3	復習	福祉職場におけるキャリアパス導入の実態と課題について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	キャリ	アパスに対応した生涯研修課程の検討						
8	該当する到達目標	予習	全国社会福祉協議会の作成した生涯研修課程について調べる。	1 時間					
	2,3	復習	キャリアパスに対応した生涯研修課程のあり方について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	カリキュ	ュラムデザインの視点からみた福祉の職場研修						
9	該当する到達目標	予習	カリキュラムデザインの定義について調べる。	1 時間					
	3	復習	福祉の職場研修における基準のあり方について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	カリキュ	ュラムデザインの手法に基づくキャリアパスの構築方法						
10	該当する到達目標	予習	カリキュラムデザインの手法について調べる。	1 時間					
	3	復習	教育学的視点に基づくキャリアパスの構築方法について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	カリキュ	ュラム評価の視点からみた福祉職場におけるキャリアパスの分析						
11	該当する到達目標	予習	カリキュラム評価の方法について調べる。	1 時間					
	3	復習	キャリアパスの分析方法について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	カリキュ	ュラムマネジメントの視点を導入した福祉職場におけるキャリアパスの活用(事例検	討)					
12	該当する到達目標	予習	カリキュラムマネジメントの定義について調べる。	1 時間					
	3	復習	キャリアパスの活用事例について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	カリキュ	ュラムマネジメントの視点に基づく福祉職場におけるキャリアパスの評価(事例検討)					
13	該当する到達目標	予習	キャリアパスの評価方法について調べる。	1 時間					
	3	復習	キャリアパスの評価に関する事例について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	福祉の	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー						
14	該当する到達目標	予習	福祉の職場研修の課題を整理する。	1 時間					
	2,3	復習	福祉人材育成へのカリキュラムマネジメント導入の効果について理解を深める。	1 時間					
	講義内容	総合討	 論、研究成果の発表						
15	該当する到達目標	予習	今までの研究内容を整理し、研究成果としてまとめる。	1 時間					
	2,3	復習	指摘された事項に関して理解を深める。	1 時間					
	オフィスアワー	-:火曜日	3 時限と水曜日 2 時限						
備	研究室:1号館	官3階30	09(メールアドレスは授業時にアナウンス)						
考	配布した資料	を基に、	復習と自主的な発展的学習を行うこと。						
	予習•復習時	間は、総	合討論前後の学習や研究成果の発表準備で適宜補完すること。						

11 4	H 0 T	1× 1× 1	<u>с</u> ін ін _	T + 100 /	7/\						
科	目 名	司法精神保健ソーシャルワーク特論									
英	文 名	Legal	Legal mental health social work								
担	当教員	池田月	地田 朋広								
時期	・単位	保健福	保健福祉学専攻博士前期課程 1年後期選択2単位								
講義	・精神鑑定や医療観察法制度、精神保健福祉法における措置入院制度など、精神科医療では、矯正・電の近接領域を扱うことがある。精神保健福祉に携わる専門家は、司法による強制力をどのように理解健・福祉の専門家として、どのような立場で、人権を尊重した関わりを行なっていけばよいのだろうか?この講義では、司法制度と精神保健福祉制度が交わっている領域について理解しやすいように整理をしく。また、精神保健福祉制度と司法制度との狭間を見据えて、これに関わる保健・福祉の専門家がどの。視点で、支援を行なえば良いのかについて考えを深めたい。 ・研究テーマを遂行し成果につなげるために必要な研究や実践例をとりあげ、指導教員ならびに他の受						のように理解し、係 のだろうか? ように整理をしてい 評門家がどのような				
到 達	と質疑応答・議論をする。 1. 司法精神医療の対象となる制度を理解できる 2. 我が国の司法精神医学の歴史について理解できる 3. 司法精神科医療領域をめぐる社会福祉の現状や今後の展望を考察できる 4. 司法・医療・福祉など現場での実態や課題を考察できる 5. ソーシャルワーカーとして具体的支援策を立てることが出来る										
学位授	受与方針	3	精神保健 対人援 保健福祉 身につ!	建、高齢者 助技術を修 止における ナている。	福祉等の係	R健福祉に を活用して 果題に関す	おける諸保健福祉る研究を	問題に関的援助を	する専門的を実践する能	につけている 知識を身につけ むかを身につけ 切に取りまとめ	けている。
SDG 関連	s との	0		3	5		8	10	1		1 1
評価課題に	方法 対する	ションの	の内容 5	50%、レポ	ート(3 回程	建度)30%	を総合して	判断する	5.		-ションやディスカッ :見をフィードバック
	教 材]の時に	学生と相談	 炎の上、研究	ピテーマに	応じて決め	 りる			
	講義「				祉が扱う		<u> </u>				
1	該当する	到達目標 3	予習		め指定した		資料の部分	を読む	•		1 時間
	1		復習	講義内容	に関連する	る情報や知	識を自主	的に調べ	<u> </u>		1 時間
	講義「	内 容	我が国	国における	司法精神的	医学とその	周辺領域	の歴史			
2	該当する	到達目標	予習	あらかじ	め指定した	参考書や	資料の部	を読む			1 時間
	2		復習	講義内容	に関連する	る情報や知	職を自主	的に調へ	べる		1 時間
	講義「	内 容	司法料	青神保健に	おける海タ	りの動向					
3	該当する	5到達目標	予習	あらかじ	め指定した	参考書や	資料の部	を読む	•		1 時間
	1,2		復習	講義内容	に関連する	る情報や知	職を自主	的に調へ	べる		1 時間
	講義「	内 容	司法料	青神保健領	域における	る精神疾患	(1) パラノ	イア・人	格障害		
4	該当する	3到達目標	予習	あらかじ	め指定した	参考書や	資料の部	かを読む	•		1 時間
	1,4		復習	講義内容	に関連する	る情報や知	職を自主	的に調べ	べる		1 時間

令和5年度 保健福祉学専攻 シラバス

TJ 1	M O 干皮 不区		子専攻・ンプハス	1				
	講義内容	司法料	青神保健領域における精神疾患②依存症(薬物・窃盗・性)					
5	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	医療額	現察法① 制度の概要・介入技法・支援技法					
6	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	医療額	現察法② 精神保健参与員・社会復帰調整官に求められるもの					
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	精神和	斗医療施設内の司法対応(措置入院制度)					
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	更生的	保護制度における精神保健福祉					
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	刑務所	所内の精神医療 / 刑務所出所時のソーシャルワーク					
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,3,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	社会福祉士 / 精神保健福祉士による司法ソーシャルワーク						
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,3,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	違法	薬物使用障害者へのソーシャルワーク					
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	1,3,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合詞						
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	総合詞	- 対論②					
14	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間				
	3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間				
	講義内容	まとめ		•				
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間				
	3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間				
/#	予習・復習に	ついて	- よ、試験前後の学習で補完すること。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参す	ること。研究				
備	遂行において	、学んが	だことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。					
考	オフィスアワー	-:前後	期ともに、火曜 4, 5 限とする。					
	L							

	目 名								
			貧困問題特論 Powerty issue						
	文 名		Poverty issue						
	当教員		石坂 公俊 						
時期	- 単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位							
				び社会福祉領域を理解するうえで, 貧困問題及び公的扶助からのアプローチは有 					
講義	遠 目 標			とつである。本講義では,貧困・生活困窮領域における分化した対象の中から,子と					
	ひとり親世帯,高齢者の貧困,ホームレス問題などの探索的な理解を通して,貧困問題及び公的扶助へ 察を深めることを目標とする。								
				で日保とする。 及び公的扶助の歴史的展開を理解できる。					
				文の伝的大助の歴史的展開と理解できる。 頂域における貧困問題及び公的扶助からのアプローチの有効性を認識できる。					
到達	と 目標			こある人々の営為や考えを洞察できる。					
				てに対して、貧困問題及び公的扶助の視座を援用できる。					
				止学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。					
		-		ま、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	 გ.				
学位指	授与方針	-		力技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている	-				
との対	讨応		保健福祉	止における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表	する能力を				
			身につい	けている。					
			保健福祉	止分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	Gs との	0	4	3 4 5 8 0 12	1 6				
関連	Ī	U		8 4 5 8 0 0	W				
評価	方法	議論を	中心とす	「るため,発言内容(60%)と最終レポート(40%)で評価を行う。					
課題に	に対する			がに課題内容,出題意図を提示する。					
フィー	ドバック			ペートは,解説などを加え,講義時にフィードバックする。					
使用	月 教 材			る資料などを配付する。					
				適宜提示する。					
	講義			ンテーション	. =+00				
1		3到達目標		講義目標、到達目標などを確認する。	1時間				
	1,2,3		復習	講義目標、到達目標、評価方法などを理解する。	1 時間				
	講義		1	生活困窮者(対策)をめぐる動向	1 1+88				
2		5到達目標	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間				
9		A 谷 S到達目標	予習)貧困問題(戦前・戦後) 事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間				
3	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間				
	講義日			の貧困①(実態)	1 円寸[申]				
4		A 在	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間				
4	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間				
	講義日			の貧困②(ひとり親世帯)	T H411日]				
5		3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間				
	講義			の貧困③(課題と対策)	=3143				
6		3 到達目標	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間				
			1	The state of the s	1 11:3				

	四 分十段 不同	生性工士	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	高齢者の	の貧困①(実態)	
7	該当する到達目標	予習 3	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	高齢者(の貧困②(課題と対策)	
8	該当する到達目標	予習 3	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	ホームし	レス問題①(実態)	
9	該当する到達目標	予習 3	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	ホームし	レス問題②(課題と対策)	
10	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	女性の	貧困①(実態)	
11	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	女性の	貧困②(課題と対策)	
12	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	若者の	貧困	
13	該当する到達目標	予習 🞚	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	公的扶	助制度まとめ	
14	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献,資料を読み込む。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
	講義内容	全体まる	とめ	
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を整理し,成果としてレポートにまとめる。	1 時間
	1,2,34	復習	議論した内容を整理し,研究テーマに援用する。	1 時間
	履修者の研究	テーマに	即して、講義内容を組み替えることがある。	
備	予習•復習時	間は, 最終	冬レポート作成に関わる自己学習で補完すること。	
考	オフィスアワー	-:月曜2	限(前後期とも)	
	メールアドレス	く: kimi#t	takasaki-u.ac.jp(#→@)	

科	目 名	健康	軍動科	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
英:	文 名	Heal	Health and Exercise Sciences						
担:	当教員		Lieath and Exercise Sciences Lim 加織						
- 時期	・単位		四四						
				な発達や健康の維持・増進には、適度な運動や身体活動が必要である。本講義で	は、様々な				
				における健康の獲得・維持・増進に関する疫学研究や運動介入研究などの最新知					
講義	目標			運動実践による健康づくりの専門知識を習得することを目指す。	22000 0 11.				
		1. 各	ライフス	テージにおける健康課題とその背景を説明できる。					
지나 '夫	#	2. 各	ライフス	テージにおける運動習慣や身体活動の実態を説明できる。					
到達	目標	3. 各	ライフス	テージにおける運動実践効果とそれらを測る調査方法を理解できる。					
		4. 優	康の獲	骨・維持・増進に関する最新知見を習得できる。					
		\	保健福祉	止学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。					
		1	精神保健	建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている	5.				
学位指	受与方針		対人援助	助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている	0				
との対	応		保健福祉	止における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表	する能力を				
			身につい	けている。					
			保健福祉	止分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	is との		6	3 4					
関連									
評価	i 方 法		講義に関する予習・復習の有無と理解度 50%、授業への参加態度 20%、発言やディスカッションの内容 30%						
		を総合	を総合的に評価する。						
	こ対する ドバック	レポー	ト課題に	こついては、事前に内容を告知し、記載方法や出題意図をフィードバックする。					
	教材	講義に	使用する						
	講義			シテーション					
1	該当する	る到達目標 の対達目標	予習	講義目標や到達目標等の講義内容を確認する。	0.5 時間				
	1		復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間				
	講義	内 容	幼少期	明の健康と運動	1				
2	該当する	5到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1 時間				
	1,2,4		復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間				
	講義	内 容	思春期	明の健康と運動					
3	該当する	る到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1 時間				
	1,2,4		復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間				
	講義	内 容	青年期	明の健康と運動					
4	該当する	る到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1 時間				
	1,2,4	:	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間				
	講義	内 容	妊娠	明の健康と運動					
5	該当する	5到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1 時間				
	1,2,4	: 	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間				
6	講義	内容	育児期	明の健康と運動					
U	該当する	5到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1 時間				

	TIO 十及 不N	性価位子等以 ググバス						
	1,2,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	壮年期の健康と運動						
7	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	1,2,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	老年期の健康と運動	·					
8	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	1,2,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	運動介入による体力・運動能力の向上	·					
9	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	運動介入による生活習慣病の予防・改善	·					
10	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	運動介入による女性の月経前症候群・更年期症状・不定愁訴の予防・改善	·					
11	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	運動介入によるメンタルヘルスの維持・増進と心理的効果						
12	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	運動介入によるフレイルの予防・改善						
13	該当する到達目標	^{予習} 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	総合討論①						
14	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
	講義内容	総合討論②						
15	該当する到達目標	予習 指定された文献や資料を読む。	1 時間					
	2,3,4	復習 講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1 時間					
備	予習•復習時	間は、各自、適宜補完すること。						
考	オフィスアワー	一:月曜5時限、火曜3時限						
75	メールアドレス	ス:yamanishi#takasaki-u.ac.jp(#→@)						

	目 名			ェーサップ・パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
英	文 名	Socia	Social Welfare Development History							
担	当教員	石坂	石坂 公俊							
時期	・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位								
現代社会および社会福祉領域を理解するうえで、歴史的アプローチは有効性の高い研究方法論の										
## ¥	: D ##	ある。	本講義で	では、社会福祉領域を対象に、分化した福祉の歴史研究方法の中から、事業史、福	祉史, 政策					
舑 我	ま目 標	史など	史などの先行研究を通して, 社会福祉の歴史的理解を深めるとともに歴史研究の方法について理解すること							
		を目標とする。								
		1. 社	会福祉(の歴史的展開の概要を史資料の読解を通して理解できる。						
到達	目標	2. 社	会福祉	領域における歴史的研究方法の有効性を認識できる。						
			-	マに対して,歴史的研究の方法論を援用できる。						
				业学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	_					
				建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている	-					
	受与方針			助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	-					
との対	讨応			业における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表 	する能力を					
				ナている。						
GD.C	ls との		1朱1娃1届1	业分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。 						
関連		0		3 4 5 8 0 0	16					
	方法	議論を	中心とる	するため,発言内容(60%)と最終レポート(40%)で評価を行う。						
	こ対する			がに課題内容、出題意図を提示する。						
フィー	ドバック			ポートは、解説などを加え、講義時にフィードバックする。						
		講義に	使用す	る資料などを配付する。						
使用	教材	参考文	献等は	,適宜提示する。						
	講義「	内容	オリエ	ンテーション						
1	該当する	る到達目標	予習	講義目標、到達目標などを確認する。	1 時間					
	1,2,3		復習	講義目標、到達目標、評価方法などを理解する。	1 時間					
	講義「	内容	社会	事業史の研究①(明治期)	_					
2	該当する	5到達目標	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。	1 時間					
	1,2		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義「	内容	社会	事業史の研究②(大正期)						
3	該当する	5到達目標	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。	1 時間					
	1,2		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義「	内容	社会社	富祉史の研究①(昭和初期, 戦前) 						
4		5到達目標	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。	1 時間					
	1,2		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義「			副社史の研究②(戦後) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
5		5到達目標	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。	1 時間					
	1,2		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義「		-	副社政策史の研究①(戦前) 「ませい場合」 / ☆まませい 深地 (ままま) 3 も	_ =±BC					
6		5到達目標	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1時間					
	1,2		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					

13.4								
	講義内容	社会福祉政策史の研究②(戦後)						
7	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	ニーズ論に関する歴史的展開						
8	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	援助論・援助関係論に関する歴史的研究						
9	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	社会福祉の思想史						
10	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	宗教と福祉史	·					
11	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	社会福祉施設史	·					
12	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	社会福祉実践史	·					
13	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	社会福祉の地域史	•					
14	該当する到達目標	予習 事前に提示した参考文献、資料を読み込む。	1 時間					
	1,2	復習 講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間					
	講義内容	まとめ						
15	該当する到達目標	^{予習} これまでの講義内容を整理し、成果としてレポートにまとめる。	1 時間					
	1,2,3	復習 議論した内容を整理し、研究テーマに援用する。	1 時間					
	履修者の研究							
備	予習•復習時	間は, 最終レポート作成に関わる自己学習で補完すること。						
考	オフィスアワー	ー:月曜2限(前後期とも)						
	メールアドレス	ス:kimi#takasaki-u.ac.jp(#→@)						
	•							

	目 名			変護特論						
英 :	文 名	Advo	Advocate for the rights of the elderly							
担	当教員	原田 欣宏								
時期	・単位			攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位						
				ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	ーーー Eであり、成					
				用促進法の制定、意思決定支援、在宅サービスでの虐待防止への対応義務化など						
講義	も 目標	が進め	が進められている。本講義では高齢者の権利擁護実践が科学的根拠に基づく支援とともに法制度と社会シス							
		テムを結び付けられることを目標とする。								
		10. 高	齢者権	利擁護の今日的課題について理解することができる。						
到達	目 標	11. 高	齢者権	利擁護システムの構築における課題について理解することができる。						
		12. 高	齢者福	祉の現場において活用できるシステムの構築方法について理解することができる。						
				业学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。						
				建、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている						
学位担	受与方針			助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。 	*					
との対	讨応			业における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表 ・・・・・・	する能力を					
				ナている。						
~ ~ ~		,	保健福祉	业分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。 						
関連	is との			①	16					
121 22	-	講義への出席3分の2以上の場合に評価対象となり、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度70%、								
評価	方法	授業への参加態度 10%、ディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。								
課題	こ対する	19								
フィー	・ドバック	ド	トについ	いては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。						
使用	教材	講義に	使用す	る資料は適宜配布する。また、参考資料、文献等は、講義内容に基づき提示する。						
	講義	内 容	高齢	者における権利擁護の課題	_					
1	該当する	5到達目標	予習	高齢者分野の権利擁護にかかわる問題を調べる	1 時間					
	1.2.		復習	問題の範囲と現在の課題について整理する	2 時間					
	講義	内 容	成年後	後見制度①対応の範囲 						
2	該当する	5到達目標	予習	老人福祉法、介護保険法、高齢者虐待防止法との関係について調べる	1 時間					
	1.2.		復習	行政における対応のながれとソーシャルワーカーの対応を整理する	2 時間					
	講義	为 容 ————	成年後	後見制度②利用促進法のねらい 「						
3		5到達目標	予習	民法および成年後見制度利用促進法の厚労省資料を確認する	1 時間					
	1.2.		復習	これまで利用が進まなかった原因と今後の対策を整理する	2 時間					
	講義			後見制度③法人後見 「ませれた素別が囚体いは / ミロナセーナース ンナー L / / 日の課題について課 ミ ス	4 8+88					
4		5到達目標	予習	社協や専門職団体以外が実施する法人後見の課題について調べる	1時間					
	1.2.	<u></u>	復習	親族後見と専門職後見の効果と課題を整理する	2 時間					
_	講義		予習	央定支援①システムの構築 	1 時間					
5		5到達目標								
	1.2.	力 宓	復習	後見人等に期待される実戦での役割を整理する 決定支援②法的課題	2 時間					
6		ろ 4 5到達目標	予習	大足又振る広の味趣 医療・ケアの決定プロセスを具体的に想定して課題を考える	1 時間					
O	1.2.	シェルモロリボ	復習	意思決定支援を実践するときの注意点と課題を整理する	2時間					
	1.4.		区日		△ [4]					

TJ 1	山り十段 体形	生作田作业一	子等攻・シブハス					
	講義内容 意思決定支援③人材確保と教育、啓発							
7	該当する到達目標	予習	関係者の理解を深めるための注意点を考える	1 時間				
	2.3.	復習	高齢者福祉施設および事業所での教育啓発の要点を整理する	2 時間				
	講義内容	意思決定支援④日常生活における支援						
8	該当する到達目標	予習	意思決定支援と代行決定の留意点を確認する	1 時間				
	2.3.	復習	必要な体制整備の方法を整理する	2 時間				
	講義内容	高齢者	音虐待①防止法に基づく対応実践と課題					
9	該当する到達目標	予習	通報受理から終結までの流れを確認する	1 時間				
	2.3.	復習	地域包括支援センターの対応範囲と限界を整理する	2 時間				
	講義内容	高齢者	者虐待②予防					
10	該当する到達目標	予習	在宅サービスにおける虐待予防の方法を確認する	1 時間				
	2.3.	復習	予防の実施を公表する方法を整理する	2 時間				
	講義内容	医療征	テ為への支援①健康管理の支援 「あなの支援①健康管理の支援					
11	該当する到達目標	予習	日常生活での健康管理を支援する方法を確認する	1 時間				
	2.3.	復習	ケアマネジメントの範囲で実施する支援を整理する	2 時間				
	講義内容	医療行為への支援②緊急時の支援						
12	該当する到達目標	予習	緊急時支援のマニュアルを確認する	1 時間				
	2.3.	復習	対外的に適切な支援の在り方を整理する	2 時間				
	講義内容	社会社	晶祉における紛争解決①ADR、運営適正化委員会の役割	•				
13	該当する到達目標	予習	ADR、運営適正化委員会の対応手順について確認する	1 時間				
	2.3.	復習	裁判によらない紛争解決の方法を整理する	2 時間				
	講義内容	社会社	晶祉における紛争解決②行政機関	•				
14	該当する到達目標	予習	苦情解決の手順と役割について確認する	1 時間				
	2.3.	復習	サービス供給の信頼性維持の役割を整理する	2 時間				
	講義内容	総合言	寸論					
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を整理し、自らの研究テーマに即したレポートをまとめる。	1 時間				
	1.2.3.	復習	議論した内容を整理し、自らの研究テーマに援用する。	2 時間				
	授業の進めた	7:資料、	教科書、視覚教材を用いながら講義とレポート発表、グループワークを行い、権利	擁護に関す				
	る社会全体で抱える課題とともに、それぞれの研究課題に関連した事項も整理する。							
備	オフィスアワー:金曜5限(前後期とも)							
考	メールアドレス: harada#takasaki-u.ac.jp(#→@)							
	履修者の研究テーマに即して、講義内容を組み替えることがある。							

予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。

令和5年度 保健福祉学専攻 シラバス

科目名	保健福祉学特別研究							
英 文 名	Seminar for Master's Thesis on Health and Welfare Sciences							
担当教員	指導	指導教員						
時期·単位	保健	福祉学専攻博士前期課程 1:2年 通年 必修 8単位						
	保健	保健福祉学に関する修士論文完成に向けて、問題意識の抽出と研究テーマの設定、研究デザインの吟味と						
講義目標	計画の作成、研究の実施遂行、データ解析と考察、学会発表、論文執筆、すべての過程において、指導教							
	による適切な助言・指導を通じて、大学院生が主体的に研究を完遂し、論文を完成することを目標とする。							
	1.	関連研究をレビューできる						
	2.	研究デザインを吟味できる						
到達目標	3.	研究者としての倫理や基本的姿勢を獲得できる						
	4.	研究を実施し、結果を分析できる						
	5.	修士論文を完成する						
		保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。						
		精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。						
学位授与方針		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。						
との対応	1	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表す	る能力を					
	_	身につけている。						
	✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDGs との	0	0	16					
関連								
評価方法		論文完成度 50%、論文作成過程における研究態度(客観性、熱意、誠実さなど)10%、審査の	過程評価					
	(発表	長会での講演・質疑)20%、倫理感 20%、などを総合的に評価する。						
課題に対する	 課題の意図や目的、学会発表での質疑応答、査読結果への返答を通じて、フィードバックを行う。							
フィードバック								
使用教材		各指導教員より別途指示する。						
		論文の作成 						
講義内容	予習	論文提出のフォーマットを準備する	適宜					
	復習	これまで学んだことを振り返る	適宜					
備考	. —	院生や研究科内の教員、学内外の専門家との議論や交流を通じて、研究者としての基本を身に	こつける。					
	オフ	ィスアワー含めて、指導教官とのアポイントにより、直接的な指導助言が随時行われる。						

	目 名		^{叫木} 優子寺な フラバス 栄養学特論					
英:	文 名	Advanced Food and Nutrition Science						
担:	当教員	下川 哲昭、岡村 信一、渡辺 由美、田中 進、木村 典代、村松 芳多子、綾部 園子、曽根 保子、竹内 真理、應本 真						
時期	・単位	食品栄	é養学専攻博士前期課程 1年 通年 必修 4単位					
講義	目標		き養学全般の広い視野にわたり学識を深め、各分野の専門知識や新たな問題点を学習する。 はオムニバス形式で行う。					
到達	1. 疫学研究の意義と可能性について理解を深める。(渡辺) 2. 栄養教育学研究の性質や発展に対する理解を深める。(木村) 3. 健康維持における栄養素の役割と代謝の概要を栄養生化学的に理解する。(田中) 4. 食品学研究の多様性に対する理解を深める。(應本) 5. 調理科学研究に対する理解を深める。(綾部) 6. 食物栄養と実生活との関係について理解を深める。(岡村) 7. 食品中の栄養素の生理機能について欠乏や過剰による障害を含めて理解する。(下川) 8. 健康増進、疾病予防・改善に寄与する栄養科学研究への理解を深める。(曽根) 9. 食品安全学特論の食べ物の安全と安心に対する理解を深める。(村松) 10. 疾病と栄養、食事との関係について理解を深める。(竹内)							
学位担との対	受与方針		食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。 食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。 食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。 栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ、 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	ている。				
SDG 関連	ls との		2 3 4					
評価	方法	課題2	20%、平常点(授業参加度・貢献度)80%で評価する。					
	こ対する ドバック	ディスプ	カッション時のコメントおよび課題提出物に対するコメントを通じてフィードバックを行う。					
使用	教材	担当教	対員から別途指示する。					
1	講義内容 該当する到達目標 1		疫学研究入門ラ 習 関連した専門用語の意味を理解しておくこと復 習 講義で解説した内容を整理する	1.5 時間				
2	講義内容 該当する到達目		B到達目標 予 習 代表的な国外の疫学研究について調べる 1.5					
3	講義「	内容	食と健康、疾病に関する疫学研究の紹介(国内) 予習 代表的な国内の疫学研究について調べる	1.5 時間				
	1 講義 [内 容	復習 講義で解説した内容を整理する 栄養教育学研究の可能性	1.5 時間				
4	該当する 2	5到達目標	予 習 関連分野の文献を読んでくる 復 習 関連分野の文献をまとめる	1.5 時間				
5	講義内容		栄養教育学研究のデータの表し方と見方	1 2.3				

13.4	該当する到達目標	予習	子等攻・ソフハス	1 产 吐 月			
	改当9 つ到廷日標	復習	関連分野の文献を読んでくる 関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容		関連ガザの入脈をよとめる 数育学の最新の研究紹介	1.5 時間			
6	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
О	2	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	1发 百		1.0 时间			
_	ים ניו אָל אָח	栄養素	素の代謝の概要				
7	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる	1.5 時間			
	3	復習	レポートを作成する	1.5 時間			
	講義内容	栄養素	素の代謝における酵素の役割				
8	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる	1.5 時間			
	3	復習	レポートを作成する	1.5 時間			
	講義内容	酵素	欠損と代謝異常の概要	1			
9	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる	1.5 時間			
	3	復習	レポートを作成する	1.5 時間			
	講義内容	食品	学研究(概論)				
10	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	4	復習	夏 習 関連分野の文献をまとめる				
	講義内容	食品等	学研究(食品機能分野)				
11	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	4	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	食品等	学研究(食品分析学分野)				
12	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	4	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	調理和	科学研究の分野				
13	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	5	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	調理和	4学研究の研究方法				
14	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	5	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	調理和	学研究のデータの表し方と見方				
15	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	5	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	食物	アレルギー				
16	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	6	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	栄養と	☆学業成績				
17	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	6	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			
	講義内容	カカオ	フラボノールの機能性				
18	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間			
	6	復 習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間			

73.1	山り十皮 民口	旧木食士寺久 ノノハス						
	講義内容	主な栄養素の生理機能						
19	該当する到達目標	予 習 関連分野の文献を検索し読んでくる	1.5 時間					
	7	復習 関連分野の文献を体系的にまとめる	1.5 時間					
	講義内容	栄養素の欠乏と過剰における生理機能の破綻	•					
20	該当する到達目標	予 習 関連分野の文献を検索し読んでくる	1.5 時間					
	7	復習 関連分野の文献を体系的にまとめる	1.5 時間					
	講義内容	胎児期の脳内環境における栄養素の生理機能						
21	該当する到達目標	予 習 関連分野の文献を検索し読んでくる	1.5 時間					
	7	復習 関連分野の文献を体系的にまとめる	1.5 時間					
	講義内容	成長期の食習慣の改善効果と根拠						
22	該当する到達目標	予習 関連分野の文献を読み、分からない文章・言葉を調べる	1.5 時間					
	8	復習 関連分野の文献を読み、まとめる	1.5 時間					
	講義内容	成人期の疾病予防にかかわる栄養改善効果と根拠						
23	該当する到達目標	予習 関連分野の文献を読み、分からない文章・言葉を調べる	1.5 時間					
	8	復習 関連分野の文献を読み、まとめる	1.5 時間					
	講義内容	高齢者を対象とした栄養療法の効果と根拠						
24	該当する到達目標	予習 関連分野の文献を読み、分からない文章・言葉を調べる	1.5 時間					
	8	復習 関連分野の文献を読み、まとめる	1.5 時間					
	講義内容	日本食品標準成分表 2020 年度(八訂)(水道水中の無機質)						
25	該当する到達目標	予習 関連資料・文献の講読	1.5 時間					
	9	復習 関連資料と講読文献の要約	1.5 時間					
	講義内容	食べ物の選択(最近の話題:食品添加物と科学的根拠)						
26	該当する到達目標	予習 関連資料・文献の講読	1.5 時間					
	9	復習 関連資料と講読文献の要約	1.5 時間					
	講義内容	食べ物表示(最近の話題:食品表示法と機能性表示食品)						
27	該当する到達目標	予習 関連資料・文献の講読	1.5 時間					
	9	復習 関連資料と講読文献の要約	1.5 時間					
	講義内容	傷病者を対象とした栄養食事療法の効果と根拠						
28	該当する到達目標	予習 関連資料、文献の講読	1.5 時間					
	10	復習 与えられた課題の考察	1.5 時間					
	講義内容	臨床栄養学の研究紹介(国内)						
29	該当する到達目標	予習 関連資料、文献の講読	1.5 時間					
	10	復習 関連資料、文献をまとめる	1.5 時間					
	講義内容	臨床栄養学の研究紹介(国外)						
30	該当する到達目標	予習 関連資料、文献の講読	1.5 時間					
	10	復習 関連資料、文献をまとめる	1.5 時間					
		│復習│関連資料、文献をまとめる ※似た詩は、西上たさしぬ、声明中語のオーヤの中語については詞がて知識を深め						

[・]関連文献や資料を読み、要点をまとめ、専門用語や不明な用語については調べて知識を深める。

・オフィスアワー:

備考

①渡辺:前期・後期とも月曜日の5時限、②木村:前期は水曜日の5時限、後期は月曜日の5時限、③田中:前期・後期とも火曜日の4時限、④應本:前期・後期とも水曜日の5時限、⑤綾部:講義日の午後、⑥岡村:前期・後期とも金曜日の5時限、⑦下川:前期・後期とも月曜日、⑧曽根:前期は月曜日の5時限、後期は月曜日の4時限、⑨村松:講義日の3時限~5時限、⑩竹内:前期は木曜日の2時限、後期は火曜日の5時限

(教員全員)事前に連絡があれば随時対応可

・教員への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。

	目 名	食品学特論							
英	文 名	Advanced Food Chemistry							
担	当教員	應本	<u></u> 應本 真						
時期	・単位	食品栄	養学専	攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位					
講義	長目 標	機能性ことを	につい 目標とす	の機能(栄養機能、嗜好機能、生体調節機能)がある。本講義では、特に、食品の で科学的な視点から学習し、食品が有する嗜好機能や生体調節機能についての理 る。 毎回各テーマについて、討論と考察を行う。					
				好性と機能性について、説明することができる。					
到達	目標			を対象とした研究について、討議することができる。					
		1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位持	受与方針	1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	协応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		√	食品栄養	ととというでは、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて	ている。				
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG 関連	is との		2	9					
	方法	授業中	の質疑	応答 60%、レポート 40%					
	ニ対する ドバック	レポートについては、提出後、その内容のディスカッションを行う。							
使用	割教 材	特に指	定はした	ないが、学術雑誌の論文を参考にすることがある。講義に使用する資料は適宜配布	する。				
	講義	♣ 内容 ガイダンス、本特論の進め方、到達目標、評価方法の確認							
1	該当する	5到達目標	予習	無し	0 時間				
	1,2		復習	無し	0 時間				
	講義	内容	感覚	こついて(概論)					
2	該当する	る到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
	講義	内容	食品の	の嗜好機能(色素成分)1					
3	該当する	5到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
	講義	内容	食品の	の					
4	該当する	る到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
	講義	内容	食品(の					
5	該当する	当する到達目標		関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
	講義	内容	食品(D嗜好機能(呈味成分)2 					
6	該当する	る到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間				
7	講義	内容	食品(D嗜好機能(におい成分)1	1				
	該当する	る到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				

議案内容 食品の嗜好機能(におい成分)2 1時 1,2 位置 関連分野の文献を読んでくる 1時 1,2 位置 1,2 位置 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,2 1,3	13.1	HO IX KH		T 40 20 00					
8		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 本		講義内容	食品の	の嗜好機能(におい成分)2					
9	8	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
9		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 接端するが陰目標 1,2 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 接端するが陰目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献をまとめる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を悲んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を悲んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を悲んでくる 1 時間 1,2 接端するが陰目標 7 部 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 接述 1 時間 1,2 1 時間 1 時		講義内容	中間	まとめ					
講義内容 食品の生体調節機能 1 1 1 1 1 1 1 1 1	9	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
10		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 議義内容 食品の生体調節機能 2 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 大学 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 大学 投資 投資 関連分野の文献を表とめる 1 時間 大学 投資 投資 投資 投資 投資 投資 投資 投		講義内容	食品の	D生体調節機能 1					
講義内容 食品の生体調節機能2 1時 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1時 1,2 1号 1,2 1号	10	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
11		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 議義内容 食品の生体調節機能 3 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1		講義内容	食品の	D生体調節機能 2					
講義内容 食品の生体調節機能 3 1 時 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時 議義内容 食品の生体調節機能 4 13 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時 議義内容 食品の生体調節機能 5 14 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 まとめ まとめ 1 時 まとめ まとめ 1 時 下習 関連分野の文献を読んでくる 0 時 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時 下習 で	11	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
12		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 議義内容 食品の生体調節機能 4 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を悲とめる 1 時間 議義内容 食品の生体調節機能 5 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を悲とめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を悲とめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 復習 関連分野の文献を悲とめる 1 時間 予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー:随時 研究室: 1 号館 4 階 402		講義内容	食品の	食品の生体調節機能 3					
講義内容 食品の生体調節機能 4 13 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 接当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を悲とめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 復習 関連分野の文献を悲とめる 1 時間 予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 研究室: 1 号館 4 階 402	12	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
13 該当する到達目標 1,2 予習 関連分野の文献を読んでくる 1時間 1,2 1 時間 1,		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 講義 内容 食品の生体調節機能 5 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 1,2 7 で		講義内容	食品の	食品の生体調節機能 4					
議義内容 食品の生体調節機能 5 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 1 時間 1,2 復習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 研究室: 1 号館 4 階 402	13	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
14 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1時間 15 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 0時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1時間 予習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 研究室: 1 号館 4 階 402		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1時間 講義内容 まとめ 15 該当する到達目標 7を図 関連分野の文献を読んでくる 0時間 1,2 復図 関連分野の文献をまとめる 1時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 7の完室: 1 号館 4 階 402 研究室: 1号館 4 階 402		講義内容	食品の	の生体調節機能 5					
iii 義 内 容 まとめ 15 該当する到達目標 1,2 予 習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 で 習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 が オフィスアワー: 随時 7 研究室: 1 号館 4 階 402	14	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間				
15 該当する到達目標 7 習 関連分野の文献を読んでくる 0 時間 1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1 時間 5 で復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 7 研究室: 1 号館 4 階 402		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる 1時 予習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 備 オフィスアワー: 随時 考 研究室: 1 号館 4 階 402		講義内容	まとめ						
予習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 備 オフィスアワー: 随時 考 研究室: 1 号館 4 階 402	15	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	0 時間				
# オフィスアワー: 随時 # 研究室: 1 号館 4 階 402		1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間				
考 研究室: 1 号館 4 階 402		予習・復習の日	不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。						
	備	オフィスアワー:随時							
メールアドレス: oumoto#takasaki-u.ac.jp(#→@)	考	研究室:1 号館 4 階 402							
JI ()		メールアドレス: oumoto#takasaki-u.ac.jp(#→@)							

-91-

	目名	及 良品未食子等以 シラバス							
	文 名		Applied food science						
-	当教員	熊倉							
時期	・単位			攻博士前期課程 1年後期 選択 2単位	tuda tamén				
講義	目標			を有機化学、生化学、分子生物学的な視点から学習し、食品加工等により生じる機 ₹とする。	能性を理解				
列之	目標								
却 连	日保			7る成カカ旬の子法とその意義について読みできる。 み、その内容について科学的な視点から考察することができる。					
				を学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
				最子主版に1万にの該博な知識と対し カイ といる。 全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
774/TT1	π ⊢ Δι								
	受与方針			養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	小心			算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 第45間は 20世界などでは、そのは思わる地域に関しているできませんがある。	ナルフ				
				奏に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ [、]	にいる。				
		3	不 養官場	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG 関連	sとの		2	1 1 1 1					
		港美 /十	·	ゴ	まっかん				
証 価	方法		は対話形式や資料を利用した解説形式が中心となる。よって講義内でのディスカッション、発表、コメント 視する(評価の 70%)。学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を充分に理解						
ат іш	7] /4		を里祝する(評価の 70%)。子朔木に誅すレホート(レホートの休息にあたっては、神我の内谷を元ガに壁解しているかを重視する)による評価 30%。						
=甲阜百1·	ーかする								
	トバック	対する 講義中の対話におけるコメントを通して、フィードバックを行う。 バック レポートに関しては、その内容のディスカッションを行う。							
2.1	11.22	ν ₁ ν		(こな、この)と3日の / インパンフコン を 11 2。					
使 用	教 材	必要に	応じて	講義資料を配布する。					
	講義「	内容 ガイタ		シス(概要、本特論の進め方、到達目標、評価方法等の確認)					
1	該当する	5到達目標	予習	配布資料をよく読む。	0.5 時間				
	1		復習	配布された資料を復習し、講義内容についてまとめる。	1 時間				
	講義「	内 容	天然物	勿から加工により生じる食品の機能性成分					
2	該当する	5到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間				
	1		復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間				
	講義に	内 容	天然特	勿から加工により生じる食品の機能性成分の分析方法					
3	該当する	5到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間				
	1,2		復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間				
	講義「	内 容	加工		•				
4	該当する	5到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間				
	1,2,3		復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間				
	講義「	内 容	in vit	ro 試験における食品の機能性評価 1(抗酸化作用)	-				
5	該当する	5到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間				
	1,2,3		復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間				
	講義「	内 容	in vit	ro 試験における食品の機能性評価 2(抗高血圧作用)	•				
6	該当する	5到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間				
	1,2,3		復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間				
			i		1				

令和5年度 食品栄養学専攻 シラバス

1,2,3 位 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時	<u></u>	P和 3 年度 長四未養子等収 クノハヘ								
1,2,3 食		講義内容	義内容 疾患モデル動物を用いた食品の機能性評価 1 (動物を用いた実験方法)							
課題の容 疾患モデル動物を用いた食品の機能性評価 2 (関与成分の同定) 2 時	7	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
8		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2,3 世帯 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 講義内容 食品におけるプロテオーム解析 1(食品からの成分の抽出) 2 時間 1,2,3 世帯 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		講義内容	疾患も	疾患モデル動物を用いた食品の機能性評価 2(関与成分の同定)						
3	8	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
9		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 議案 内容 食品におけるプロテオーム解析 2(二次元電気泳動と LC・MS/MS 分析) 10 議当する報達目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 議論する報道目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 議論する報道目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 議論する報道目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 講案 内容 食品におけるメタボローム解析 1(食品からの成分の抽出) 13 議当する報道目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 講案 内容 食品におけるメタボローム解析 2(抽出成分の分析方法) 14 議当する報道目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 講案 内容 食品におけるメタボローム解析 3(多変量解析) 14 議当する報道目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1.2.3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 議案 内容 まとめ 2 日前 2 日前 2 日前 2 日前 3 日前 3 日前 3 日前 3 日前		講義内容	食品(こおけるプロテオーム解析 1(食品からの成分の抽出)						
議義内容 食品におけるプロテオーム解析 2(二次元電気泳動と LC-MS/MS 分析) 10 接当する部庭目標	9	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
10 1.2.3 1.2.		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時 (最高 内容 食品におけるプロテオーム解析 3(データベースを用いた解析) (取		講義内容	食品(こおけるプロテオーム解析 2(二次元電気泳動と LC-MS/MS 分析)						
講義内容 食品におけるプロテオーム解析 3(データベースを用いた解析) 2 時間	10	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
11		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間 1 1 1 1 1 1 1 1 1		講義内容	食品(こおけるプロテオーム解析 3(データベースを用いた解析)						
議義内容 食品におけるメタボローム解析 1(食品からの成分の抽出) 2 時 1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時 議義内容 食品におけるメタボローム解析 2(抽出成分の分析方法) 13 該当する到達目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時 1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時 議義内容 食品におけるメタボローム解析 3(多変量解析) 14 該当する到達目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時 1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 2 時 1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時 1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 2 時 1,2 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 2 時 1,2 復習 与えられた課題について考察する。 2 時 投業の進め方:投業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時:不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「kumakura#takasakiru.ac.jp(#→@)」でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。	11	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
12		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間 ままする到達目標 良品におけるメタボローム解析 2(抽出成分の分析方法) 13 該当する到達目標 1,2,3 予習 配布文献をよく読む。 2時間 1,2,3 14 該当する到達目標 1,2,3 予習 配布文献をよく読む。 2時間 1,2,3 15 該当する到達目標 7 習 これまでの講義内容を振り返る。 1時間 1,2 15 該当する到達目標 7 習 これまでの講義内容を振り返る。 2時間 1,2 15 技業の進め方:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時:不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「kumakura#takasakiru.ac.jp(#→@)」でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。		講義内容	食品におけるメタボローム解析 1(食品からの成分の抽出)							
13 講義内容 食品におけるメタボローム解析 2(抽出成分の分析方法) 13 該当する到達目標 予習 配布文献をよく読む。 2時間 1,2,3 14 食習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間 1,2,3 15 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間 1,2 15 該当する到達目標 予習 これまでの講義内容を振り返る。 2時間 1,2 15 復習 与えられた課題について考察する。 2時間	12	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
13		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時 14 講義内容 食品におけるメタボローム解析 3(多変量解析) 15 議義内容 まとめ まとめ 15 技業内容 まとめ 15 技業の登め方: 技業はレクチャー形式および対話形式で実施する。 投業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時: 不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー: 木曜日 2 限 メール「 (備 考 メール「 (株職日 2 限 メール「 メール「 (株職日2 限 メール「 メール「 (株職日2 限 メール「 メール「 (株職日2 限 メール「 メール「 (株職日2 限 メール「 大の他の時間帯でも受け付ける。		講義内容	食品におけるメタボローム解析 2(抽出成分の分析方法)							
14講義内容食品におけるメタボローム解析 3(多変量解析)14該当する到達目標 1,2,3予習 <td配布文献をよく読む。 </td配布文献をよく読む。 9 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。2 時間 1 時間15該当する到達目標 1,2予習これまでの講義内容を振り返る。 2 時間15後習与えられた課題について考察する。2 時間授業の進め方:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時: 不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー: 木曜日 2 限 メール「 kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。	13	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
14 該当する到達目標 予習 配布文献をよく読む。 2 時間 1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1 時間 1		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2,3 復習 与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間 講義 内容 まとめ まとめ ままり返る。 2時間 1,2 復習 与えられた課題について考察する。 2時間 1,2 復習 与えられた課題について考察する。 2時間 1,2 存者の進め方:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時: 不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー: 木曜日 2 限 メール「kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。		講義内容	食品は	こおけるメタボローム解析 3(多変量解析)						
講義内容 まとめ 15 該当する到達目標 1,2 予習 これまでの講義内容を振り返る。 2 時間 1,2 2 時間 2 与えられた課題について考察する。 2 時間 2 時	14	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2 時間					
15		1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1 時間					
1,2 友習 与えられた課題について考察する。 2 時間 授業の進め方:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時:不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「 <u>kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。</u>		講義内容	まとめ							
授業の進め方:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。 予習・復習の時:不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「 <u>kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</u> でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。	15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返る。	2 時間					
予習・復習の時:不足分についてはまとめ前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「 <u>kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</u> でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。		1,2	復習	与えられた課題について考察する。	2 時間					
備 オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「 <u>kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</u> でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。		授業の進め方	7:授業(まレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質[問をする。					
オフィスアワー:木曜日 2 限 メール「 <u>kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</u> でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。	借	予習・復習の	時∶不足	分についてはまとめ前の学習等で補完すること。						
メール「 <u>kumakura#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</u> でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。		オフィスアワー	-:木曜	日2限						
研究室: 10 号館 306 研究室	.,	メール「 <u>kuma</u>	akura#1	<u>takasaki-u.ac.jp(#→@)」</u> でアポイトメントを取れば、その他の時間帯でも受け付け	る。					
		研究室: 10 号館 306 研究室								

	目 名		食品安全学特論							
英	文 名	Advanced Food Safety								
担当	当教員	村松	村松 芳多子							
時期	・単位	食品栄	養学専	攻博士前期課程	1年 前期 遺	選択 2単位				
		食品の安全と安心には、食べ物が安全であることと、食べ物が安心であることの二つの意味がある。テーマ							味がある。テーマ	
諸 義	目標	は「安全と安心」である。「安全、安心とは何か」を考え、現代社会を生きる自分が人間社会の一員で、自分が								
шт 32		何をもって食べ物を安全でかつ安心であるかを自覚することは重要である。人間は自然の一部でもあり、環								
								デオ教材、討論と		
		自分がいかに何も考えず、ただ、食べ物を口にしている(食べている)のかを自覚し、徹底的に食品の安全と								
		安心とは何かを考える。自分における「食品の安全と安心」の意義をみつける								
到達	目標			とは何かを考える とは何かを考える						
				とは何かを考える まは、安全かつ		の老ラス「合の	中央 レ中心 ロ・	+何か)について	 科学的根拠をふま	
		_		_{争は、女王がつ)} ることができる	女心かくめなだ	の方んの 良の	女主と女心」は	いりかりについて	付子の依拠でかる	
				までである。 後学全般にわた。	 ろ該捕か知識を	·身につけてい	 ろ			
				全に関する知識				つけている。		
学位授	受与方針			をに関わる生化:						
との対	応			算、栄養教育を交						
		1 :								
		✓ 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。								
SDG	sとの		2 (3 4	6	9		2		
関連				9 😈	•	•				
評価	方 法							ニ論文を仕上げる		
	対する		新聞の食品の安全・安心に関する記事をスクラップする。消費者として、健康食品等の広告より科学的根拠の							
	ドバック		記載の有無を調査する。食品の安全・安心に関する法規制に対して関心をもつ							
使用	教材		・必要に応じて配布、および紹介する。食物に関する DVD 教材を使用する ▼ 容							
4	講義		1						1 n±88	
1	1,2,3	S到達目標	予習 復習	関連資料·文献 関連資料·講読					1 時間 1 時間	
	講義			まました。 は会とその食品の		ことがもたか	 合仕迁		T h41目1	
$_2$		27 27 5到達目標	予習	関連資料・文献		のよい性につい	及工/口		1 時間	
	1,2,3		復習	関連資料・講読					1 時間	
	講義Ⅰ		1	つ安全・安心によ		 テム			2 31.03	
3		3到達目標	予習	関連資料•文献					1 時間	
	1,2,3		復習	関連資料·講読					1 時間	
	講義	内 容	生産者		エ・流通・販売	と消費者				
4	該当する	5到達目標	予習	関連資料•文南	状の講読				1 時間	
	1,2,3		復習	関連資料·講読	抗文献の要約				1 時間	
	講義	为 容	食品倪	保存と食品添加物 かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんし	勿					
5	該当する	5到達目標	予習	関連資料•文南	状の講読				1 時間	
	1,2,3		復習	関連資料·講読	売文献の要約 ・				1 時間	
6	講義	内 容	食品活	F染と健康被害						

TJA	110 十戌 艮口	口不食-	子母以 グラバス					
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	復習 関連資料・講読文献の要約 1					
	講義内容	食品と微生物制御						
7	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	微生物	物と化学物質による食中毒	•				
8	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	健康1	食品の安全性(食品と医薬品の違い)					
9	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	食品の	の安全と安心を考える 1(環境と理論)	•				
10	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	食品の安全と安心を考える 2(近代科学と現代科学)						
11	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	食品の	の安全と安心を考える 3(科学と技術)					
12	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	食品(の安全と安心を考える 4(どう生きるか、どう考えるか 1)					
13	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	食品の	カ安全と安心を考える 5(どう生きるか、どう考えるか 2)	·				
14	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1 時間				
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間				
	講義内容	まとめ	(討論·考察)	·				
15	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間				
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1 時間				
	授業の進め方	7:講義	ー 中に予習・復習課題について発表を求めることがある	·				
	◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する							
	新聞の食品の安全・安心に関する記事を収集する。消費者として、健康食品等の広告より科学的根拠の記載の有無							

を調査し、食品の安全・安心に関する法規制に対して関心をもつ

※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと

オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5 時限)

研究室:1号館4階404

教員への連絡方法は授業内で指示する

13 1	НОТ			子等以「グラバス」				
科	目 名	調理機能学特論						
英 :	文 名	Advanced Course on Functional Cookery Science						
担:	当教員	綾部 園子						
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位						
		調理学を基礎として、各種調理操作に伴って生ずる食品の呈味成分・機能性成分・物性・組織の変化を理解す						
講義	目標	るとともに、食べ物に対する人間の受容性とかかわりについて、身体的・心理的側面から考察する。講義、実						
		験、討議の一連の過程において、研究者として必要な総合的な知識・態度を修得する。						
到達	目標	1. 各	種調理	操作に伴って生ずる食品の呈味成分・機能性成分・物性・組織の変化を説明できる。				
27 25	ц ₁	2. 食べ物に対する人間の受容性とかかわりについて、身体的・心理的側面から説明できる。						
		1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
		,	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位指	受与方針		食品栄養	鬢に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	応			尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。				
				養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ っ	ている。			
		,	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
SDG	ks との		6	3				
関連								
評価	方法	テーマ	ごとに言	対論 50%、レポート 50%				
	に対する ドバック	レポー	トはルー	ーブリックを用いて評価し、コメントをつけて返却する				
#		特に指	定はした	ないが、参考書を何冊か紹介する。				
(世) 用	教 材	資料は	適宜配	布する。				
	講義「	内 容 イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法						
1	該当する	5到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する	1 時間			
	1,2		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1 時間			
	講義内容		味覚(D受容機構と閾値 講義				
2	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む。	1 時間			
	2		復習	味覚の受容機構と閾値について理解する。	1 時間			
	講義「	内 容	味覚(り受容機構と閾値 実験				
3	該当する	5到達目標	予習	実験方法を確認しておく	1 時間			
	2		復習	実験後はデータを整理しておくこと。	1 時間			
	講義「	内 容	味覚(D受容機構と閾値 データ解析・討論				
4	該当する	5到達目標	予習	実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する。	1 時間			
	2		復習	討論内容を反映して、レポートを作成する。	2 時間			
	講義「	内 容	ポリフ	ポリフェノール類やビタミン類などの抗酸化成分の調理による変化 講義				
5	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	1		復習	抗酸化成分の調理による変化について理解する	1 時間			
	講義「	内 容	ポリフ	ェノール類やビタミン類などの抗酸化成分の調理による変化 実験	T			
6	該当する	5到達目標	予習	実験方法を確認しておく	1時間			
	1		復習	実験後はデータを整理しておくこと。	1時間			
7	講義「	内 容	ポリフ	ェノール類やビタミン類などの抗酸化成分の調理による変化 データ解析・討論	1			
•	該当する	5到達目標	予習	実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する。	1 時間			

13.4	F 9 1 7 7 1 1 1	山木良丁寺久 ノグ・ハ						
	1	復習 討論内容を反映して、レポートを作成する。	2 時間					
	講義内容	ゲル状食品の物性 講義						
8	該当する到達目標	▼ 習 関連する文献を検索し、読む	1 時間					
	1	復習 ゲル状食品の物性について理解する	1 時間					
	講義内容	講義内容 ゲル状食品の物性 実験						
9	該当する到達目標	₹ 実験方法を確認しておく	1 時間					
	1	復習 実験後はデータを整理しておくこと。	1 時間					
	講義内容	ゲル状食品の物性 データ解析・討論						
10	該当する到達目標	予習 実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する。	1 時間					
	1	復習 討論内容を反映し、レポートを作成する。	2 時間					
	講義内容	咀嚼・嚥下機能と食品物性 講義						
11	該当する到達目標	▼ 習 関連する文献を検索して、内容を理解しておく	1 時間					
	1,2	復習 咀嚼・嚥下機能と食品物性について理解する	1 時間					
	講義内容	サイコレオロジー 講義						
12	該当する到達目標	予習 関連する文献を検索し、読む	1 時間					
	1,2	復習 サイコレオロジーについて理解する	1 時間					
	講義内容	サイコレオロジー 実験						
13	該当する到達目標	予習 実験方法を確認しておく	1 時間					
	1,2	復習 実験後はデータを整理しておくこと。	1 時間					
	講義内容	サイコレオロジー データ解析・討論						
14	該当する到達目標	予習 実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する。	1 時間					
	1,2	復習 討論内容を反映し、レポートを作成する。	2 時間					
	講義内容	プレゼンテーション、まとめ						
15	該当する到達目標	▶習 調理機能に関するプレゼンテーションを用意する	2 時間					
	1,2	復習 プレゼンテーションを修正し完成する	2 時間					
	授業の実施力	方法:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。						
備	記載した予習	P・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、レポート作成等の学習で補完す	ること。					
考	オフィスアワー	ー:授業日の 3~5 時限、質問はメールでも受け付ける。						
.,	メールアドレス	ス:s-ayabe#takasaki-u.ac.jp (#を@に変換してください)						
	研究室:1 号食	研究室:1 号館 4 階 406						

	和5年度 食品宋養字専攻 ンプハス									
科	目 名	栄養学特論								
英	文 名	Advanced Nutrition								
担	当教員	永井	永井 俊匡							
時期	・単位	食品第	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位							
=# #	E D +==	摂食行	う動に関	与する味覚は、栄養学における重要な一分野である。この科目では、味覚受容のし	くみと最新					
舑 莪	目標	の研究	究の展開	を理解する。研究史の流れに沿った授業の中で、研究者として必要な論理的思考も	修得する。					
到法	■目標	13. 吱	13. 味覚受容のしくみを通じて、細胞内・細胞間シグナル伝達について、説明できる。							
되 년	= 口 1本	14. 英	語の論	文を読み、その内容について討議できる。						
		1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。						
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。						
学位持	受与方針		食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。						
との対	讨応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。						
			食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ:	ている。					
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
	as ≥の		2	3 4						
関連		155300								
	方法	授業中	Pの質疑	応答 60%、レポート 40%						
	こ対する ・ドバック	レポー	-トにつし	ヽては、提出後、その内容のディスカッションを行う。						
使用	教材	講義資	資料を、前	前の週に配布する。						
	講義内容	分子生物学的な研究の基礎								
1	該当する	5到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1		復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	\$	味覚	受容機構の概論 						
2	該当する	5到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1		復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容		味覚	受容体発見の歴史 						
3	該当する	5到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1		復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容			受容体	T .					
4		5到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2 時間					
	1,2		復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容			で表す。						
5		5到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2時間					
	1,2		復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容			受容体	0 = 1 = 2					
6		5到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2時間					
	1,2	5	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
_	講義内容			受容体 「 	O. n+88					
7		5到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2時間					
	1,2		復習	与えた課題について考察する	0.5 時間					
8	講義内容	\$	塩味受容体							

77 1	7位3千尺 民間不食于守久 ノグハス							
	該当する到達目標	予習 配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2 時間					
	1,2	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	脊椎動物の味覚受容体						
9	該当する到達目標	予習 配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2 時間					
	1,2	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	細胞内シグナル伝達						
10	該当する到達目標	予習 配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	遺伝子の個人差と味覚受容の個人差の関係						
11	該当する到達目標	予習 配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	味覚の個人差の検出法						
12	該当する到達目標	予習 配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	味蕾以外に発現する味覚関連分子	•					
13	該当する到達目標	予習 配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	味覚修飾物質						
14	該当する到達目標	予習 配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	講義内容	まとめ講義						
15	該当する到達目標	予習 配布プリントをよく読んでおく	1 時間					
	1	復習 与えた課題について考察する	0.5 時間					
	授業では、事前に配布したプリントについて説明し、その中で質疑応答を繰り返して、取り扱うテーマへの理解と論							
	理性を高めてゆく。							
備	記載した予習	・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。						
+-	ナ、ニノ、護業(け、」と、担合は、ナ、ニマ、いの動画を全します。 光処は笠 1 同の護業ロオたは 寮京海奴まる							

* オンライン講義となった場合は、オンデマンドの動画を主とする。詳細は第1回の講義日または適宜連絡する。 オフィスアワー:木曜1限(農学部4階・動物生命科学研究室)。

メールアドレス:tnagai#takasaki-u.ac.jp(#→@)

科	目 名	応用栄養学特論							
英 :	文 名	Applied Nutrition							
担:	当教員	曽根	曽根 保子						
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位							
講義	┊目標	健康増進、疾病予防に効果的なエネルギー・栄養素の摂取量、組み合わせ、摂取のタイミング、及び栄養状態の評価・判定方法などに関する科学的知見を理解し、科学的根拠に基づき、栄養改善の方法について考察する。							
到達	目標			、疾病予防に効果的な栄養管理に関する具体的知見について説明できる。 処に基づき、栄養改善の具体的方法について説明できる。					
		1	食品栄養	<u>養学全般にわたる該博な知識を身につけている。</u>					
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位接	受与方針	1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		1	食品栄養	> に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて	いる。				
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG 関連	s との			3 4					
評価	i 方 法	授業内	での課	題の内容等を総合的に勘案し評価する。					
	に対する ドバック	課題の)出題意	図、評価基準についての講評を行う。					
使 用	教 材	講義に	関する	数材について、授業の中で紹介を行う。					
	講義「	内 容	研究論文に関する基礎知識						
1	該当する 1,2	該当する到達目標 1,2		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べる。	2 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「	講義内容		平価・判定に関する研究 身体計測・生化学的検査					
2	該当する 1,2	5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べる。	2 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「	内 容	栄養語	平価・判定に関する研究 食事調査					
3	該当する 1,2	S到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べる。	2 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「	内 容	エネノ	レギー・栄養素の摂取方法に関する研究					
4	該当する 1,2	5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べる。	2 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「	 为 容	たんに	ぱく質に関する研究					
5	該当する 1,2	5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べる。	2 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
6	講義「	内 容	脂質	に関する研究					

1-	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
	1,2	予習	る。	2 時間			
	1,2	復習		2 時間			
	-+ + +		講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時间			
	講義内容	小浴	生ビタミンに関する研究				
7	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	2 時間			
	1,2		る。				
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	脂溶性	生ビタミンに関する研究				
8	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	2 時間			
Ü	1,2		ే .				
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	機能	生成分に関する研究 1(食品成分)				
9	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	2 時間			
	1,2	, ,	る。	2 HJ[H]			
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	機能性	生成分に関する研究 2(食品成分)				
10	該当する到達目標	22 717	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	o r±88			
10	1,2	予習	వ 。	2 時間			
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	環境・ストレス応答に関する研究					
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	0.0+88			
11	1,2	予習	వ 。	2 時間			
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	食物アレルギーに関する研究					
4.0	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	0.8488			
12	1,2	予習	る。	2 時間			
	,	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	小児類					
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	LDD			
13	1,2	予習	వ 。	2 時間			
	,	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	妊娠の					
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
14	1,2	予習	వ 。	2 時間			
	,	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	高齢者	ちの栄養に関する研究	31.3			
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
15	1,2	予習	3 .	2 時間			
	, -	復 習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	配布した資料		後習と自主的な発展的学習を行う。				
備			、「後日こ日エロッな光版ロテーロで117。 よ、研究論文の事前学習や研究発表・レジュメ作成に関わる自習で補完する。				
考	する・後者に ういては、研究論文の事前子者や研究完表・レジュン作成に関わる自省で補元する。 場合に応じて、オンラインシステムを用いて、ディスカッションや課題提出を行う。						
.,	場合に応じて、オンプインシステムを用いて、ティスカッションや味趣提出を行う。 その場合、課題の取り組みをもって、出席とする。						
	ての場合、床庭の取り組みをもつく、山席とする。						

オフィスアワー:木曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。

メールアドレス: sone-y#takasaki-u.ac.jp(#→@)

研究室:1号館3階306

	目 名	分子生物学特論						
英 :	文 名	Special Seminar for Molecular biology						
担:	当教員	田中進						
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位						
講義	分子生物学は、コンピュータを始めとする情報科学と同様に 20 世紀に最も進歩した学問である。							
		1. 生命とは何かを説明できる。						
		2. 紐	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	青報伝達が説明できる。				
不止、大	目標	3. 遺	伝情報(D流れ、セントラルドグマが説明できる。				
到连	日保	4. L	トゲノム	計画からヒトゲノム配列がどの様にして決定されたか、(1)その歴史的背景、(2)計画	画達成の結			
		果	く、どの様	な果実が得られたか、(3)他の産業への波及効果、倫理問題などについて説明でき	る。また発			
		表	後 20 年	ほど経過した現在の諸問題について討論できる。				
				を学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
			食品安全	とに関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位招	受与方針	1	食品栄養	冬に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	応		栄養指導	算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。				
		✔ 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につ						
		栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG 関連	ls との	4						
		講義は対話形式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容を重視す						
評価	i方法	(評価の 50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を充分に理解して分						
		析が行われているかを重視する)による評価を 50%とする。						
		総合評	価 60%	以上を合格とする。				
	に対する ドバック	レポートは添削して返却する。						
使用	教 材	講義の内容はプリントを配布。						
	講義「	内 容	イント	ロダクション				
1	該当する	5到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。	1 時間			
			復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。	1 時間			
	講義「	内 容	生命と	:は何か	1			
2	該当する	3到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	1		復習	RNA、DNA、細胞の視点から生命とは何かを理解する。	1 時間			
	講義「	内 容	DNA	から細胞そして個体へ	Γ			
3	該当する	5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	1		復習	DNA、細胞、組織、器官が作り上げる個体について理解する。	1 時間			
	講義「	内 容	細胞間	明の情報伝達 1				
4		5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	2		復習	細胞間情報伝達物質の役割について理解する。	1 時間			
5	講義「	内 容	細胞間	の情報伝達 2	Г			
	該当する	該当する到達目標		プリントに目を通す。	1 時間			

73/1	110千尺 民口	1个设计	子専攻 ンフハス				
	2	復習	細胞表面タンパク質による情報伝達とギャップ結合について理解する。	1 時間			
	講義内容	セント	ラルドクマ				
6	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	3	復習	DNA→mRNA→タンパク質の遺伝情報の流れの概要を理解する。	1 時間			
	講義内容	DNA	の複製				
7	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	3	復習	DNA の半保存的複製について理解する。	1 時間			
	講義内容	転写 1					
8	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	3	復習	DNA から mRNA への転写について理解する。	1 時間			
	講義内容	転写 2					
9	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	3	復習	mRNA への発現調節について理解する。	1 時間			
	講義内容	翻訳1					
10	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	3	復習	mRNA からタンパク質への翻訳を理解する。	1 時間			
	講義内容	翻訳 2					
11	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	3	復習	タンパク質への翻訳調節を理解する。	1 時間			
	講義内容	ヒトゲノ	ノム計画の概要	•			
12	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	4	復習	ヒトゲノム計画に至る道と戦略を理解する。	1 時間			
	講義内容	ヒトゲノ	ノム計画から得られた結果について	•			
13	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	4	復習	第一次概略版の発表とその内容の意味を理解する。	1 時間			
	講義内容	ヒトゲノ	ノム計画から得られた果実				
14	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	4	復習	ゲノム診断、テーラーメイド医療、RNA 医療について理解する。	1 時間			
	講義内容	分子生	物学の未来				
15	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	4	復習	分子生物学の諸問題、現実、未来について理解する。	1 時間			
	【授業の進めて	方】予習	・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。				
	※ 2 単位を	修得する	るためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間(実質 3 時間			
備	×15回)	×15回))が必要です。不足分は各自で補完すること。					
考	オンラインで実施する場合には、別途提示する。						
	【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。研究室:1 号館 4 階 401 研究室						
	【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)						

	目 名	栄養生化学特論							
英 :	文 名	Advanced Nutrition Biochemistry							
担:	当教員	田中 進							
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位							
=# *	- 4	1. 栄養生化学の基本的知識を身に付け、栄養素の代謝全体を理解する。							
蔣 莪	目標	2. 代謝を理解する上で必要な酵素の一般的な性質について理解する。							
		1. 栄養生化学の基本的知識を身に付け、栄養素の代謝全体を説明できる。							
到達	目標	2. 酵素の一般的な性質について説明できる。							
		3. 酵素による代謝の調節機構を説明できる。							
		√ :	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
		•	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位指	受与方針	√ ;	食品栄養	鬢に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	応	:	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		1	食品栄養	≶に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	ている。				
		,	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	is との			4					
関連	i								
				式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容					
評価	i 方 法	(評価の 50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を充分に理解して分							
			析が行われているかを重視する)による評価を 50%とする。						
		総合評価 60%以上を合格とする。							
	ドバック	レポートは添削して返却する。							
使用	教材	講義の	内容は	プリントを配布。					
	講義「	为 容	イント	ロダクション					
1	該当する到達目標		予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。	1 時間				
			復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。	1 時間				
	講義「	義 内 容 人		D構成					
2	該当する	5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義「	内 容	アミノ	酸・たんぱく質の栄養生化学					
3	該当する	5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義「	内 容	糖質0	D栄養生化学	1				
4	該当する	5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間				
	講義「	内 容	脂質(D栄養生化学	1				
5		5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義「	内 容	ミネラ	ルの栄養生化学	1				
6	該当する	5到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				

ויו		1/八及 1 寸	& 2000					
	講義内容 ビタミンの栄養生化学							
7	該当する到達目標	予習 プリ	ノントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 プ	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	核酸の栄養生化学						
8	該当する到達目標	予習 プリ	リントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	酵素の一般的性質						
9	該当する到達目標	予習 プリ	ノントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	代謝の概	要と酵素					
10	該当する到達目標	予習 プリ	ノントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容							
11	該当する到達目標	予習 プリ	リントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	糖質代謝と酵素						
12	該当する到達目標	予習 プリ	ノントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	1 義 内 容 脂質代謝と酵素						
13	該当する到達目標	予習 プリ	リントに目を通す 。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	酵素による	5代謝調節機構					
14	該当する到達目標	予習 プリ	Jントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義内容	代謝と疾病	5					
15	該当する到達目標	予習 プリ	ノントに目を通す。	1 時間				
	1,2,3	復習 講	義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	【授業の進め、	5】予習·復	習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。					
	※ 2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間(実質 3 時間							
備	×15 回))が必要です。不足分は各自で補完すること。							
考	オンラインで実施する場合には、別途提示する。							
	【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。研究室: 1 号館 4 階 401 研究室							

【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)

	目名	栄養生理学特論						
英	文 名	Adva	Advanced Course on Nutritional Physiology					
担	当教員	下川	下川 哲昭					
時期	・単位	食品栄	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位					
		人体生	人体生理学を概観した後、栄養・栄養素の観点から生理機能を考察する。最後に内分泌機能の破綻である糖					
講義	目標	尿病や	尿病や消化器疾患である吸収不良症候群等を通して疾患と栄養生理学の関連性を理解することを目標とす					
		る。						
		1. 人	1. 人体の多様な機能の詳細を栄養生理学的側面から系統的に説明できる。					
到達	目標		2. 消化・吸収、栄養・代謝の破綻における疾病の特徴と発症機序について、栄養生理学を通して理解し他					
		人	に説明で	できる。				
				養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
				全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位指	受与方針	1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	讨応	-		尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 				
				養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ"	ている。			
			栄養管理	理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
	Hs との			4				
関連		****						
	5 方 法	字期末	の口頭	試問により評価する。得点率 60%以上を合格とする。				
	ドバック	提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。						
使用	教材	適時資	料、文献	武等を配布する。				
	講義	内容 体液・血液・免疫の生理学						
1	該当する	る到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間			
	講義	内容	循環•	呼吸の生理学	,			
2	該当する	る到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間			
	講義	内容内分		必·生殖の生理 学	,			
3	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間			
	講義	内容	神経生	<u> </u>	1			
4	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間			
	講義	内容	消化器	器系の生理学	1			
5	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間			
	講義	内容		器系の生理学				
6		5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間			
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間			
7	講義			表の合成・分解1 炭水化物	. = . = =			
	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間			

73.4	中和 5 中皮 艮四木食子寻攻 フノバヘ						
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	栄養素の合成・分解 2 タンパク質および脂質					
8	該当する到達目標	予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	* 養 内 容 栄養素の消化・吸収 1 炭水化物					
9	該当する到達目標	予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	栄養素の消化・吸収2 タンパク質および脂質					
10	該当する到達目標	予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	生理機能に果たす栄養素の役割 1 糖質					
11	該当する到達目標	予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	生理機能に果たす栄養素の役割2 タンパク質					
12	該当する到達目標	予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	生理機能に果たす栄養素の役割3 脂質					
13	該当する到達目標	▶ 習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	内分泌機能の破綻による疾病の栄養生理学的考察					
14	該当する到達目標	▼ 予 予 予 予 か 指定した 資料・ 論文に目を通しておく。 登場する 学術用語を理解しておく。	2 時間				
	1, 2	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2 時間				
	講義内容	消化・吸収機能の破綻による疾病の栄養生理学的考察					
15	該当する到達目標	▶ 習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	2 時間				
	1, 2	復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2 時間				
	授業の進め方	5:双方向性を重視した活発な議論による授業になるように進める。					
備	予習•復習時	間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。					
考	オフィスアワー	一:月曜日(終日)、木曜日(午前中)					
75	メールアドレス	ス:shimokawa-n#takasaki-u.ac.jp(#→@)					
	研究室:1号館	館 3 階 311 研究室					

13.1	IH O I			子等以「ジブハス」				
科	目 名	臨床	栄養学	寺論				
英:	文 名	Clin	Clinical Nutrition					
担	当教員	岡村	岡村 信一					
時期	・単位	食品	栄養学専	攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位				
藩 盖	話目 標	食と低	建康·疾病	との関わりについて、最新の論文等を用いて基礎及び臨床の両面から学習する。 ?	食は人の体			
אלר ליונו	6 11 15	を作り	人、健康や	疾病に重要役割を果たすことを理解する。				
到達	目標	_						
-, ~		2. 1	2. 食と健康・疾病との関わりの最新情報について、基礎および臨床の両面から批判的に吟味できる。					
		1	✔ 食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
		1		全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位护	受与方針	✓		養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。 				
との対	讨応	✓		算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 				
		✓		養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ [・]	ている。			
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
SDG	is との			3				
	· 5 方 法	プレも	ヹンテーシ					
課題に	こ対する	\- 		>				
フィー	ドバック	適且、	適宜、ディスカッション等を通じてフィードバックする。					
使用	教 材	資料を	を適宜配	布する。				
	講義「	内 容	食と第	é養·代謝系疾患(1)糖尿病など				
1	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内容	食と第	養·代謝系疾患(2)脂質異常症など				
2	該当する	る到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内容	食と第	é養·代謝系疾患(3)肥満など				
3	該当する	る到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内容	食と内	7分泌系疾患	T			
4	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内容	食と消	当化器系疾患(1)上部消化管疾患 				
5		る到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間			
	講義「			的化器系疾患(2)下部消化管疾患	T			
6		る到達目標		授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間			
	講義「			肖化器系疾患(3)肝・胆・膵	Т			
7		る到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間			
8	講義「	内容	食と循	5環器系疾患 (1)高血圧など				

		MILITA					
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	講義内容 食と循環器系疾患(2)虚血性心疾患など					
9	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	食と腎	肾·尿路系疾患(1)腎疾患				
10	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	食と腎	子·尿路系疾患(2)尿路系疾患				
11	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	食と神経・精神系疾患					
12	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	内容 食と呼吸器系疾患					
13	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	食と血液系疾患					
14	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	食と免	免疫・アレルギー系疾患				
15	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	本講座は、各	自の能	動的学習に基づいて進められる。予習・復習も各自積極的に行い、疑問点や課題点を	見つける			
備	ようにする。予	習·復	習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完する。				
滑	オフィスアワー	-:金曜	日の5時限				
79	研究室:1 号館	官4階4	403 研究室				
	メールアドレス	र∶okar	nura#takasaki-u.ac.jp(#→@)				

	目 名		栄養管:	T 中央 - 2 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /						
14	日右									
英:	文 名			Clinical Nutrition						
担:	当教員	長嶺	竹明、竹	内 真理						
時期	Ⅰ・単位	食品的	栄養学専	攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位						
		傷病	者の病態	や栄養状態の特徴に基づいて、栄養ケアのプロセスを設定できるスキルを、クリ	ニックにおけ					
講義	ま目 標	る実践	美演習を は	通して身につける。また、栄養食事指導において、傷病者の QOL を損なうことな	く栄養療法を					
				戦と技術を身につける。 						
				における傷病者の様々な病態を把握し、疾病に応じた栄養ケアのプロセスを設	定できるスキ					
			ルを修得する。							
到達	1 目標	-								
			を実践できる力を修得する。							
		_		療において、管理栄養士に役割を果たし、活躍できる力を養う。						
		✓		奏学全般にわたる該博な知識を身につけている。						
				全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。						
	受与方針			冬に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。						
との対	列心	1		算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 第45間は 25間間も77間に、200世間が1977に関われば、200世間が1977に関われる	L-1.7					
		/		冬に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につい の声間	すている。					
an a		✓	木食官	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
関連	SDGs との		2 3 4 8							
	: 	レポート 70%、平常点 30%								
	こ対する	7/1	- 1 1070C 1 113/K 0070							
	ドバック	レポー	ポートにコメントを付けて返却する。							
使用	割教 材		よる)、病態栄養ガイドブック(メディカルビュー社)、栄養ケアプロセス理論・活用・症例(建帛社)							
	講義	内 容	疾病の	D診療ガイドラインと治療ガイドに基づく栄養食事療法						
1	該当する	5到達目標	予習	臨床栄養学の復習をする	1.5 時間					
	1		復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間					
	講義	为 容	疾病(D栄養食事療法による治療目的						
2	該当する	5到達目標	予習	各疾病の診療ガイドラインおよび治療ガイドに目を通す	1.5 時間					
	1		復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間					
	講義	内 容	傷病	きの病態および栄養状態の把握. 栄養スクリーニングと栄養アセスメント						
3	該当する	5到達目標	予習	栄養スクリーニング、栄養アセスメントの手技と評価を復習する	1.5 時間					
	1		復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間					
	講義	内 容	疾病(の栄養食事療法・個人栄養指導のプロセス①						
4	該当する	5到達目標	予習	症例のデータを収集する	1.5 時間					
	1,2		復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間					
	講義	内 容	疾病の	の栄養食事療法・個人栄養指導のプロセス②						
5	該当する	5到達目標	予習	症例の指導案および媒体の準備	1.5 時間					
	1,2		復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間					
6	講義	内 容	疾病の	の栄養食事療法・個人栄養指導のアウトカム①						
	該当する	る到達目標	予習	症例のモニタリング項目をまとめる	1.5 時間					

11 1		コハ及				
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	疾病の	D栄養食事療法・個人栄養指導のアウトカム②	<u> </u>		
7	該当する到達目標	予習	症例の継続指導についてまとめる	1.5 時間		
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	疾病の				
8	該当する到達目標	予習	集団指導の企画・運営を考える	1.5 時間		
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	疾病の	の栄養食事療法・集団栄養指導のプロセス②			
9	該当する到達目標	予習	集団指導の準備、媒体の準備	1.5 時間		
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	疾病の	の栄養食事療法・集団栄養指導のアウトカム①			
10	該当する到達目標	予習	集団指導の評価とフィードバックについて考える	1.5 時間		
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	疾病の	の栄養食事療法・集団栄養指導のアウトカム②			
11	該当する到達目標	予習	集団指導のシステムの評価について考える	1.5 時間		
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	モニタリングと評価、フィードバック				
12	該当する到達目標	予習	個人指導、集団指導について結果をまとめる	1.5 時間		
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	ウリニック管理栄養士の役割				
13	該当する到達目標	予習	管理栄養士の役割について考える	1.5 時間		
	3	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	チーム	ム医療での管理栄養士			
14	該当する到達目標	予習	チーム医療のなかで管理栄養士の役割について考える	1.5 時間		
	3	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	講義内容	まとめ	と発表			
15	該当する到達目標	予習	発表のためのまとめ	1.5 時間		
	1,2,3	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間		
	予習復習時間	はレポ	ート作成のための学習で補完すること。			
備	オンラインで実施する場合:状況に応じ、講義内容、評価方法、試験は変更することがある。					
考	オフィスアワー: 木曜 2-4 限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける。					
	メールアドレス	र ∶mtal	keuchi#takasaki-u.ac.jp(#→@)			
	VI					

	目 名	食育と	食育と精神保健特論				
英 :	文 名	Mental health and education of eating attitudes					
担:	当教員	上原	上原 徹				
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位					
		2005	年に成立した食育基本法では、食は生きるための基本的な行動であり、食に関する知識	め教育が、心			
講義	目標	身の発	を達に重要であると明確に宣言された。学生が、メンタルヘルスと食との関連や、さまざる	まな精神・心身			
		の問題	夏と「食」との密接な関係について学び、自ら考察できるようになることを目標とする。				
		1. 人	間にとっての食の意味を多面的に理解できる				
		2. 食に関わるメンタルヘルス課題を説明できる					
到達	目標		「食障害について解説できる				
			神疾患と食行動との関連を説明できる				
		1	と文化、人間関係と食行動との関係、現代社会の抱える食の問題に視野を広げられる				
			食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
			食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
	受与方針		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	応		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。				
			食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につ	けている。			
		,	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
SDG 関連	is との			16			
		- 「講義への出席 3 分の 2 以上」、授業への参加態度 40%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 60					
評価	i 方 法	等を総合的に勘案し評価する。					
	こ対する ドバック	レポー	-トについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックす	ర ం			
#							
使用	教 材	ス—摂	食障害をめぐる物語、上原徹、星和書店など)				
	講義	内 容	ヒトや動物の食行動について				
1	該当する	5到達目標	予 習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義	内 容	食に関わる生理機能や脳機能				
2	該当する	5到達目標	予 習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,2		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義	内 容	心身医学的病態と食行動				
3	該当する	5到達目標	予 習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,4		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる				
	講義	内 容	精神医学的な疾患と食行動				
4		5到達目標	き習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,4		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間			
	講義	内 容	マインドフルな食と心				
5	該当する	5到達目標	予習 あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間			
	1,5		復習 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1時間			
6	6 講義内容		摂食障害特論① 診断と症状				

<u> 73</u> 4	TO 十尺 尺口	1个设	子等攻。シラバス	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
講義内容 摂食障害特論② 病態と合併症				
7	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	。 章害特論③ 歴史と疫学	
8	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	· 章害特論④ 病因と経過	
9	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	章害特論⑤ 心理社会要因	•
10	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	· 章害特論⑥ 生物身体要因	
11	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	・ 章害特論⑦ 子どもの摂食問題	
12	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	・ 章害特論⑧ 治療と支援	
13	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	摂食	章害特論③ 社会的課題、スポーツとの関連	
14	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
	講義内容	まとめ		
15	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間
	1,2,3	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間
	講義前には、	担当に	該当する教科書の内容を読んでおくこと。講義の後に「関連文献」や「関連書籍」を伝	えるので、
備	それを読み関	心を高	めること。	
ヶ	記載した予習	∙復習問	計間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。	
77	オフィスアワー	-:前後	期ともに月曜5限、金曜5限とする。連絡先については授業で提示する。	
	研究室:1号館	官5階	501 研究室	

	目 名		教育学	・ サダーン バス			
英 :	文 名	Nutri	Nutrition Education				
担:	当教員	木村,	典代				
時期	・単位	食品栄	養学専	攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位			
講義	講義目標本講		ななライフステージ・ライフスタイルにおいて求められる食行動変容をエコロジカルモデルに基づいて考察 る力を身につけ、それぞれの対象にあった栄養教育方法を提案することができる。 講義では、授業期間を通して、食行動と食環境に関する文献や実例にあたりながら、批判的視点をもって				
到 達	直目標	1. 工 2. 食					
				養学全般にわたる該博な知識を身につけて い る。			
				全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。			
学位招	受与方針		食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。			
との対	讨応	1	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。			
			食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	ている。		
		1	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDG	Hs との			2 0			
関連	3 4 連						
評価	方法		文献紹介・文献講読および対話・発表を行う。 授業中の発言や発表内容などの授業態度(80%)、レポートの提出(20%)にて成績評価を行う。				
	こ対する ドバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。					
使用	教 材	特に指	定はした	はい。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。			
	講義	内容	行動和	科学理論・モデルと栄養教育 個人の行動変容 1			
1	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を読む	1.5 時間		
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義	内 容	行動和	斗学理論・モデルと栄養教育 個人の行動変容 2			
2	該当する	る到達目標	予習	関連する文献を読む	1.5 時間		
	1		復 習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義	内容 行動		斗学理論モデルと栄養教育 個人間における行動変容 1			
3	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を読む	1.5 時間		
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義	内容	行動和	斗学理論モデルと栄養教育 個人間における行動変容 2	_		
4	該当する	る到達目標	予習	関連する文献を読む	1.5 時間		
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義	内容	行動和	科学理論モデルと栄養教育 組織における行動変容 1			
5		5到達目標	予習	関連する文献を読む	1.5 時間		
	1,2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義	内容	行動和	斗学理論モデルと栄養教育 組織における行動変容 2			
6		る到達目標	予習	関連する文献を読む	1.5 時間		
	2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		

	P和 0 年度 良田木食子等攻 ラグバス				
	講義内容	ケーススタディで考える 学校の食育シーンにおける食行動変容 1			
7	該当する到達目標	予習 関連する文献を読む	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	ケーススタディで考える 学校の食育シーンにおける食行動変容2			
8	該当する到達目標	▼習 関連する文献を読む	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	ケーススタディで考える スポーツシーンにおける食行動変容 1			
9	該当する到達目標	予習 関連する文献を読む	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	ケーススタディで考える スポーツシーンにおける食行動変容 2			
10	該当する到達目標	▶ 習 関連する文献を読む	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	ケーススタディで考える スポーツシーンにおける食行動変容3			
11	該当する到達目標	▶習 関連する文献を読む	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	ケーススタディで考える 職域 1			
12	該当する到達目標	予習 関連する文献を読む	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	ケーススタディで考える 職域2			
13	該当する到達目標	予習 ケースを考えてくる	1.5 時間		
	3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	食行動変容を促す行動経済学 ナッジを用いた戦略 1			
14	該当する到達目標	予習 ケースを考えてくる	1.5 時間		
	1,2,3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	講義内容	食行動変容を促す行動経済学 ナッジを用いた戦略2			
15	該当する到達目標	予習 ケースを考えてくる	1.5 時間		
	1,2,3	復習 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間		
	オフィスアワー	ー:講義のある日は、事前にメール連絡があれば対応可			
備	授業の実施方法:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する				
考	オンラインで打	受業を実施する際の変更点:大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実	施方法を通知する		
	研究室:1 号館	館 301 研究室 問い合わせ先: kimura#takasaki-u.ac.jp(#→@)			

科	目 名	保健情	保健情報学特論					
英 :	文 名	Healt	Health Informatics					
担	当教員	渡辺 6	由美					
時期	・単位	食品栄	養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位					
講義	栄養教育、栄養指導、公衆栄養活動を効果的に実践するには、多角的視野から情報を収集し、 を適切に分析・判断する能力が必要である。本講義では、地域、学校、職場等の人間集団を対 態、食生活や栄養状態を評価するための疫学的方法論や結果を適切に評価するための統計 *** *** *** ** ** ** ** ** **							
		するための応用力を養う。 配付資料で説明し、コンピュータを使った演習を行う。 理論と実践的な技術の習得の両方を重視した講義とする。						
			品栄養学分野の情報を適切な統計処理方法を用いて分析できる。					
到達	目標		られた結果を適切に考察できる。					
			頼度の高い情報の収集と評価について説明できる。					
		ļ <u> </u>	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
			食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
	受与方針							
との対	邡							
		✓ 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。						
		✓ 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG 関連	ls との !	3						
評価	方法	課題に	課題に対する学習意欲 20%、レポートの内容 80%などで総合的に評価する。					
	こ対する ドバック	課題レ	ポートにコメントを付けて返却する。					
使 用	教材	資料は	適宜配布する。					
	講義	内容	オリエンテーション					
1	該当する	る到達目標	▶習 シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する	1.5 時間				
	1		復習 授業内容を整理する	1.5 時間				
	講義	内容	記述統計(講義)	_				
2	該当する	5到達目標	▼習 事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間				
	1,2		復習 授業内容を整理する	1.5 時間				
	講義	内 容	記述統計(演習)					
3	該当する	る到達目標	▼習 事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間				
	1,2		復習 授業内容を整理する	1.5 時間				
	講義	内 容	区間推定(講義)					
4	該当する	る到達目標	▼習 事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間				
	1,2		復習 授業内容を整理する	1.5 時間				
	講義	内容	区間推定(演習)					
5	該当する	る到達目標	予習 事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間				
	1,2		復習 授業内容を整理する	1.5 時間				
6	講義	内容	仮説検定の考え方					

	7410年度 良品木食子等以 グラバス					
	該当する到達目標	🄫 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	2群の比較(データに関連がない場合)(演習)	•			
7	該当する到達目標	🅫 🕆 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	2 群の比較(データに関連がある場合)(演習)				
8	該当する到達目標	🅫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	3群以上の比較(演習)	·			
9	該当する到達目標	🅫 🕆 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	相関分析(演習)	·			
10	該当する到達目標	🄫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	単回帰分析(演習)				
11	該当する到達目標	🄫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	重回帰分析(演習)				
12	該当する到達目標	🄫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	1,2	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	研究倫理について				
13	該当する到達目標	🄫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	3	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	研究の質の評価				
14	該当する到達目標	🄫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	3	復習 授業内容を整理する	1.5 時間			
	講義内容	EBN 関連資料の講読・討論				
15	該当する到達目標	🄫 🎖 事前に示すキーワードや専門用語について	調べ理解する 1.5 時間			
	3	復習 討論内容を整理する	1.5 時間			
	関連分野の論	文を精読し、統計手法の活用方法について理解を深	める。			
備	オフィスアワー:月曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。					
考	研究室:1 号館 3 階 304 研究室					
	メールアドレス	: wyumi#takasaki-u.ac.jp(#→@)				

		中皮 良的木食子専攻 シブハス							
科	目 名	食品的	F養字	総合演習 I					
英 :	文 名		Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I						
担:	当教員	下川:	下川 哲昭						
時期	・単位	食品栄	養学専	攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位					
		栄養生	栄養生理学領域における研究法とその実際について自身の研究テーマを選び研究を遂行し研究成果につな						
		げる。な	持に以て	Fの 3 点に焦点をあてて講義と研究を行う。					
講義	ま目 標	1. 乳	汁中の	ホルモンによる育児行動の解析					
		2. 先	2. 先天性脊椎側弯症における胎児期の栄養素について						
		3. 細	3. 細胞分化因子 EID1 の脂質代謝における抑制機能						
죄 幸	目標	1. 研	究の醍	醐味を味わい、新たな環境でも自分で研究を遂行できる能力を確立することを目標と	<u>-</u> する。				
r) Æ	= 11 1x	2. 自	身の研	究成果を英文への学術雑誌に投稿・掲載することを目指す。					
		√	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位指	受与方針	1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	讨応	✓	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		1	食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ゛	ている。				
			栄養管理	理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	Ss との			4					
関連	į			•					
評価	方法	学年末	の口頭	試問により評価する。得点率 60%以上を合格とする。					
課題に対する 提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。			題に対して、採点しコメントを付して返却する。						
	ドバック	* 立口士 : 体	73/31 -4						
使用	教材			ば等を配布する。 はらのなよ見がなこと					
-	講義「			とは?イントロダクション	1 n+88				
1		る到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間				
	講義「			とは?研究方法について	1 4 0+88				
2		5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義「			対象における現在までの既知情報	4 5400				
3		5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間				
	講義「			対象における現在までの既知情報の収集法					
4		5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間				
_	講義「			ゴールの設定					
5		5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1,2		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間				
	講義「	内容		実験の必要性 	T -				
6	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間				
7	講義「	内容	動物3	実験を行う上での規則と注意点					

該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 実験動物の扱い方:マウス、ラット 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間 1時間 1時間 1時間					
ま議 内容 実験動物の扱い方:マウス、ラット 8 該当する到達目標 (2) 要	1時間 1時間 1時間					
8 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 調業内容 細胞培養法とは? 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 調業内容 細胞培養の種類と準備 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間					
1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 3 講義内容 細胞培養法とは? 5 下習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1 調義内容 細胞培養の種類と準備 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間					
第 義 内容 細胞培養法とは? 1 東習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 東部 一次の指義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1 議議内容 細胞培養の種類と準備 1 東部 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 東部 アントの指定した資料・論文に目を通しておく。 1 東部 市場・計画を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間					
9 該当する到達目標 1 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 調義内容 細胞培養の種類と準備 該当する到達目標 1 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。						
1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 10 講義内容 細胞培養の種類と準備 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。						
講義内容 細胞培養の種類と準備 10 該当する到達目標 (2) 習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。						
10	1 時間					
1 復習 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。						
	1 時間					
講義内容 細胞培養法の確立	1 時間					
11 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間					
1 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間					
講義内容 遺伝子導入法とは?	遺伝子導入法とは?					
12 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間					
1 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間					
講義内容 遺伝子導入法の種類と準備						
13 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間					
1 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間					
講義内容 遺伝子導入法の確立	カ 容 遺伝子導入法の確立					
14 該当する到達目標 予習 予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	2 時間					
1 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2 時間					
講義内容 これまでのまとめ						
15 該当する到達目標 予習 これまでの講義内容から実験法のプロトコールを作成しておく。	2 時間					
1,2 講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2 時間					
演習の進め方:自主性を重視し実践的な考え方・技術を習得できるように指導する。						
予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。	予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。					
オフィスアワー:月曜日(終日)、木曜日(午前中)	ŀ					
メールアドレス: shimokawa-n#takasaki-u.ac.jp(#→@)						
研究室: 1 号館 3 階 311 研究室						

19.1	ППОТ	IX IX	HI / R	子等以、グラバス				
科	目 名	食品	食品栄養学総合演習 [
英:	文 名	Sem	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I					
担:	当教員	岡村 信一						
時期	・単位	食品	栄養学専	攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位				
護業	目標	1. 5	1. 生命科学と栄養科学に関する最新の学術論文・情報を収集する。					
讲 我	日保	2. ⁴	又集したち	学術論文·情報を吟味して考察する。				
到读	目標	1.	1. 自身の問題解決に必要となる学術論文・情報を必要十分に収集できる。					
刘廷	: 口 1示	2. ⁴	2. 収集した学術論文・情報を、批判的に吟味して考察できる。					
		✓	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
		✓	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位指	受与方針	✓	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	応	1		尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。				
		✓		養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	けている。			
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
	is との			3				
関連		ــ ا℃		ノョン 50%、ディスカッション 50%の状況から総合的に成績を評価する。				
	方法	ノレヤ	シンナーシ	/3/2 80%、アイスパッション 80%の人がから総合的に放痕を評価する。				
	こ対する ドバック	適宜、	適宜、ディスカッション等を通じてフィードバックする。					
使用	教材	担当	教員から!	別途指示する。				
	講義「	为 容	問題解決に必要な学術論文について学ぶ。					
1	該当する到達目標		予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1,2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内 容	問題	解決に必要な学術論文の収集方法について学ぶ。				
2	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内 容	問題的	解決に必要な学術論文の整理・保存について学ぶ。				
3	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内 容	問題無	解決に必要な学術論文以外の情報について学ぶ。				
4	該当する	る到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講,2 義	内容	問題	解決に必要な学術論文以外の情報の収集方法について学ぶ。				
5	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間			
	1		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間			
	講義「	内 容	問題的	解決に必要な学術論文以外の情報の整理·保存について学ぶ。 				
6	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間			
	1		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義「	内 容	生命和	科学に関する科学知識を取り上げ、関連する学術論文・情報を収集する。				
7	該当する	5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間			
8	講義「	内 容	前回	又集した学術論文・情報を批判的に吟味・考察する。				

令和5年度 食品栄養学専攻 シラバス

令和	和5年度 食品	古宋養'	字専攻 シラバス					
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	講義内容 栄養科学に関する科学知識を取り上げ、関連する学術論文・情報を収集する。						
9	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	前回山						
10	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	自身(カウェア・ファイ					
11	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	■ 自身の専攻テーマに関連した情報を収集する。						
12	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	収集した学術論文・情報を批判的に吟味・考察する。						
13	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	収集l	- - -た学術論文・情報をさらに批判的に吟味・考察する。					
14	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義内容	収集l						
15	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	本講座は、各	自の能	動的学習に基づいて進められる。予習・復習も各自積極的に行い、疑問点や課題点	を見つける				
	ようにする。	P習·復	習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完する。	生命科学と				
備	栄養科学に関	連する	最新の情報に対して、日常生活でも常に注意を向ける。また、専攻分野以外の科学	約知見に				
滑	ついても注意	を払う。						
73	オフィスアワー	-:金曜	日の5時限					
	研究室:1 号食	官4階	403 研究室					

メールアドレス:okamura#takasaki-u.ac.jp(# \rightarrow @)

13.1	ПРОТ			子等以、シブハス				
科	目 名	食品栄養学総合演習 I						
英:	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I					
担:	当教員	渡辺 由美						
時期	・単位	食品第	養学専:	攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位				
講義	: 目標	法を修事前に	得する。	た学術論文の要約を作成し、授業では、論文内容のディスカッションを通して論文				
				マに関連した文献を収集することができる。				
到 達	目標	2. 以	集した国	国内外の学術論文について、内容を正確に読み取り、要約を説明することができる	0			
			食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位指	受与方針		食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	协応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。				
		1	食品栄養	ととというというできます。 その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	けている。			
		1	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
SDG 関連	is ≥s		•	3				
評価	方法	レポー	-トの提出	比 50%や教員とのディスカッション 50%で理解度を総合的に評価する。				
	こ対する ドバック	ディスカッション時のコメントや課題提出物に対するコメントを通じてフィードバックを行う。						
使用	教材	別途指	示する					
	講義	为 容	研究	テーマと文献検索				
1	該当する到達目標		予習	シラバスの内容を読んで、目標などを理解する	0.5 時間			
	1		復習	授業内容を整理する	0.5 時間			
	講義	内 容	関連ス	文献の収集	_			
2	該当する	5到達目標	予習	文献の整理	1 時間			
	1		復習	関連する知識や情報を調べる	1時間			
	講義	内 容	関連ス	文献(1)の精読と討論				
3	該当する	5到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2		復習	関連する知識や情報を調べる	1時間			
	講義	为 容		文献(1)の参考文献の精読と討論				
4		5到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2		復習	関連する知識や情報を調べる	1時間			
	講義			文献(2)の精読と討論				
5		5到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2		復習	関連する知識や情報を調べる	1時間			
	講義			文献(2) の参考文献の精読と討論				
6		5到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2		復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
7	講義		関連ス	文献(3)の精読と討論	1 ==			
	該当する	該当する到達目標		収集した論文を読んでくる	1.5 時間			

111	7年3年度 民間不食子寺以 クグバス						
	2	復 習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連ス	文献(3)の参考文献の精読と討論				
8	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連ス	文献(4)の精読と討論				
9	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連ス	文献(4) の参考文献の精読 と討論				
10	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連ス	文献(5) の 精読と討論				
11	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連文献(5)の参考文献の精読と討論					
12	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連ス	文献(6)の精読と討論				
13	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	関連ス	文献(6) の参考文献の精 読と討論				
14	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間			
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間			
	講義内容	先行	研究のまとめ				
15	該当する到達目標	予習	精読した論文の整理	1 時間			
	2	復習	討論内容の整理	1 時間			
	予習・復習の	不足分	こついては、関連分野の新聞記事やニュースに関心をもち、専門知識を自主的に調	べるなどで			
冼	補完する。						
備考	オフィスアワー	-:月曜	日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。				
与	研究室:1 号館	第3階	304 研究室				
	メールアドレス: wyumi # takasaki-u.ac.jp (#→@)						

-124-

	目 名	食品	食品栄養学総合演習I					
英:	文 名	Sem	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I					
担:	当教員	田中	田中 進					
時期	・単位	食品	於養学専	攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位				
講義	目 標	研究	テーマに	関連した学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解する。				
		1. 街	デアー マ	てに関連した学術論文の収集を行うことができる。				
到達	目標	2. 矿	2. 研究テーマに関連した学術論文の精読を行うことができる。					
		3. 石	3. 研究テーマに関連した学術論文の研究背景を理解することができる。					
		1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位指	受与方針	✓		冬に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	协応			算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 				
		✓		≶に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて	こいる。			
		√	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。				
SDG 関連	ls との		•	3 4				
		講義に	は対話形	式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容	 を重視する			
/				。)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を充分に理解して分				
部 位	5 方法	析が行	うわれて	いるかを重視する)による評価を 50%とする。				
		総合詞	総合評価 60%以上を合格とする。					
課題に対する フィードバック レポートは添削して返却する。			ルて返却する。					
使用	教 材	別途打	旨示をする	3 .				
	講義	内 容	研究方	テーマの背景				
1	該当する	該当する到達目標		配布したプリントを読んでくる。	1 時間			
	3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義	講義内容		倫文の検索方法と収集方法				
2	該当する	る到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。	1 時間			
	1		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義	内容	学術語	論文の構成について				
3	該当する	る到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。	1 時間			
	1,2		復 習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義	内容	学術語	命文 1報目の検索				
4	該当する	る到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間			
	1,2		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義	内容	学術語	命文1報目の精読				
5		5到達目標	予習	学術論文1報目を精読してくる。	1 時間			
	2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義	内容		余文 1 報目の発表と討論 				
6		5到達目標	-	学術論文1報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間			
	2,3		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
7	講義	内容	学術語	倫文 2 報目の検索と精読				

<u></u> 1	TIOTE DE	一个文	子守攻、クノハヘ				
	該当する到達目標	予習	学術論文2報目を精読してくる。	1 時間			
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術語	倫文 2 報目の発表と討論				
8	該当する到達目標	予習	学術論文2報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間			
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術論文3報目の検索と精読					
9	該当する到達目標	予習	学術論文3報目を精読してくる。	1 時間			
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術語	ー 倫文 3 報目の発表と討論				
10	該当する到達目標	予習	学術論文3報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間			
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術詞	ー 倫文 4 報目の検索と精読				
11	該当する到達目標	予習	学術論文4報目を精読してくる。	1 時間			
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術語	倫文 4 報目の発表と討論				
12	該当する到達目標	予習	学術論文4報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間			
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術論文 5 報目の検索と精読					
13	該当する到達目標	予習	学術論文5報目を精読してくる。	1 時間			
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	学術語	倫文 5 報目の発表と討論				
14	該当する到達目標	予習	学術論文 5 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間			
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	講義内容	精読し	した学術論文のまとめ				
15	該当する到達目標	予習	精読した論文のまとめを行ってくる。	1 時間			
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間			
	【授業の進め】	方】予習	・・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。				
	※ 2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間(実質 3 時間						
備	×15回))が必要です。不足分は各自で文献収集を行い、精読してその研究背景を調べること。						
考	オンラインで	実施す	る場合には、別途提示する。				
	[+	1-26-4	四(小,4 味明日) 络如(小,4 味明日) 研究宗, 1 日龄 4 陇 401 研究宗				

【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。研究室: 1 号館 4 階 401 研究室

【メールアドレス】 tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)

	目 名	食品等	食品栄養学総合演習 I						
英:	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I						
担:	当教員	木村	木村 典代						
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位							
		栄養教	栄養教育分野の新規知見や課題を理解し、食行動、食環境に関する調査方法や評価方法を用いて、関連課						
= = =	話目 標	題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。							
神 我	5 口 1 示	総合演	総合演習 I では、授業期間を通して、研究テーマを遂行し成果につなげるために必要な研究や実践例をとり						
		あげ、	あげ、批判的視点をもってディスカッションする能力を身につけることを目標とする。						
		1. 研	究テーマ	マに関連した国内外の学術論文を収集し精読できる					
到達	目標	2. 研	究テー	マに関連した国内外の学術論文のデータを正しく解釈することができる					
		i i		マに関連した国内外の学術論文の論点を把握することができる					
		-		養学全般にわたる該博な知識を身につけている。 					
		-		全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位指	受与方針	-		養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。 					
との対	协応			算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 					
		-		養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて	ている。				
		√	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
	is との			3 4					
関連	!	1 4567	★k幻人 - ☆★=無言キャ、ト プウ、ト言チ - & 宇 ナ 仁こ						
評価	方法		文献紹介・文献講読および対話・発表を行う。						
-mea.		授業中の発言や発表内容などの授業態度(80%)、レポートの提出(20%)にて成績評価を行う。							
	こ対する ドバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。							
使用	教 材	特に指	定はした	はい。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。					
	講義「	内容	関連語	倫文の検索と収集方法について					
1	該当する	5到達目標	予習	関連論文を調べてくる	1.5 時間				
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内 容	関連語	倫文の基本構成について					
2	該当する	る到達目標	予習	関連論文を調べてくる	1.5 時間				
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内容	総説	1 報目の精読					
3	該当する	る到達目標	予習	総説1報目を精読してくる	1.5 時間				
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内容	総説	1 報目のディスカッション					
4	該当する	る到達目標	予習	総説1報目の論点を抽出してくる	1.5 時間				
	2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内容	総説 2	2 報目の精読					
5	該当する	る到達目標	予習	総説2報目を精読してくる	1.5 時間				
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内容	総説 2	2 報目のディスカッション					
6	該当する	る到達目標	予習	総説2報目の論点を抽出してくる	1.5 時間				
	2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				

		1	142 27 W				
	講義内容	総説	3報目の精読	T			
7	該当する到達目標	予習	総説3報目を精読してくる	1.5 時間			
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	総説	3 報目のディスカッション				
8	該当する到達目標	予習	総説3報目の論点を抽出してくる	1.5 時間			
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 1 報目の精読・ディスカッション					
9	該当する到達目標	予習	関連論文 1 報目を精読してくる	1.5 時間			
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	研究	テーマに関連した学術論文 2 報目の精読・ディスカッション				
10	該当する到達目標	予習	関連論文2報目を精読してくる	1.5 時間			
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	研究	テーマに関連した学術論文 3 報目の精読・ディスカッション				
11	該当する到達目標	予習	関連論文3報目を精読してくる	1.5 時間			
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 4 報目の精読・ディスカッション					
12	該当する到達目標	予習	関連論文4報目を精読してくる	1.5 時間			
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	研究	テーマに関連した学術論文 5 報目の精読・ディスカッション				
13	該当する到達目標	予習	関連論文5報目を精読してくる	1.5 時間			
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	精読し					
14	該当する到達目標	予習	精読した関連論文の論点をまとめてくる	1.5 時間			
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
	講義内容	精読し	た研究論文のまとめつづき				
15	該当する到達目標	予習	精読した関連論文の論点をまとめてくる	1.5 時間			
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間			
供	オンラインで持	受業を実	- ミ施する際の変更点:大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実施方法を	通知する。			
備考	オフィスアワー	-:講義	のある日は、事前にメール連絡があれば対応可				
75	研究室:1 号館	官301百	研究室 問い合わせ先:kimura#takasaki-u.ac.jp(#→@)				

	目 名	食品	食品栄養学総合演習 [
英 :	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I							
担:	当教員	村松 芳多子								
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位								
=# **		食物に	関わる	広範囲な栄養学と食品学等に関する内容(研究課題)の一端を健康や疾病との関れ	りりから模索					
講義	目標	し、人間栄養学・実験栄養学の研究手法を用いて分析・評価・検討する								
		『何を覚えるかではなくて、どうやって考えるかという方法を習得し、「君たちはどう生きるか(吉野源三郎)」								
		考える。方法を見つける力があるならば、初めて出会った現象でも、これを探求するための方法を自分の								
到達	目標	で考え	出すことができる(石川伊織)』を実践する							
27 25	- U 1/A	1. E	3本語学	術論文を読むことができる						
				術論文を要約し、結論について考察することができる						
				理的にまとめることができる						
		-		養学全般にわたる該博な知識を身につけている。 						
				全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。						
	受与方針			養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけて い る。						
との対	协応	-		算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 	_					
				養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	ている。					
		✓	栄養管理	理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG 関連	is との		2	3 4 6 9						
	· 方法	提出す		(レポート)で評価する(100%)						
課題に	こ対する									
フィー	ドバック	提出課題に対し、コメント等をつけて返却する								
使 用	教材	必要に	応じて酉	記布する						
	講義「	内 容	概要(講義の進め方)						
1	該当する	5到達目標	予習	「君たちはどう生きるか」を読む	1 時間					
	1,2,3		復習	「君たちはどう生きるか」の読んだ箇所の要約と感想	0.5 時間					
	講義「	为 容	テーマ	マの立て方 1(解説)						
2	該当する	5到達目標	予習	「君たちはどう生きるか」を読む	1 時間					
	1,2		復習	君たちはどう生きるか」の読んだ箇所の要約と感想	0.5 時間					
	講義「	内 容	テーマ	マの立て方 2(実践) 						
3		5到達目標	予習	「君たちはどう生きるか」を読む	1 時間					
	1,2		復習	君たちはどう生きるか」の読んだ箇所の要約と感想	1 時間					
	講義「			かかける 1 (解説:文献検索方法等)						
4		5到達目標	予習	文献検索・文献収集	1 時間					
	1,2,3		復習	文献整理(分類と要約)	1 時間					
	講義「			の仕方 2(実践 1) 「 ************************************	4 n+00					
5		5到達目標	予習	文献検索・文献収集	1時間					
	1,2,3		復習	文献整理(分類と要約)	1 時間					
	講義「			の仕方 3(実践 2) 「 なまりなま、なまりは	1 11+88					
6		5到達目標	予習	文献検索・文献収集	1 時間					
	1,2,3		復 習	文献整理(分類と要約)	1 時間					

11 1	日日十尺 民日	山人区	14% 27 17			
	講義内容	資料•	素材の分析 1(解説)			
7	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間		
	1,2,3	復習	図表の作成	1 時間		
	講義内容	資料•	-素材の分析 2(実践 1)			
8	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間		
	1,2,3	復習	図表の作成	1 時間		
	講義内容	資料•	-素材の分析 3(実践 2)			
9	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1時間		
	1,2,3	復 習	図表の作成	1 時間		
	講義内容	素材の	の配置 1(解説)			
10	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間		
	1,2,3	復習	図表の作成・工夫	1 時間		
	講義内容	素材の	の配置 2(実践)			
11	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間		
	1,2,3	復習	図表の作成・工夫	1時間		
	講義内容	文章を書く1(構想)				
12	該当する到達目標	予習	構想の箇条書き	1 時間		
	1,2,3	復習	構想の確認と文章(下書き)を書く	1 時間		
	講義内容	文章	を書く2(下書き)			
13	該当する到達目標	予習	下書き文章の確認	1時間		
	1,2,3	復習	文章の修正	1 時間		
	講義内容	文章	を書く3(清書)			
14	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間		
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1 時間		
	講義内容	文章(の完成(提出)			
15	該当する到達目標	予習	発表用資料の確認	1 時間		
	1,2,3	復習	発表用資料の再修正	1時間		
	授業の進めた]:講義	中に予習・復習課題について発表を求めることがある			
	◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する					

国内の学術論文の収集、および論文を読む(テーマに関する論文を50~100程度)

※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと(課題等は、記載の平日時間だけでは終了でき

考 ません)

オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5時限)

研究室:1号館4階404

教員への連絡方法は授業内で指示する

13.4	нот			子等以、ソフハス					
科	目 名	食品栄養学総合演習 I							
英 :	文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I							
担	当教員	綾部 園子							
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位							
講義	目標		食品の嗜好性およびその評価に関する国内外の学術論文を、収集・整理・精読して、その背景知識および最						
A17 72				研究推進に活用する。					
		1. 文献の検索、整理方法を理解し実践できる。							
到達	目標	2. 総	論を精調	売して、背景知識について説明できる。					
				を精読して、背景知識および最新知見について説明できる。					
		√	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
		•	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位控	受与方針	1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	协応	:	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		√	食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につ	けている。				
		:	栄養管理	埋の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	ks との		4	3					
関連									
評価	i方法	レポー	レポートの提出(50%)、ディスカッション(50%)により総合的に評価する。						
	こ対する ドバック	課題の	返却や	は却や、ディスカッションを通じて、フィードバックを行う					
# F	1 #/ ₇ +-	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する							
使用	教 材	資料は	適宜配	布する					
	講義「	内 容	容 イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法						
1	該当する	5到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する	1時間				
	1,2,3		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する	1 時間				
	講義「	内 容	インタ	ーネットを用いた文献検索について					
2	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間				
	1		復習	キーワードにより、文献を検索する	2 時間				
	講義「	内 容	文献	工集について					
3	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1時間				
	1		復習	検索した文献を整理する	2 時間				
	講義「	内 容	文献管	管理ソフトの活用方法					
4	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1時間				
	1		復習	文献検索ソフトに入力して整理する	2 時間				
	講義「	内 容	データ	ァの収集と取り扱いについて					
5	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1時間				
	1		復習	データの収集と取り扱いについて要約する	2 時間				
	講義「	内 容	総説(1 報目)の通読					
6	該当する	5到達目標	予習	総説を(1 報目)検索し、一通り読む	1時間				
	2		復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2 時間				
_	講義「	内 容	総説(1 報目)の精読·内容討議	•				
7	該当する	5到達目標	予習	総説を再度読み、不明な点について調べる	1時間				

	- 122		令和 5 年度 良品未養子専攻 シブハス						
	2	復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	総説((2報目)の通読						
8	該当する到達目標	予習	総説(2報目)を検索し、一通り読む	1 時間					
	2	復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	総説(2 報目)の精読・内容討議						
9	該当する到達目標	予習	総説(2報目)を再度読み、不明な点について調べる	1 時間					
	2	復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	精読し	た総説のまとめ						
10	該当する到達目標	予習	精読した総説のプレゼンテーションを作成する	2 時間					
	1,2	復習	討議した事項について調べ、研究テーマを検討する	1 時間					
	講義内容	研究	テーマに関連した学術論文(1 報目)の精読・内容討議						
11	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間					
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	研究テーマに関連した学術論文(2 報目)の精読・内容討議							
12	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間					
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	研究	テーマに関連した学術論文(3報目)の精読・内容討議						
13	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間					
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	研究	テーマに関連した学術論文(4報目)の精読・内容討議						
14	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間					
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2 時間					
	講義内容	精読し	た学術論文のまとめ						
15	該当する到達目標	予習	精読した学術論文のプレゼンテーションを作成する	2 時間					
	1,3	復習	討議した事項について調べて、研究方法を検討する	2 時間					
	授業の実施方	法:授	業はレクチャー形式および対話形式で実施する。						
備	予習・復習の明	時間数:	不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。						
ヶ	オフィスアワー	-:授業	日の 3~5 時限、質問はメールでも受け付ける。						
T	教員への連絡	方法は	は授業内で指示する。						
	研究室:1号館	官4階4	406						

	目 名	食品栄養学総合演習 I							
英 :	文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I							
担:	当教員	曽根 保子							
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位							
誰 羊	- H	応用栄	応用栄養学分野の新規知見や課題を理解し、生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて、関連課						
神 我	目標	題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。							
		1. 関連分野の新規知見や課題についての情報を自ら調べることができる。							
到達	目標	2. 生	2. 生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて、関連課題に関する新規情報を得ることができ						
2, 2		る							
				を適切に取りまとめ、他者へ説明できる。					
				<u>養学全般にわたる該博な知識を身につけている。</u>					
				全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位接	受与方針	√	食品栄養	> というとは、					
との対	応		栄養指導	算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 					
				≶に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて	いる。				
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	sとの		6	3 4					
関連	:								
	方法	授業内	授業内での課題の内容等を総合的に勘案し評価する。						
	こ対する ドバック	課題♂)出題意	図、評価基準について説明する。					
使 用	教 材	講義に	関する	数材について、授業の中で紹介を行 う 。					
	講義	内 容	研究部	倫文の基本情報と検索方法					
1	該当する到達目標		予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間				
1	1,2		у н	వ 。	1.0 HJ[H]				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義	内 容	研究部	倫文の管理方法					
2	該当する	5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間				
_	1,2		, ,	<u> శ</u> ం					
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義	内 容	研究部	倫文の活用の基礎 					
3		到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間				
	1,2			る。					
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義		データ	マベースの活用法(遺伝子について)					
4		S到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間				
	1,2		<i>I</i> =		2.5+88				
	=#	+ +	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義		<u>ァー</u> 5	マベースの活用法(タンパク質について)					
5	該当する 1,2	5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べる。	1.5 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				

	講義内容		デーザス・ファイス 研究の精査				
		761 14					
6	該当する到達目標	予 習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間			
Ü	1,2		వ 。	210 1111			
		復 習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	研究認	果題の抽出				
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
7	1,2	予習	వ 。	1.5 時間			
	,	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	予備記					
	該当する到達目標	3 1/1314	**** 指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
8	1,2	予 習	る。	1.5 時間			
	1,4	復習	ぶ。 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	o □± ₽目			
	=# *			2 時間			
	講義内容	予備写					
9	該当する到達目標	予 習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間			
	1,2		న 。				
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	研究原	以果の取り扱い方				
10	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間			
10	1,2	, [ర ం	1.0 44[4]			
		復 習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	研究約	吉果の解析方法				
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1 × n+88			
11	1,2	予習	వ 。	1.5 時間			
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	研究原					
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
12	1,2,3	予習	వ 。	1.5 時間			
	, ,	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容	研究原	成果の発表方法と準備				
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ				
13	1,2,3	予習	5.	1.5 時間			
	1,2,0	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	講義内容		成果の発表	2 H()[H]			
	該当する到達目標	やしてい	************************************				
14		予習	間及で10元員代、日工町に八十〇元員代を前605、万からないス早・年記を調。 る。	1.5 時間			
	1,2,3	復習	る。 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
	进 羊 巾 宓			△□寸[日]			
	講義内容	了 1竹笠	会議での研究発表				
15	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べし	1.5 時間			
	1,2,3	<i>1</i>		0.5+00			
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間			
備			、復習と自主的な発展的学習を行う。				
考	予習・復習については、研究論文の事前学習や研究発表・レジュメ作成に関わる自習で補完する。						
כי	場合に応じて、オンラインシステムを用いて、ディスカッションや課題提出を行う。						

その場合、課題の取り組みをもって、出席とする。

オフィスアワー:木曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。

メールアドレス: sone-y#takasaki-u.ac.jp(#→@)

研究室:1号館306

乗 文 名 Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I 世 当 教 員 應本 真 時期・単位 食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位 (食品科学に関連する学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解することを目的と本講義では、毎回各テーマについて、討論と考察を行う。	11-7					
担当教員應本 真時期・単位食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位食品科学に関連する学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解することを目的と	1 7					
時期・単位 食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位 食品科学に関連する学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解することを目的と	1 7					
食品科学に関連する学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解することを目的と						
講義目標	L 7					
本講義では、毎回各テーマについて、討論と考察を行う。	食品科学に関連する学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解することを目的とする。					
3. 研究テーマに関連した学術論文の収集を行うことができる。	3. 研究テーマに関連した学術論文の収集を行うことができる。					
到達目標 4. 研究テーマに関連した学術論文の精読を行うことができる。						
5. 研究テーマに関連した学術論文の研究背景を理解することができる。						
✓ 食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。						
食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている						
学位授与方針 ◆ 食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけてい	いる。					
との対応 栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。						
✓ 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力	力を身につけている。					
栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDGs & 2 3 4						
関連						
評価 方 法 授業中の質疑応答 60%、レポート 40%	受業中の質疑応答 60%、レポート 40%					
課題に対する レポートについては、提出後、その内容のディスカッションを行う。						
使用教材 特に指定はしないが、学術雑誌の論文を参考とすることがある。講義に使用する資料	乳は適宜配布する。					
講義内容 ガイダンス、本特論の進め方、到達目標、評価方法の確認						
1 該当する到達目標 予習 無	0 時間					
復習 無	0 時間					
講義 内容 インターネット等を用いた文献検索について 1(文献から文献を)	·					
2 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
1 関連分野の文献をまとめる	1 時間					
講義内容 インターネット等を用いた文献検索について2(pubmed)						
3 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
1 関連分野の文献をまとめる	1 時間					
講義内容 インターネット等を用いた文献検索について3(Scifinder)						
4 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
1 関連分野の文献をまとめる	1 時間					
講義内容 文献収集(実践と活用)						
5 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間					
講義内容 文献収集と管理(理論)						
6 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間					
講義内容 文献収集と管理(endnote)						
7 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
1,2 復習 関連分野の文献をまとめる	1時間					

ま当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる 1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる 講義内容 研究ノート作成法(理論)	1 時間 1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる 講義内容 研究ノート作成法(理論)							
講義内容 研究ノート作成法(理論)	1時間						
9 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
講義内容 研究ノート作成法(実践)							
10 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
講義内容 データの収集と取り扱い(理論)							
11 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
講義内容 データの収集と取り扱い(実践)	データの収集と取り扱い(実践)						
12 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
講義内容 プレゼンテーション法(理論)	プレゼンテーション法(理論)						
13 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
講義内容 プレゼンテーション法(実践)	プレゼンテーション法(実践)						
14 該当する到達目標 予習 関連分野の文献を読んでくる	1 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
講義内容 まとめ							
15 該当する到達目標 予習	0 時間						
1,2,3 復習 関連分野の文献をまとめる	1 時間						
予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。							
オフィスアワー:随時							
研究室:1号館4階402							
メールアドレス: oumoto#takasaki-u.ac.jp(#→@)							

		<u>Д</u>	HALE	子等以「ソフハス」					
科	目 名	食品栄養学総合演習Ⅱ							
英二	文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II							
担:	当教員	下川 哲昭							
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位							
		栄養生理学領域における研究法とその実際について自身の研究テーマを選び研究を遂行し研究成果につな							
		げる。特に以下の3点に焦点をあてて講義と研究を行う。							
講義	目標	1. 乳汁中のホルモンによる育児行動の解析							
		2. 先天性脊椎側弯症における胎児期の栄養素について							
		3. 細	3. 細胞分化因子 EID1 の脂質代謝における抑制機能						
到達	目標	1. 研	究の醍	餬味を味わい、新たな環境でも自分で研究を遂行できる能力を確立することを目標と	≤する。				
		2. 自:	身の研	究成果を英文への学術雑誌に投稿・掲載することを目指す。					
		/ 1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
		1	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位接	受与方針	/ 1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	応	√ 3	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		1 1	食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ [、]	ている。				
		Š	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
	ks との		4						
関連									
評価	i方法	研究課題の探索、実験のデザイン、実験への熱意、データの解釈、プレゼンテーション、論文の作成等、研究 への取り組みを踏まえ、口頭試問にて総合的に評価する。得点率 60%以上を合格とする。							
- 1 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	こ対する	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
	ドバック	提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。							
使用	教 材	適時資	料、文献	状等を配布する。					
	講義「	内 容	核酸•	タンパク質の抽出法					
1	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義「	内 容	核酸0	D抽出					
2	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義「	内 容	タンハ	く ク質の抽出					
3	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義「	内 容	核酸•	タンパク質の電気泳動法					
4	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義「	为 容	核酸0	の電気泳動					
5	該当する	該当する到達目標		予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義「	为 容	タンバ	%ク質の電気泳動					
6	該当する	5到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				

13.4	P和 9 年度 良加木食子等収 グラバス							
	講義内容	容 タンパク質の免疫沈降法とウェスタンブロット法について						
7	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容 タンパク質の免疫沈降法							
8	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	タンバ	^{ペク} 質のウェスタンブロット法					
9	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	結果の	D解釈					
10	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	追試	倹の実際					
11	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	追試験の解析						
12	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間				
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間				
	講義内容	論文(
13	該当する到達目標	予習	論文の構成と図表の位置などを検討しておく。	1 時間				
	1,2	復習	指摘された箇所を修正しておく。	1 時間				
	講義内容	プレセ	デンテーションの準備					
14	該当する到達目標	予習	プレゼン用のスライドの分量と論旨について検討しておく。	2 時間				
	1,2	復習	指摘された箇所を修正しておく。	2 時間				
	講義内容	論文化	作成の準備					
1 -	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容から実験法のプロトコールを作成しておく。	2 時間				
15	1,2	後 33	制限時間内に効率良く自身の実験結果を相手に伝えられるように繰り返し練習	o r±88				
		復 習	する。	2 時間				
	演習の進め方	ī:自主	生を重視し実践的な考え方・技術を習得できるように指導する。					
/#	予習•復習時	間は、砂	F究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。					
備	オフィスアワー	-:月曜	日(終日)、木曜日(午前中)					
考	メールアドレス	र∶shim	nokawa-n#takasaki-u.ac.jp(#→@)					
	研究室:1 号館	研究室: 1 号館 3 階 311 研究室						

13.4	ПРОТ			子等以「グラバス」					
科	目 名	食品栄養学総合演習Ⅱ							
英 :	文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II							
担:	当教員								
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位							
講義	目標	研究の	の進捗や	成果をまとめ、考察を加えて発表する方法を学ぶ。					
		1. 専	厚攻テー	マに関して、研究の進捗を説明できる。					
到達	目標	2. 専攻テーマの研究データを、整理・保存管理することができる。							
		3. 草							
		✓	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
		1	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位招	受与方針	✓	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	応	1	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		1	食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	ている。				
		✓	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG	is との			2					
関連	Į.		3						
評価	方法	プレセ	プレゼンテーション 50%、ディスカッション 50%の状況から総合的に成績を評価する。						
	こ対する	適宜、	適宜、ディスカッション等を通じてフィードバックする。						
	ドバック	1=.1.1							
使 用	教材			別途指示する。					
	講義「			データの収集・利用について学ぶ。	488				
1		5到達目標		授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	3		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義「			データの保存管理について学ぶ。					
2		5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間				
	2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義「		112 =:	成果のまとめ方について学ぶ。(1)図					
3		5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
	講義「		112 =:	成果のまとめ方について学ぶ。(2)表					
4		5到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	2		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
_	講義「		-	が、					
5		5到達目標		授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
	3		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
0	講義「			発表の方法について学ぶ。(1)パワーポイント作製	1 5+88				
6		5到達目標		授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間				
	3	. .	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
_	講義「			表の方法について学ぶ。(2)プレゼンテーション技術	1 0+88				
7		5到達目標		授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間				
0	3	.	復習	│ 講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間				
8	講義「	内 容	ポスタ	7一発表について学ぶ。(1)ポスター作製					

13.4	P和 0 年度 艮四木食子等以 ンプバス						
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	ポスタ	- ヌー発表について学ぶ。(2)プレゼンテーション技術				
9	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	論文化	た成について学ぶ(1)テーマ・仮説				
10	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	11 時間			
	講義内容	論文例	作成について学ぶ(2)序論				
11	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	論文化	- 作成について学ぶ(3)方法				
12	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	論文化	- 作成について学ぶ(4)結果				
13	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	論文例	作成について学ぶ(5)考察				
14	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	講義内容	総括					
15	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間			
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間			
	本講座は、各	自の能	動的学習に基づいて進められる。予習・復習も各自積極的に行い、疑問点や課題点	を見つける			
	ようにする。予習・復習の時間不足分については、中間まとめ・まとめ前後等の学習で補完する。生命科学と栄養科						
備考	学に関連する	最新の	情報に対して、日常生活でも常に注意を向ける。また、自身の専攻分野にとらわれ	ることなく、			
	秀逸なプレゼ	秀逸なプレゼンテーションや学術論文に触れる機会を設ける。					
.,	オフィスアワー		• • •				
	研究室:1 号飲						
	メールアドレス: okamura#takasaki-u.ac.jp(#→@)						

-141-

	目 名	食品栄養学総合演習Ⅱ							
英:	文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II							
担:	当教員	渡辺由美							
時期	・単位	食品栄	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位						
講義	: 目標	た、研 る。	究計画に	関連した国内外の論文を精読し、最近の知見を得るとともに論文の学術的意義を理 に応じたデータ分析の実践力を養い、研究成果をまとめ、考察を加えて発表する方法 所の情報の収集、論文の書き方、効果的な解析方法について講義と演習を行い、修	法を修得す				
		への準	賃備を進	める。					
		1. 収	集した国	国内外の学術論文について、学術的価値を論ずることができる。					
到達	目標	2. 得	られた	データを客観的に分析することができる。					
		3. 研	究成果	をまとめ、効果的な表現方法で説明できる。					
			食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位指	受与方針		食品栄養	鬢に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		1	食品栄養	≶に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ っ	ている。				
		✓	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
	SDGs との 関連		•	3					
=::: /::::		教員とのディスカッション 20%、レポートの提出 20%、プレゼンテーション(内容 40%、質疑応答 20%)で総							
部 10	i 方 法	合的に評価する。							
課題に	こ対する	授業中	授業中のディスカッション、プレゼンテーションでのコメントや課題提出物に対するコメントを通じてフィードバ						
フィー	ドバック	ックを行	ックを行う。						
使 用	教材	別途指	示する						
	講義	内容	関連ス	文献の検索と収集					
1	該当する	る到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、目標などを理解する	0.5 時間				
	1		復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間				
	講義	内容	国内の	り関連文献の精読と討論					
2	該当する	5到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	1.5 時間				
	1		復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間				
	講義	内容	国外(D関連文献の精読と討論	1				
3	該当する	る到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2 時間				
	1		復習	関連する知識や情報を調べる	1 時間				
	講義	内容	既存于	データの利用方法					
4		る到達目標	予習	既存データの収集	1 時間				
	2		復習	授業内容の整理	1 時間				
	講義	内容		データの分析					
5		る到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1 時間				
	2		復習	授業内容の整理	1 時間				
6	講義	内容		倫文の構成					
	該当する	5到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1 時間				

111		山木食子等攻・ジブハス						
	3	復習 授業内容の整理	1 時間					
	講義内容	科学論文の書き方(諸言)						
7	該当する到達目標	予習 関連する知識や情報を調べる	1 時間					
	3	復習 記述のポイントの整理	1 時間					
	講義内容	科学論文の書き方(方法)						
8	該当する到達目標	予習 関連する知識や情報を調べる	1 時間					
	3	復習 記述のポイントの整理	1 時間					
	講義内容	科学論文の書き方(結果)	·					
9	該当する到達目標	予習 関連する知識や情報を調べる	1 時間					
	3	復習 記述のポイントの整理	1 時間					
	講義内容	科学論文の書き方(考察)	·					
10	該当する到達目標	予習 関連する知識や情報を調べる	1 時間					
	3	復習 記述のポイントの整理	1 時間					
	講義内容	科学論文の書き方(まとめ・参考文献・謝辞)						
11	該当する到達目標	予習 関連する知識や情報を調べる	1 時間					
	3	復習 記述のポイントの整理	1 時間					
	講義内容	ロ頭発表によるプレゼンテーションの準備						
12	該当する到達目標	予習 資料作成に必要な情報の収集	1 時間					
	3	復習 指摘されたポイントの整理	1 時間					
	講義内容	口頭発表によるプレゼンテーション	•					
13	該当する到達目標	予習 発表の練習	1 時間					
	3	復習 討論内容のまとめ	1 時間					
	講義内容	ポスター発表のプレゼンテーションの準備	•					
14	該当する到達目標	予習 資料作成に必要な情報の収集	1 時間					
	3	復習 指摘されたポイントの整理	1 時間					
	講義内容	ポスター発表のプレゼンテーション	•					
15	該当する到達目標	予習 発表の練習	1 時間					
	3	復習 討論内容のまとめ	1 時間					
	予習・復習の	- 不足分については、関連分野の新聞記事やニュースに関心をもち、専門知識を自主的	内に調べることな					
/ #	どで補完する	00						
備	オフィスアワー	ー:月曜日の 5 時限、質問はメールでも受け付ける。						
75	研究室:1 号館	館 3 階 304 研究室						
	メールアドレス: wyumi # takasaki-u.ac.jp (#→@)							

	目 名		食品栄養学総合演習Ⅱ						
英:	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II						
担:	当教員	田中	田中 進						
時期	・単位	食品第	ロール で 食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位						
講義	も 目標	栄養科	学に関	連する学術論文を精読することにより、自分の研究成果のまとめ方や発表する能	と力を養う。				
		1. 矽	究方法	こ関連する学術論文を精読し、自分の研究テーマに応用することができる。					
到達	目標	2. 砂	究テーマ	マに関連する学術論文を精読し、研究結果の解釈に応用することができる。					
		3. 矽	3. 研究テーマに関連する学術論文を精読し、研究成果を発表に応用することができる。						
		1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位指	受与方針	1	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	讨応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
		✓	食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につ	けている。				
		✓	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG 関連	is との		(3 4					
IX Æ		講義(:	计外託形	式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表P	 b 変を重視する				
)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を充分					
評価	方法		版が行われているかを重視する)による評価を 50%とする。						
			総合評価 60%以上を合格とする。						
課題に	こ対する		1 / 1 > 7 > 1	WI>					
フィー	ドバック	レホー	トルス添角	別して返却する。					
使用	教材	講義の	り内容は	プリントを配布。					
	講義	内容	研究ス	方法の振り返り					
1	該当する	該当する到達目標		研究方法をまとめてくる。	1 時間				
	1		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義	内容	研究ス	ち法に関連した学術論文1報目の精読 -					
2	該当する	る到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文1報目を精読してくる。	1 時間				
	1		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義	内容	研究ス	ち法に関連した学術論文1報目の発表と討論					
3	該当する	5到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間				
	1		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義	内容	研究ス	方法に関連した学術論文 2 報目の精読 					
4	該当する	5到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目を精読してくる。	1 時間				
	1		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義			方法に関連した学術論文 2 報目の発表と討論					
5		5到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間				
	1		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
	講義			吉果の振り返り 「					
6		5到達目標	予習	研究結果をまとめてくる。	1 時間				
	2		復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間				
7	講義	内容	研究統	吉果の解釈に応用できる学術論文1報目の精読					

【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)

11 1		不良丁寸久 ノノ				
	該当する到達目標	予習 研究結果の	解釈に応用できる学術論文 1 報目を精読してくる。	1 時間		
	2	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	研究結果の解釈に	応用できる学術論文1報目の発表と討論			
8	該当する到達目標	予習 研究結果の	解釈に応用できる学術論文1報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間		
	2	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	研究結果の解釈に	応用できる学術論文2報目の精読			
9	該当する到達目標	予習 研究結果の	解釈に応用できる学術論文2報目を精読してくる。	1 時間		
	2	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	研究結果の解釈に	応用できる学術論文2報目の発表と討論	•		
10	該当する到達目標	予習 研究結果の	解釈に応用できる学術論文2報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間		
	2	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	発表に向けた研究が	成果の振り返り			
11	該当する到達目標	予習 研究成果の:	発表準備を行う。	1 時間		
	3	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	発表に応用できる学	学術論文 1 報目の精読	•		
12	該当する到達目標	予習 発表に応用・	できる学術論文1報目を精読してくる。	1 時間		
	3	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	発表に応用できる学	学術論文 1 報目の発表と討論	•		
13	該当する到達目標	予習 発表に応用	できる学術論文1報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間		
	3	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	発表に応用できる学	学術論文 2 報目の精読			
14	該当する到達目標	予習 発表に応用	できる学術論文2報目を精読してくる。	1 時間		
	3	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	講義内容	発表に応用できる学	学術論文 2 報目の発表と討論			
15	該当する到達目標	予習 発表に応用	できる学術論文2報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間		
	3	復習 講義の内容	をレポートにまとめる。	1 時間		
	【授業の進め]予習・復習の課題	について講義中に発表や提出を求めることがある。			
	※ 2 単位を	得するためには、記	講義時間 $(30$ 時間 $($ 実質 90 分 $ imes$ 15 回 $)) + 予習 • 復習時間(60 時間$	(実質 3 時間		
備	×15回)	が必要です。不足分	汁は各自で文献収集を行い、精読してその研究背景を調べること。			
考	オンラインで実施する場合には、別途提示する。					
	【オフィスアワ	-]前期(火 4 時限目	1)、後期(火 4 時限目)。研究室: 1 号館 4 階 401 研究室			
	l = .	-				

	目 名			^{- + 3}					
英:	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II						
担:	当教員	木村	木村 典代						
時期	・単位	食品第	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位						
講義	講義目標			の新規知見や課題を理解し、食行動、食環境に関する調査方法や評価方法を用しての成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。 は、授業期間を通して、実践的なデータ整理、検定、解析方法、論文作成のためので					
				など、演習を行う。					
到達	目標	2. 得	られた	タの収集・利用、管理をすることができる データを客観的に分析することができる マの成果をまとめて、発表することができる					
			食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位指	受与方針		食品栄養	冬に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	协応	1	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
				≶に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけ	ている。				
		√	栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG 関連	is との		(3 4					
	i 方法	提出物	7、討論、	プレゼンテーション等を通して、到達目標の達成度を総合的に勘案し評価する。					
	こ対する ドバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。							
使用	教 材	特に指	に指定はしない。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。						
	講義「	为 容	研究	データの収集・利用と保存管理について データの性質					
1	該当する	5到達目標	予習	授業で使うデータを整理する	1.5 時間				
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内 容	研究	データの収集・利用と保存管理について エクセル上での管理とコツ					
2	該当する	5到達目標	予習	エクセル上で自分のデータを整理してくる	1.5 時間				
	1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「			ルたデータを客観的に分析する方法について 単純集計の復習					
3		5到達目標	予習	単純集計について復習をしておく	1.5 時間				
	2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「			いたデータを客観的に分析する方法について クロス集計の復習	1 ≈ n+88				
4		5到達目標	予習	クロス集計の復習をしておく 授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	2 講義 [———— 为 宓	復習	投来で子んにことに ういてレホートをTF成りること たデータを客観的に分析する方法について 相関係数の復習	1.5 時間				
5		公 在 5到達目標	予習	は、1 アと各種のできながら、	1.5 時間				
	2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
	講義「	内 容		ルたデータを客観的に分析する方法について 多変量解析について 概要	TIO EGINT				
6		 - - 	予習	多変量解析の種類や解析の目的を調べてくる	1.5 時間				
	2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間				
7	講義「	内 容	得られ	れたデータを客観的に分析する方法について 重回帰分析					

13.1		ト段丁寸久 ノノハハ		
	該当する到達目標	『 軍 ■ 重回帰分析の方流	法を調べてくる	1.5 時間
	2	夏習 授業で学んだこと		1.5 時間
	講義内容	得られたデータを客観的	かに分析する方法について 因子分析	
8	該当する到達目標	予習 因子分析の方法	を調べてくる	1.5 時間
	2	夏習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
	講義内容	导られたデータを客観的	かに分析する方法について 主成分分析	
9	該当する到達目標	予習 主成分分析の方法	法を調べてくる	1.5 時間
	2	夏習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
	講義内容	导られたデータを客観的	いこ分析する方法について 共分散構造分析	
10	該当する到達目標	予 習 共分散構造分析(の方法を調べてくる	1.5 時間
	2	夏習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
	講義内容	研究テーマの成果をまと	こめる グラフ 表の表し方	
11	該当する到達目標	『 自分のデータをつ	つかって複数のグラフ 表を作成してみる	1.5 時間
	3	夏習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
	講義内容	研究テーマの成果をまと	cめる 構造化抄録の書き方	
12	該当する到達目標	予習 自分の研究の抄続	録を書いてくる	1.5 時間
	3	፱ 習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
	講義内容	研究テーマの成果をまと	とめる パワーポイントを使った表現	
13	該当する到達目標	予習 自分の研究の成	果をパワーポイント 15 枚にまとめる	1.5 時間
	3	園 自分の研究の成	果をパワーポイント 15 枚にまとめる	1.5 時間
	講義内容	研究テーマの成果をまと	こめる ポスターを使った表現	
14	該当する到達目標	予習 自分の研究の成	果を 1 枚のポスターにまとめる	1.5 時間
	3	® 習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
	講義内容	まとめ		
15	該当する到達目標	予習 これまでの学習内	内容を見直してくる。	1.5 時間
	1,2,3	夏習 授業で学んだこと	:についてレポートを作成すること	1.5 時間
備	オフィスアワー	講義のある日は、事前に	にメール連絡があれば対応可	
滑	オンラインで打	業を実施する際の変更点	点:大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実施方法	を通知する
75	研究室:1 号食	301 研究室 問い合	おわせ先:kimura#takasaki-u.ac.jp(#→@)	

13.4	ППОТ			子等以・フラハン					
科	目 名	食品栄養学総合演習Ⅱ							
英二	文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II							
担当	当教員	111 222							
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位							
講義	話目標	食物に関わる広範囲な栄養学と食品学等に関する内容(研究課題)の一端を健康や疾病との関わりから模索							
M17 72		し、人	間栄養学	・実験栄養学の	研究手法を用い	ハて分析・評価・	検討する(食品科学総合演	習 I 承前)	
		『何を覚えるかではなくて、どうやって考えるかという方法を習得し、「君たちはどう生きるか(吉野源三郎)」を							
		考える。方法を見つける力があるならば、初めて出会った現象でも、これを探求するための方法を自分の力							
到達	目標	-		:ができる(石川信 ^ ^-		「る			
				倫文を読むことが 今女を悪なし、**		☆ +7-1 <i>18-</i>	+ 7		
				倫文を要約し、結 Bayert kabar		祭することかで	ざる		
				里的にまとめるこ ・ ・学全般にわたる		・白につけている	7		
\\ \\.+12	受与方針	-					桟能力を身につけている。 €験技術を身につけている。		
との対									
2077	יטיוני		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。						
				関の専門職として			(ツよこの) (光衣9 句配力を:	310 217 (0.00)	
SDG	is との	•	不良日		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	土地でして。			
関連			2	3 4	6	9	12		
評価	方法	提出す	る論文((レポート)で評価	する(100%)				
課題に	こ対する	+8 山=6	8857~541	し、コメント等をつ	ンナインロナフ				
フィー	ドバック	佐山 动	応因し入り	ノ、コクント寺で ノ	ハ) C)区本19 の				
使 用	教材	必要に	応じて酉	さまする こうしゅう					
	講義「	内 容	概要(講義の進め方)					
1	該当する	5到達目標	予習	文献検索•文献				1 時間	
	1,2,3		復習	文献整理(分類	と要約)			1 時間	
	講義「	内 容	テーマ	アの立て方					
2	該当する	5到達目標	予習	文献検索・文献				1 時間	
	1		復習	文献整理(分類	と要約)			1 時間	
	講義「			又集 1(解説)	h.l. #				
3		5到達目標	予習	文献検索・文献				1 時間	
	1,2		復習	文献整理(分類	と要約)			1 時間	
	講義「			又集 2(実践)	h.l., ##-				
4		5到達目標	予習	文献検索・文献				1 時間	
	1,2	. .	復習	文献整理(分類	と安約)			1 時間	
	講義「		1)整理1(解説) - 本 誌 ***	Lilπ#E			4 0+80	
5		5到達目標	予習	文献検索・文献				1 時間	
	1,2,3		復習	文献整理(分類 *** 1	と安利)			1 時間	
C	講義「		中間多		<i>\</i> /- cl:			1 n±88	
6		5到達目標	予習	発表用資料の作品を表表の				1 時間	
1,2,3			復 習	発表用資料の個				1時間	

TJ 1	山り十尺 民口	木食子守以 ノノハヘ					
	講義内容	資料の整理2(実践1)					
7	該当する到達目標	予習 文献検索・文献収集・文献整	- 理(分類と要約)	1 時間			
	1,2,3	复習 図表の作成		1 時間			
	講義内容	資料の整理 3(実践 2)					
8	該当する到達目標	予習 文献検索・文献収集・文献整	- 理(分類と要約)	1 時間			
	1,2,3	复習 図表の作成		1 時間			
	講義内容	中間発表 2					
9	該当する到達目標	予 習 発表用資料の作成		1 時間			
	1,2,3	复習 発表用資料の修正		1 時間			
	講義内容	文書を書く1(解説、実践1)		<u> </u>			
10	該当する到達目標	予習 構想の箇条書き		1 時間			
	1,2,3	^{复習} 構想の確認と論文(下書き)		1 時間			
	講義内容	文書を書く2(実践2)					
11	該当する到達目標	予習 論文の下書き		1 時間			
	1,2,3	复習 論文の修正		1 時間			
	講義内容	中間発表 3					
12	該当する到達目標	予 習 発表用資料の作成		1 時間			
	1,2,3	復習 発表用資料の修正		1 時間			
	講義内容	文書を書く3(実践3)					
13	該当する到達目標	予習 論文の作成		1 時間			
	1,2,3	復習 論文の修正		1 時間			
	講義内容	文書を書く4(実践4)					
14	該当する到達目標	予 習 発表用資料の作成		1 時間			
	1,2,3	り 発表用資料の修正		1 時間			
	講義内容	文書・論文の完成(提出)					
15	該当する到達目標	予 習 発表用資料の確認		1 時間			
	1,2,3	りょう 発表用資料の再修正		1 時間			
	授業の進めた	講義中に予習・復習課題について	 発表を求めることがある				

授業の進め方:講義中に予習・復習課題について発表を求めることがある

◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する

国外の学術論文(英語)の収集、および論文を読む(テーマに関する論文を5~10程度)

※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと(課題等は、記載の平日時間だけでは終了できません)

オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5時限)

研究室:1号館4階404

教員への連絡方法は授業内で指示する

	目 名	食品栄養学総合演習Ⅱ								
英 :	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II							
担:	当教員	綾部[凌部 園子							
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位								
=# *		食品の	嗜好性	およびその評価に関する研究データの整理、検定、解析方法、および論文作	成のための文					
蔣 莪	目標	章、図	表、描画	「作成方法などを、総合的な演習を 通 して修得する。						
		1. 適	1. 適切なデータ整理、検定、解析方法を理解し実践できる。							
到 達	目標	2. 論	2. 論文作成のツールの扱いを理解し実践できる。							
		3. 修	得したこ	ことを修士論文作成に活用できる。						
		√ :	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。						
		•	食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。						
学位招	受与方針	√	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。						
との対	応	:	栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。						
				養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につ	けている。					
			栄養管理	理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG	is との			3						
関連										
評価	i 方 法		一タの	扱い方(30%)、作成した文章・図表・描画(30%)、ディスカッション(40%)により)総合的に評価					
		する。								
	こ対する ドバック	課題の	返却や	、ディスカッションを通じて、フィードバックを行う						
康田	割教 材	特に指	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する。							
区用	1 70 101	資料は	資料は適宜配布する。							
	講義「	内容 イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法								
1	該当する	5到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する	1 時間					
	1,2,3	1,2,3		講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する	1 時間					
	講義「	内容 研究		用データベースの活用について						
2	該当する	る到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間					
	1,2		復習	研究用データベースの活用について要約する	2 時間					
	講義「	内 容	研究原	用データベース Access の基本						
3	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間					
	1,2		復習	研究用データベースの構築法について要約する	2 時間					
	講義「	内 容		ss の活用した研究用データベースの構築						
4		5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1 時間					
	1,2		復習	Access を用いた研究用データベースのフォームを完成する	2 時間					
	講義「			タの検定法 1(量的データの検定)						
5		5到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間					
	1		復習	量的データの検定法について要約する	2 時間					
	講義「			タの検定法 2(質的データの検定)	1					
6		5到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間					
	1		復習	質的データの検定法について要約する	2 時間					
7	講義「	内容	多変量	量解析によるデータの解析方法						

73.4	110千尺 及1	1个设	子等攻 シグバス				
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	1	復習	総多変量解析による解析方法について要約する	2 時間			
	講義内容	因子统	分析法	·			
8	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	1	復習	因子分析法について要約する	2 時間			
	講義内容	クラス	な一分析法				
9	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	1	復習	クラスター分析法について要約する	2 時間			
	講義内容	論文化	作成方法について				
10	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間			
	2	復習	論文作成方法について要約する	1 時間			
	講義内容	アウト	ライン化による論文構成論文つくり				
11	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	2,3	復習	修士論文作成に向けてのアウトライン化する	2 時間			
	講義内容	図表の作成法					
12	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	2,3	復習	研究結果を適切な図表で表現する	2 時間			
	講義内容	写真データの取り扱い					
13	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	2,3	復習	写真データの取り扱いについて要約する	2 時間			
	講義内容	研究原	用イラスト・化学構造式描画の作成方法				
14	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間			
	2,3	復習	研究用イラスト・化学構造式描画について要約する	2 時間			
	講義内容	まとめ					
15	該当する到達目標	予習	既学習内容について見直しておく	2 時間			
	1,2,3	復習	既修得内容を修士論文作成につなげる	2 時間			
	授業の実施方	法:授	業はレクチャー形式および対話形式で実施する。				
備	予習・復習の問	時間数:	不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。				
考	オフィスアワー	-:授業	日の 3~5 時限、質問はメールでも受け付ける				
,,	教員への連絡 研究室:1号館		は授業内で指示する。				

科	目 名	食品	食品栄養学総合演習Ⅱ						
英二	文 名	Semi	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II						
担	当教員	曽根	身根 保 子						
時期	・単位	食品栄	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位						
# ¥	応用栄養学分野の新規知見や課題を理解し、生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて								
講義	日標	題を研	究し、そ	の成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。					
		1. 関	1. 関連分野の新規知見や課題についての情報を自ら調べることができる。						
到達	目標	2. 生	2. 生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて、関連課題に関する新規情報を得ることができ						
_, ~=		る							
				を適切に取りまとめ、他者へ説明できる。					
				奏学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
				全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
	受与方針			養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対	列心			算、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。 第15間は2周間を7月27日では、2015日本では1000日本	7.7				
				養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて の東眼壁と ての体会感と倫理智なもの	.いる。				
SDC	ks との		木食官場	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDG 関連				3 4					
	i 方 法	授業内	での課						
課題は	こ対する								
フィー	ドバック	課題の出題意図、評価基準について説明する。							
使用	教 材	講義に	関する	数材について、授業の中で紹介を行う。					
	講義「	内 容	研究(り立案					
1		5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間				
	1,2			る。					
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「		研究語	十画の作成					
2		5到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間				
	1,2,3		4 ਜਜ	る。	o 11 1 88				
	講義「	力 宓	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 計画の発表・討論	2 時間				
		4 谷 5到達目標	リリブンロ	T回の完表・討論					
3	1,2,3		予習	指定された具件、日土町に入于した具件を読み、万からない文早・早間を調べる。	1.5 時間				
	1,2,0		復習	る。 講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「	内 容		計画の実施(遺伝子の解析)	~ 501141				
		3 到達目標	7.77	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	,				
4	1,2		予習	る。	1.5 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				
	講義「	内 容	研究語	計画の実施(タンパク質の解析)					
_	該当する	5到達目標	32 33	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1 2 11土日日				
5	1,2		予習	వ 。	1.5 時間				
			復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間				

13.4	110年度 民首		子学以、シブハス						
	講義内容	研究語	十画の実施(生化学指標の解析)						
6	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1.5 時間					
O	1,2	, 6	ర ం	1.0 HJ[H]					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究詞							
_	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	2 - F±00					
7	1,2	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究詞	研究計画の実施(形態学的解析)						
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	4 × n+88					
8	1,2	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究約							
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ						
9	1,2	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究約							
10	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ						
10	1,2	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究原							
	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	4 × n+88					
11	1,2,3	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	論文(D形式と書き方						
10	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1 ≥ n+88					
12	1,2,3	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	論文作							
10	該当する到達目標		指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1 × n+88					
13	1,2,3	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究原	 						
1.4	該当する到達目標	₩ ਹਨ	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1 = 11 + 88					
14	1,2,3	予習	వ 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
	講義内容	研究原							
1 -	該当する到達目標	32 . 310	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない文章・単語を調べ	1 5 吐田					
15	1,2,3	予習	る 。	1.5 時間					
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間					
配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行う。									
備考	予習・復習につ	ついては	は、研究論文の事前学習や研究発表・レジュメ作成に関わる自習で補完する。						
45	場場合に応じ	て、オ	ンラインシステムを用いて、ディスカッションや課題提出を行う。						

その場合、課題の取り組みをもって、出席とする。

オフィスアワー:木曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。

メールアドレス: sone-y#takasaki-u.ac.jp(#→@)

研究室:1号館3階306

				子字以 ンフハス MA 冷切 m						
科	目 名	食品栄養学総合演習Ⅱ								
英 :	文 名		Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II							
担:	当教員	應本	應本 真							
時期	・単位	食品第	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位							
		食品和	学に関	連する学術論文を精読することにより、自分の研究成果のまとめ方や発表する能力	」を養うこと					
講義	目標	を目標	まとする。							
		本講	本講義では、毎回各テーマについて、討論と考察を行う。							
到達	目標	6. 码	6. 研究方法に関連する学術論文を精読し、自分の研究テーマに応用することができる。							
27, 22	- I IA	7. 矽	究テー	マに関連する学術論文を精読し、研究結果の解釈に応用することができる。						
		1	食品栄養	養学全般にわたる該博な知識を身につけている。						
			食品安全	全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。						
学位指	受与方針	✓	食品栄養	養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。						
との対	応		栄養指導	尊、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。						
		✓	食品栄養	≶に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけて	ている。					
			栄養管理	里の専門職としての使命感と倫理観をもつ。						
SDG	ks との		2	9						
関連			•							
評価	i 方 法	授業中	中の質疑	応答 60%、レポート 40%						
課題に	こ対する	レポー	-トにつし	っては、提出後、その内容のディスカッションを行う。						
フィー	ドバック									
使用	教 材	特に指		はいが、学術雑誌の論文を参考書とすることがある。演習に使用する資料は適宜配稿 	有する。					
	講義「	A STATE OF THE STA								
1		5到達目標	予習	無	0 時間					
	1,2	1,2		無	0 時間					
	講義「	義内容 研3		用データベースソフトの構築法(基礎)						
2		5到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間					
	講義「	内 容	研究月	用データベースソフトの構築法(実践)						
3		5到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間					
	講義「		実験を	データの検定法(概論)						
4		5到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間					
	講義「	内 容		データの検定法(基礎)						
5		5到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間					
	講義「	内 容	実験	データの検定法(実践)						
6	該当する	5到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間					
	講義「	内 容	多変量	置解析による実験データ解析法(概論)						
7	該当する	る到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間					
	1,2		復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間					

口巾	10千尺 尺	1个段	子専攻「ソフハス」		
	講義内容	量解析による実験データ解析法(主成分解析)			
8	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
9	講義内容	多変量解析によるデータ解析法(判別解析)			
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	講義内容	論文作成方法(概論)			
10	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	講義内容	論文作成方法(アウトライン化法による論文構成)			
11	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	講義内容	論文作成方法(グラフの作成)			
12	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	講義内容	論文作成方法(写真データの編集)			
13	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	講義内容	論文作成方法(表の作成)			
14	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	講義内容	論文作	作成方法(まとめ)		
15	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1 時間	
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1 時間	
	予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。				
備	オフィスアワー:随時				
考	研究室:1号館4階402				
	メールアドレス: oumoto#takasaki-u.ac.jp(#→@)				

	目 名	食育物		<u> </u>			
英	文 名	Advanced Shokuiku					
担	当教員	綾部	綾部 園子				
時期	・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位					
		食育は、学習指導要改定により学校教育に位置づけられた理由は、食をめぐるさまざまな課題解決のための					
講義目標		学びの	学びの重要性が認識されたからである。本講義では、食育が果たすべき役割を具体的事例から探り、食に関				
		する諸問題とその解決に向けた食育の企画・提案するための知識と技術を修得する。					
		1. 教育や保育の場における「食育」の必要性や有効性に関する最近の情報を収集し分析できる。					
到達	目標	2. 今	2. 今後の「食育」のあり方や教育現場における食育事例について説明できる。				
		3. 効	3. 効果的な食育を具体的に企画・提案できる。				
		✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。				
			食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。				
学位抗	受与方針		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。				
との対	讨応	√	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。				
		✓	食品栄養	養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身に:	つけている。		
			栄養管理	理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDG	as ≥の			3 4			
関連							
	方法	討論 50%、レポート 50%					
	課題に対する レポートをルーブリック評価し、コメントをつけて返却する フィードバック						
- 佐田	1 教 材	特に指	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する。				
IX 71.	מו אלר ני	資料は	資料は適宜配布する。				
	講義	内容	イント	イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法			
1	該当する到達目標		予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する	1 時間		
	1,2		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する	1 時間		
	講義	内容	現代社	社会における食と健康に関する課題の最新情報 			
2	該当する	5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	2 時間		
	1		復習	食と健康に関する最新情報について理解する	1 時間		
	講義内容		食育	基本法と食育推進基本計画の変容 			
3	該当する到達目標		予習	食育基本法と食育推進基本計画を読む	1時間		
	1		復習	食育基本法と食育推進基本計画について理解する	2 時間		
	講義内容		1	は生きること一食と栄養の基礎			
4		5到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	2 時間		
	1		復習	「食」の重要性について理解する	1 時間		
	講義		母子保健における食育の推進				
5		5到達目標	予習 復習	関連する文献を検索し、読む	2時間		
	1	_		母子保健における食育について理解する	1 時間		
		講義内容		こおける食育の推進	0 =±BB		
6		5到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
1			復習	実に保育における食育について理解する	1 時間		
7	7 講義内容 教育現場における食育の推進(1)学校における食育目標、年間計画の策定						

13.1	F 0 1/2 24	HALLE				
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
	1,2	復習	学校における食育目標、年間計画の策定について理解する	1 時間		
8	講義内容	教育現場における食育の推進(2)体験活動と食育				
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間		
	1,2,3	復習	体験活動と食育について理解する	1 時間		
	講義内容	教育現場における食育の推進(3)教科と食育				
9	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
	1,2,3	復習	教科における食育について理解する	1時間		
	講義内容	教育現場における食育の推進(4)特別活動・道徳と食育				
10	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む。	2 時間		
	1,2,3	復習	特別活動・道徳における食育について理解する	1 時間		
	講義内容	教育現場における食育の推進(5)食育の目標・計画・評価・改善・継続				
11	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
	1,2,3	復習	学校における食育目標・計画・評価・改善・継続について理解する	1 時間		
	講義内容	学校や保育園と家庭が連携した食育の推進				
12	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
	1,2,3	復習	学校や保育園と家庭が連携について理解する	1 時間		
	講義内容	地域と連携した食育の推進				
13	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
	1,2,3	復習	地域と連携した食育について理解する	1 時間		
	講義内容	世代間交流による食育の推進				
14	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間		
	1,2,3	復習	世代間交流による食育の推進について理解する	1 時間		
	講義内容	学生のための食教育のプレゼンテーション、まとめ				
15	該当する到達目標	予習	学生の現状を把握し、目標を考えておく	2 時間		
	1,2,3	復習	プレゼンテーションを修正し、レポートを作成する	2 時間		
	授業の実施方法:授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。					
備	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、レポート作成等の学習で補完すること。					
考	オフィスアワー:授業日の3~5時限、質問はメールでも受け付ける。					
79	教員への連絡方法は授業内で指示する。					
	研究室: 1 号館 4 階 406					

令和5年度 食品栄養学専攻 シラバス

	及りが会がはいます。					
科目名	食品栄養学特別研究					
英 文 名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Sciences					
担当教員	下川哲昭、岡村信一、渡辺由美、田中進、木村典代、村松芳多子、曽根保子、應本真、綾部園子					
時期·単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1・2年 通年 必修 8単位					
講義目標	食品栄養学に関する修士論文のテーマ設定、研究計画の作成、研究の実施、論文の作成のすべての おいて、指導教員による適切な助言・指導を行い、修士論文を完成させる。					
到達目標	1. 研究の進め方を身につける。					
5月 注 日 1末	2. 研究論文の構成を理解し、修士論文を完成させる。					
	✓ 食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。					
	✔ 食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。					
学位授与方針	✓ 食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。					
との対応	✓ 栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。					
	✓ 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけてい	いる。				
	✓ 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。					
SDGs との	2 3 4					
関連						
評価方法	修士論文作成過程における研究態度、論文の完成度、審査の過程、および発表会での講演・質疑を総合的に 評価する。					
課題に対する フィードバック	日常より、計画・実施・検証・改善・評価等の議論を行い支援する。					
使用教材	別途指示する。					
	第1回~第5回 研究課題の決定					
	第6回~第10回 研究計画の立案					
	第 11 回~第 30 回 本研究の前段的遂行					
	第 31 回~第 35 回 中間発表会の準備・発表(2 年次)					
講義内容	第 36 回~第 45 回 本研究の遂行					
	第 46 回~第 57 回 修士論文の作成					
	第 58 回~第 60 回 修士論文発表会の準備・発表					
	予習 研究テーマに関連した文献を出来るだけ収集し、研究論文の質を向上させる。	1 時間				
	復習 研究テーマについて計画・実施・検証・改善・評価等を行い、研究論文の質を向上させる。	1 時間				
	他の院生や研究科内の教員、学内外の専門家との議論や交流を通じて、研究者としての基本を身につける。					
備考	※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日、長期休暇等に必ず補うこと。					
pin 73	教員への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。					
	オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5 時限)					